

第51回 市政世論調査

(令和6年度)

新潟市

< 目 次 >

I 調 査 概 要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	5
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	7
II 調 査 結 果	9
1. ラムサール条約湿地自治体認証について	11
（1）「ラムサール条約」の認知度	11
（2）実際に訪れたことがある市内の潟（湖沼）	13
（3）市内の潟（湖沼）を訪れた目的	16
（4）市内の潟（湖沼）を訪れたことがない理由	19
（5）市内の潟（湖沼）に求める機能や場所	21
2. 地球温暖化対策について	24
（1）家庭での取り組み実態	24
（2）太陽光発電設備を導入していない理由	26
（3）住宅の断熱性能強化を導入していない理由	28
（4）次世代自動車などを導入していない理由	30
3. 食育について	32
（1）食の楽しさ	32
（2）誰か（家族・友人・知人等）と一緒に食事をする頻度	34
（3）農林漁業体験の参加者の有無	36
（4）食品ロス削減の取り組み	38
（5）身近な場所（県内）でとれたものを選ぶか	41
（6）食文化（郷土料理や行事食）の継承	43
4. 新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例（共生条例）について	45
（1）「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例（共生条例）」の認知度	45
（2）共生条例を知ったきっかけ	47

(3) 「障がいを理由とした差別」の具体的なイメージ	50
5. 選挙への意識について	52
(1) 政治や選挙に関する情報源	52
(2) 選挙の投票に対する考え方	55
(3) 投票に行こうと思うか	57
(4) 投票に行かない、わからないと思う理由	59
(5) 投票率向上に有効な対策	62
6. 市政全般と区政について	65
(1) 新潟市として良くなっているもの	65
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	69
(3) 区として良くなっているもの	73
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	77
Ⅲ 調査票様式	81

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市政に対する意識を調査し、市政運営の参考とする目的で実施する。

2. 調査の項目

(1) ラムサール条約湿地自治体認証について	本質問	5問
(2) 地球温暖化対策について	本質問	4問
(3) 食育について	本質問	6問
(4) 新潟市障がいのある人もない人も共に生きる まちづくり条例（共生条例）について	本質問	3問
(5) 選挙への意識について	本質問	5問
(6) 市政全般と区政について	本質問	1問
(7) 対象者属性	本質問	5問

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：令和6年3月末現在の住民基本台帳に登録されている15歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：単純無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）、インターネット回答法（回答のみ）
- (6) 調査期間：令和6年8月5日～8月23日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5. 回収結果

(1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

(2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	677,905	100.0%	4,000	2,188	54.7%
北 区	62,892	9.3%	359	171	47.6%
東 区	116,482	17.2%	699	370	52.9%
中央区	153,152	22.6%	918	525	57.2%
江南区	59,202	8.7%	334	189	56.6%
秋葉区	65,747	9.7%	369	205	55.6%
南 区	37,804	5.6%	207	110	53.1%
西 区	134,703	19.9%	853	448	52.5%
西蒲区	47,923	7.1%	261	140	53.6%
区名無回答				30	

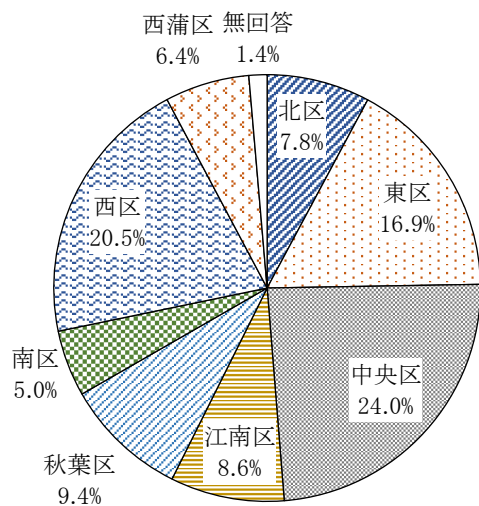
6. 区（行政区）の範囲

<区分図>

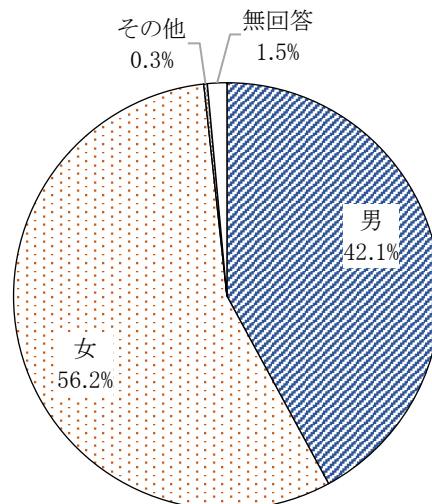


7. 回答者の特性

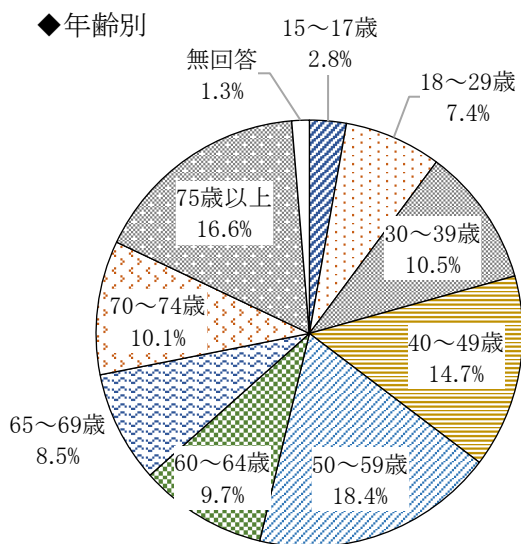
◆地区別



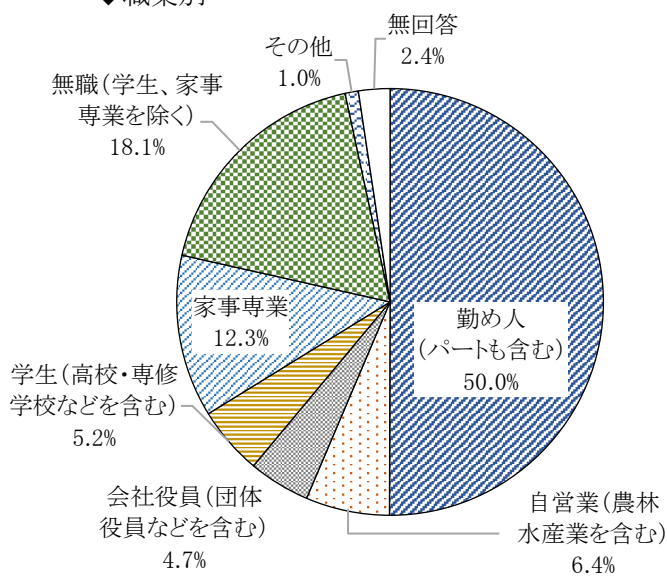
◆性別



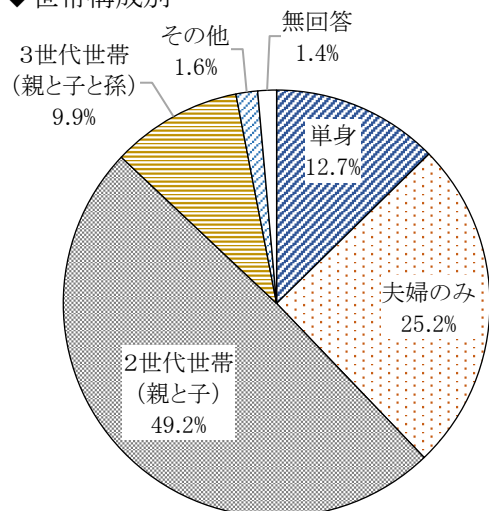
◆年齢別



◆職業別

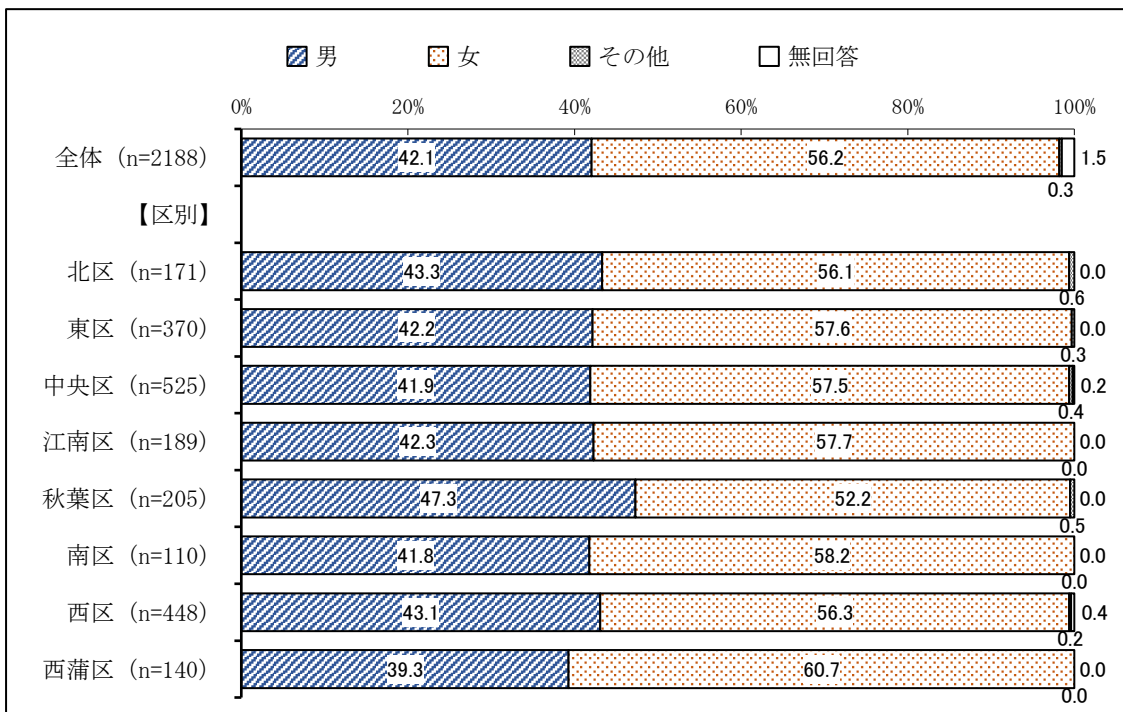


◆世帯構成別

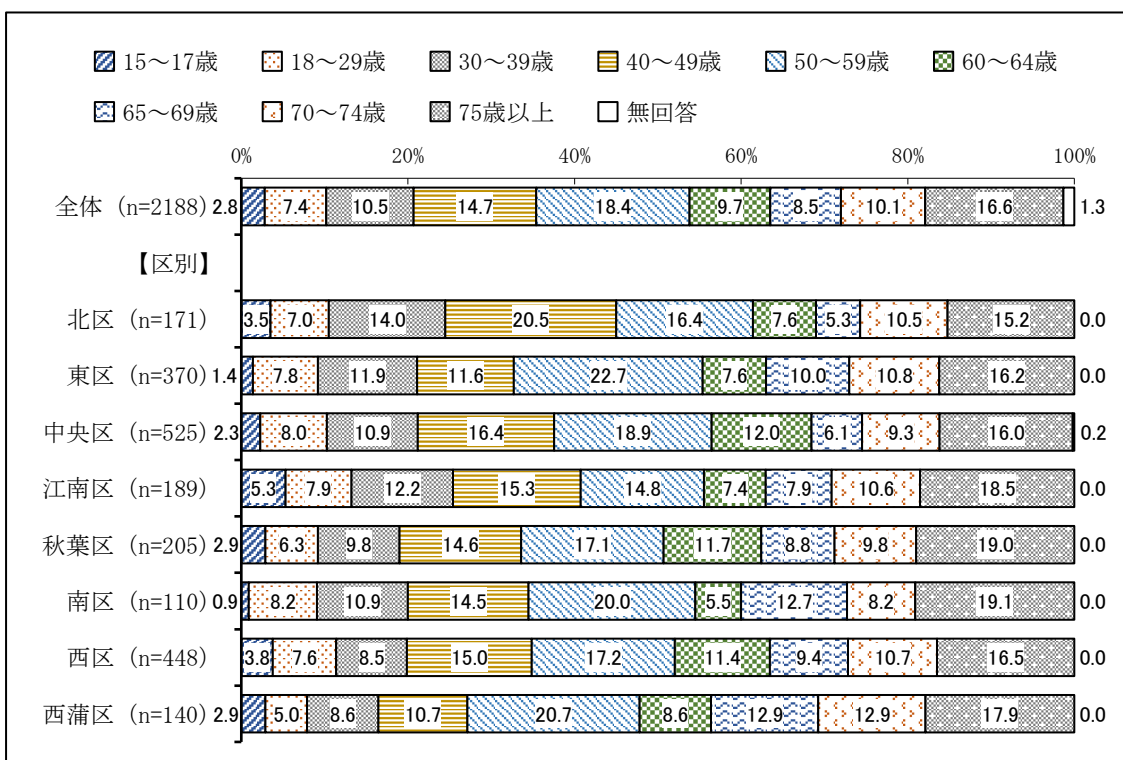


8. 回答者の特性（地区別集計）

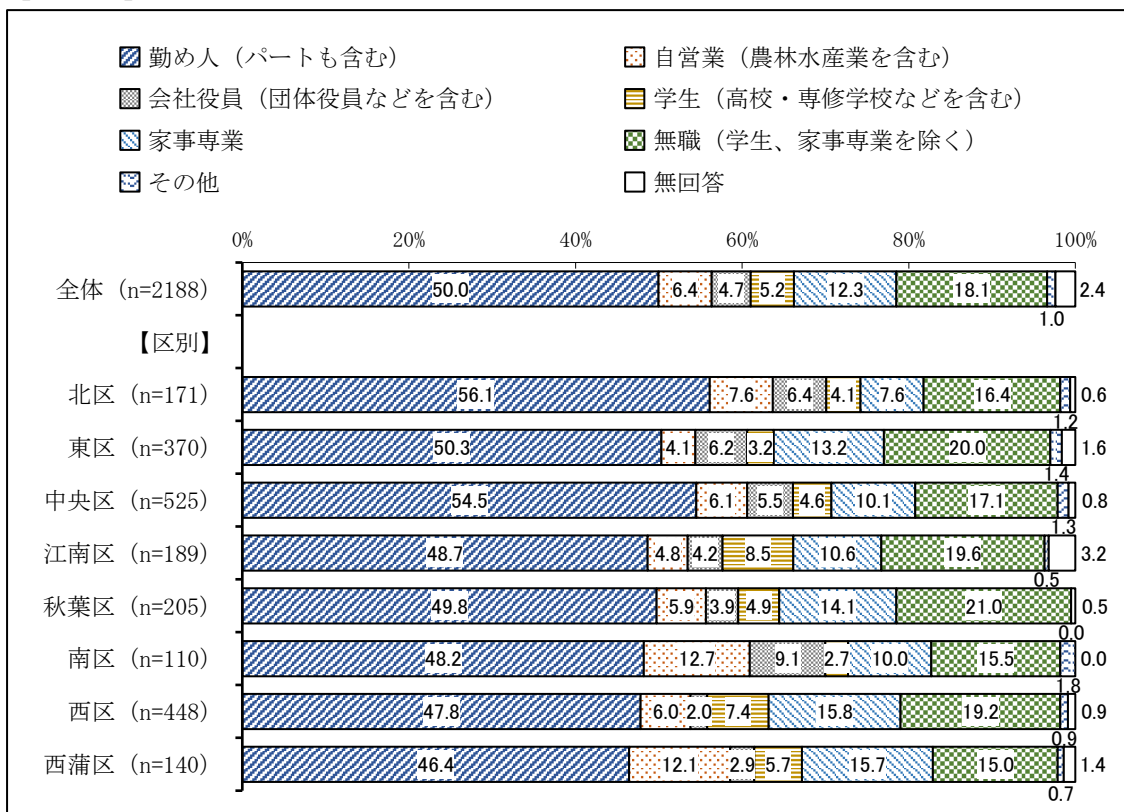
【性別】



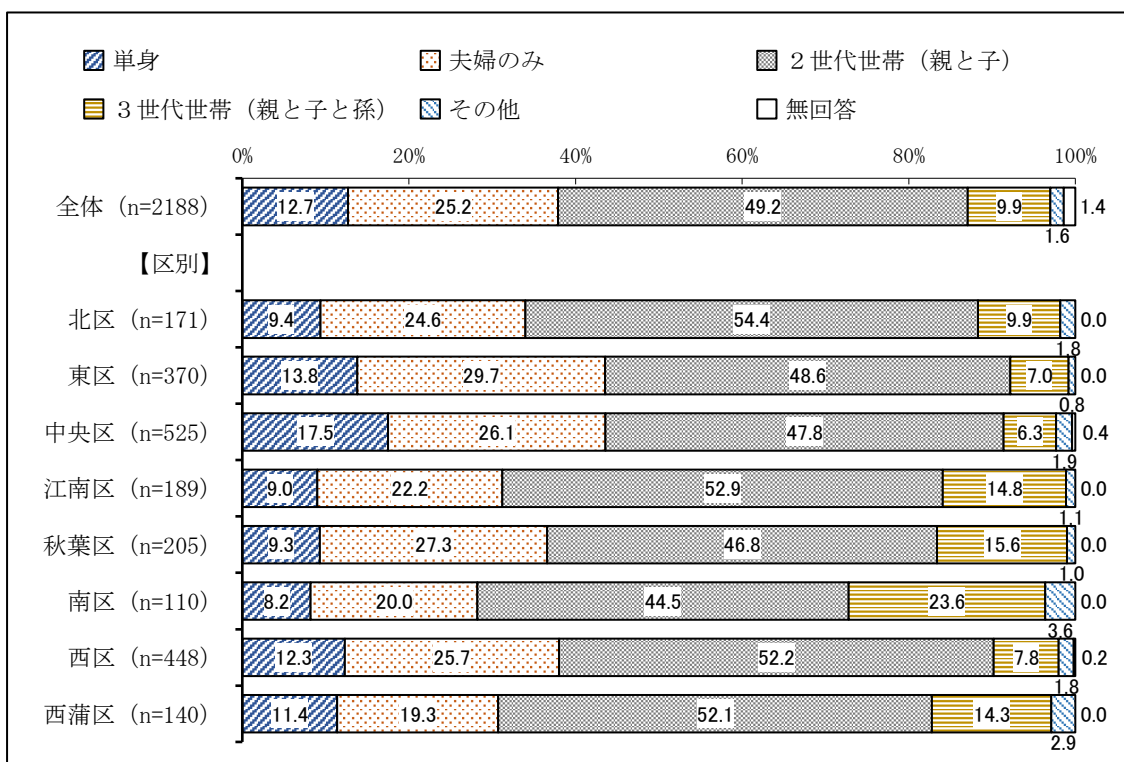
【年齢別】



【職業別】



【世帯構成別】

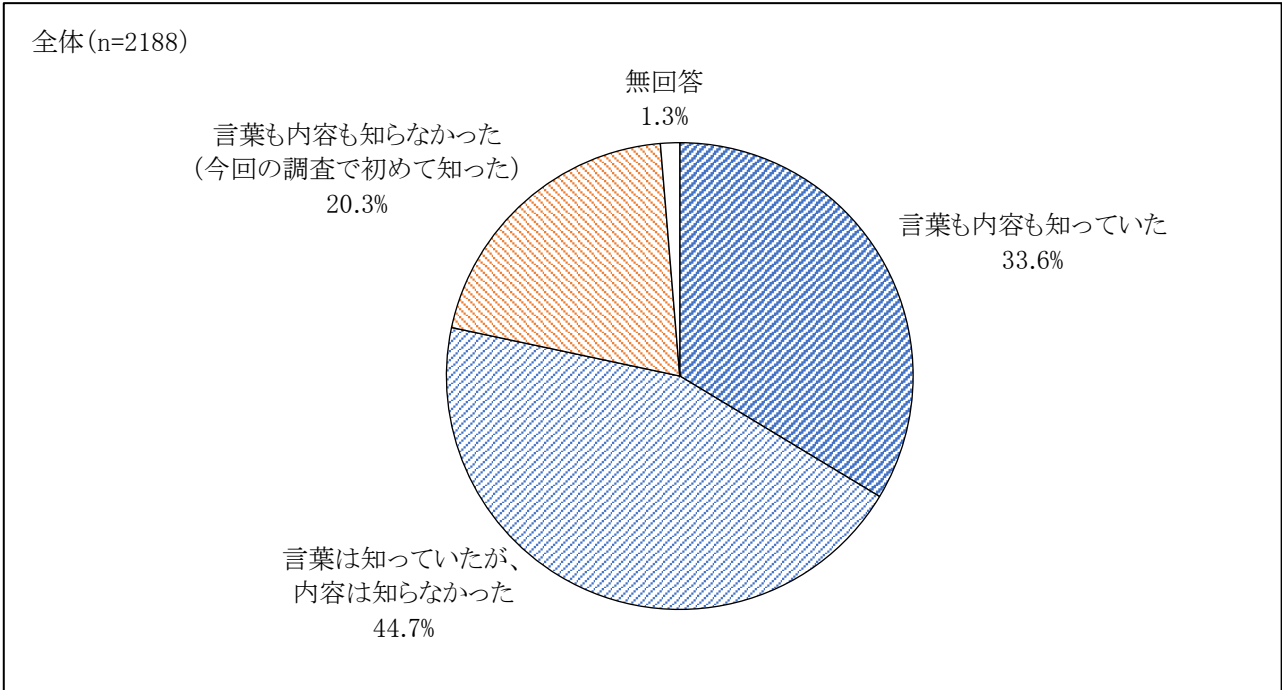


II 調查結果

1. ラムサール条約湿地自治体認証について

(1) 「ラムサール条約」の認知度

問1 「ラムサール条約」という言葉やその内容を知っていましたか。(○は1つだけ)



— 「言葉も内容も知っていた」が3割強 —

【全体結果】

「ラムサール条約」について、「言葉も内容も知っていた」が33.6%で、3割強となった。「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」が44.7%、「言葉も内容も知らなかった (今回の調査で初めて知った)」が20.3%となった。

【属性別結果】(次ページ図 1-1 参照)

① 地区別

「言葉も内容も知っていた」と答えた割合は、西区(39.1%)で最も高く、北区(24.0%)で最も低い。

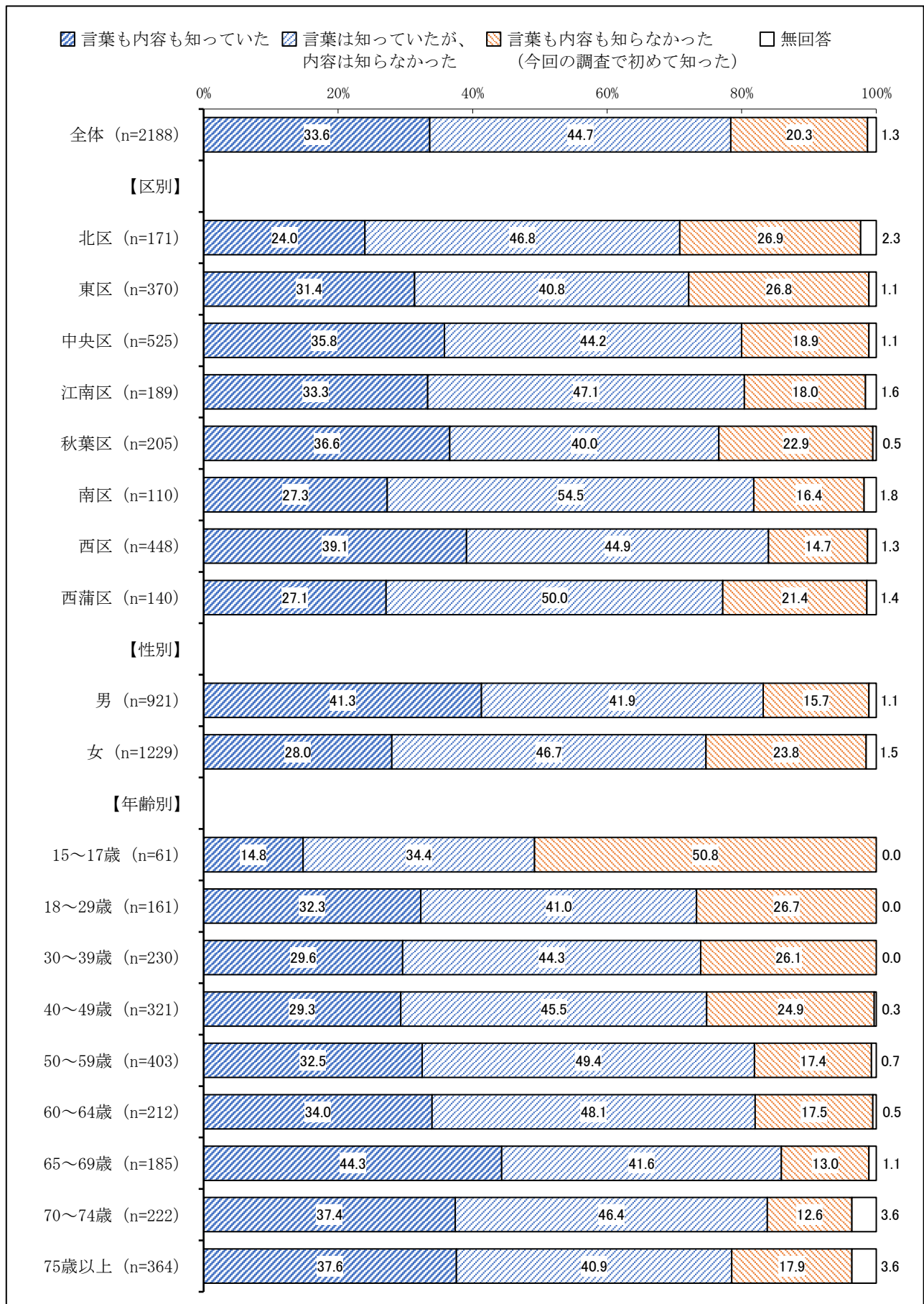
② 性別

「言葉も内容も知っていた」と答えた割合は、女性(28.0%)より男性(41.3%)で高い。

③ 年齢別

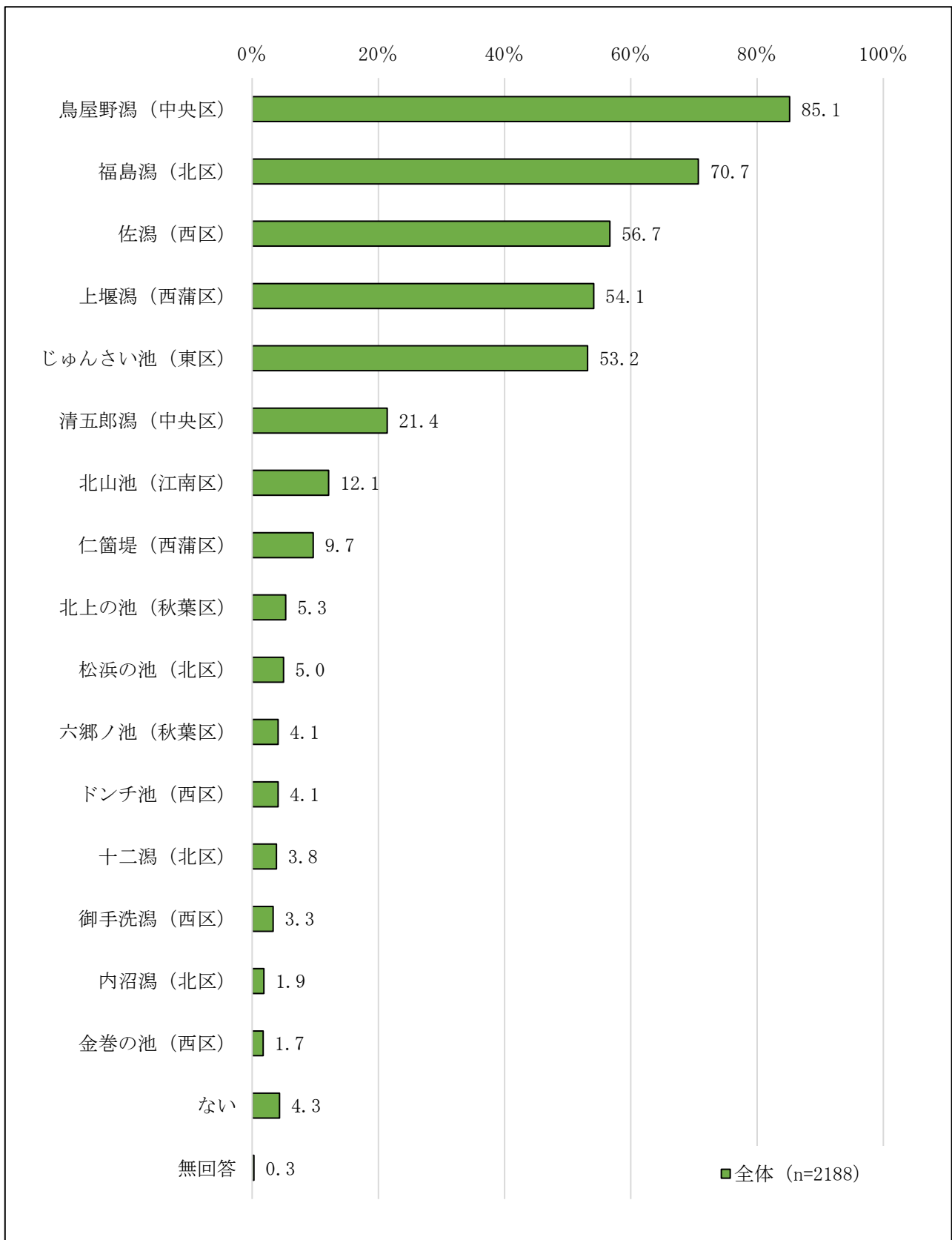
「言葉も内容も知っていた」と答えた割合は、65~69歳(44.3%)で最も高く、15~17歳(14.8%)で最も低い。

図 1-1 「ラムサール条約」の認知度（地区別/性別/年齢別）



(2) 実際に訪れたことがある市内の潟（湖沼）

問2 実際に訪れたことがある市内の潟（湖沼）はありますか。（〇はいくつでも）



— 「鳥屋野潟（中央区）」が8割半ばでトップ —

【全体結果】

実際に訪れたことがある市内の潟（湖沼）は、「鳥屋野潟（中央区）」（85.1%）が最も割合が高く、8割半ばとなった。次いで「福島潟（北区）」（70.7%）、「佐潟（西区）」（56.7%）、「上堰潟（西蒲区）」（54.1%）、「じゅんさい池（東区）」（53.2%）の順で続く。

【属性別結果】（次ページ図 1-2 参照）

① 地区別

「鳥屋野潟（中央区）」は中央区（93.3%）、「福島潟（北区）」は北区（90.6%）、「佐潟（西区）」は西区（79.7%）、「上堰潟（西蒲区）」は西蒲区（89.3%）、「じゅんさい池（東区）」は東区（85.9%）と、それぞれ所在地区の割合が最も高い。

② 性別

「鳥屋野潟（中央区）」、「上堰潟（西蒲区）」と答えた割合は、性別での大きな差はみられなかった。

「福島潟（北区）」（男性73.0%、女性69.4%）、「佐潟（西区）」（男性63.4%、女性51.7%）、「じゅんさい池（東区）」（男性57.7%、女性50.0%）と答えた割合は、女性より男性で高い。

③ 年齢別

「鳥屋野潟（中央区）」は40～49歳（89.7%）、「福島潟（北区）」は65～69歳（76.8%）、「佐潟（西区）」は70～74歳（67.6%）、「上堰潟（西蒲区）」は40～49歳（62.0%）、「じゅんさい池（東区）」は75歳以上（61.8%）で答えた割合が最も高い。

15～17歳および18～29歳は、他の年齢と比較して、割合が低い項目が多い。

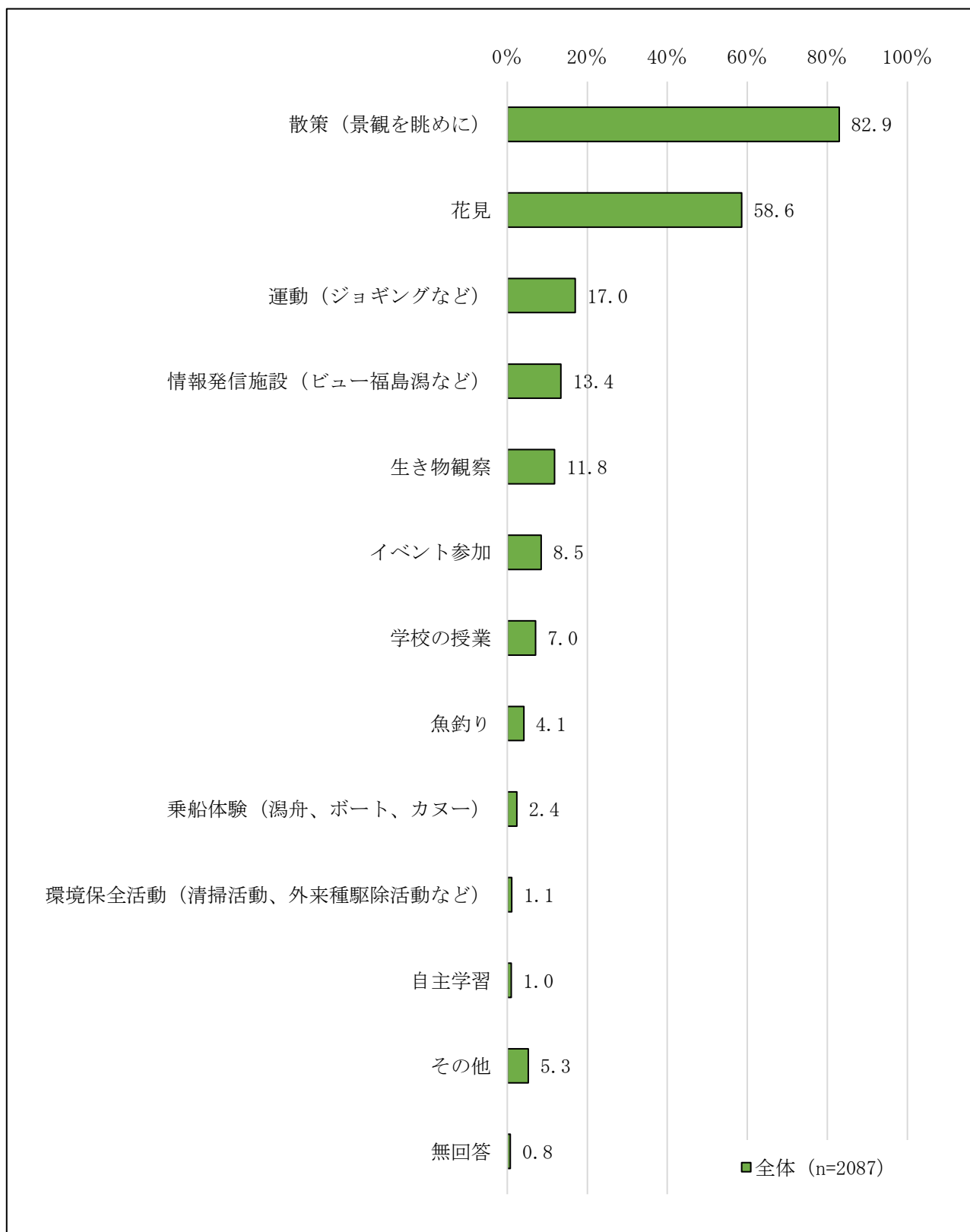
全体的に、年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

図 1-2 実際に訪れたことがある市内の潟（湖沼）（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	鳥屋野潟 (中央区)	福島潟 (北区)	佐潟 (西区)	上堰潟 (西蒲区)	じゅんさい池 (東区)	清五郎潟 (中央区)	北山池 (江南区)	仁箇堤 (西蒲区)	北上の池 (秋葉区)	松浜の池 (北区)	六郷ノ池 (秋葉区)	ドンチ池 (西区)	十二潟 (北区)	御手洗潟 (西区)	内沼潟 (北区)	金巻の池 (西区)	ない	無回答
全体 (n=2188)	85.1	70.7	56.7	54.1	53.2	21.4	12.1	9.7	5.3	5.0	4.1	4.1	3.8	3.3	1.9	1.7	4.3	0.3
【区別】																		
北区 (n=171)	77.8	90.6	37.4	31.6	66.1	17.5	7.6	3.5	0.6	18.7	2.3	1.2	18.7	1.2	12.3	0.6	2.3	0.6
東区 (n=370)	87.0	75.9	48.4	47.6	85.9	23.2	17.0	3.2	4.3	8.9	3.0	1.9	4.9	1.9	2.2	0.8	2.4	0.0
中央区 (n=525)	93.3	71.0	55.2	49.9	55.4	28.6	6.7	6.9	2.7	3.6	1.7	2.5	2.3	1.7	1.0	1.5	4.2	0.2
江南区 (n=189)	90.5	73.0	44.4	45.5	56.6	24.9	56.6	2.6	6.9	4.8	5.3	1.1	4.8	2.6	1.1	1.1	3.7	1.1
秋葉区 (n=205)	82.0	71.7	41.0	37.6	29.8	16.1	6.3	3.4	33.2	2.0	24.9	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	8.8	0.0
南区 (n=110)	80.0	60.9	60.9	67.3	30.9	16.4	4.5	10.0	0.9	0.0	0.9	2.7	0.0	0.9	0.0	1.8	4.5	0.0
西区 (n=448)	82.1	66.1	79.7	70.8	44.0	19.2	5.4	13.4	0.7	0.9	0.7	10.9	1.1	8.0	0.7	4.2	5.6	0.2
西蒲区 (n=140)	72.9	52.9	70.0	89.3	19.3	8.6	1.4	50.0	0.0	3.6	0.7	7.1	1.4	6.4	0.0	0.7	2.9	0.0
【性別】																		
男 (n=921)	85.3	73.0	63.4	53.3	57.7	24.3	15.0	12.5	7.4	7.3	6.4	6.4	5.8	4.9	2.6	2.8	4.3	0.1
女 (n=1229)	85.6	69.4	51.7	55.2	50.0	19.4	10.1	7.5	3.8	3.2	2.5	2.4	2.4	2.0	1.4	1.0	4.2	0.3
【年齢別】																		
15～17歳 (n=61)	60.7	52.5	31.1	37.7	13.1	8.2	9.8	4.9	1.6	3.3	3.3	3.3	4.9	1.6	1.6	1.6	11.5	0.0
18～29歳 (n=161)	76.4	52.8	32.3	44.7	30.4	9.9	5.6	3.1	3.1	5.6	1.9	3.1	4.3	1.9	1.9	1.2	12.4	0.0
30～39歳 (n=230)	84.3	66.1	38.3	57.8	43.0	16.1	6.5	6.1	3.5	4.3	2.2	2.2	3.5	1.3	2.2	0.4	5.2	0.0
40～49歳 (n=321)	89.7	73.2	52.6	62.0	52.6	23.1	10.0	8.4	2.8	2.8	1.6	5.3	2.5	2.8	1.2	1.9	2.2	0.0
50～59歳 (n=403)	87.8	73.2	61.8	55.1	59.6	25.8	13.6	9.2	6.0	6.5	5.2	4.5	4.0	2.2	2.0	2.2	2.5	0.0
60～64歳 (n=212)	88.2	73.6	61.3	50.9	54.2	23.1	13.7	8.5	7.1	4.7	3.8	4.2	1.4	4.7	0.5	1.9	2.8	0.5
65～69歳 (n=185)	86.5	76.8	67.0	55.1	57.8	23.8	13.0	10.8	8.6	4.9	7.6	4.9	3.8	2.7	2.7	1.1	4.3	0.5
70～74歳 (n=222)	86.0	75.7	67.6	58.6	61.3	23.9	18.5	14.4	5.9	5.4	5.0	1.8	7.7	5.9	3.6	1.8	2.7	0.0
75歳以上 (n=364)	84.9	73.6	67.0	50.5	61.8	21.7	14.0	14.3	6.9	5.2	5.8	5.2	3.8	4.9	1.6	2.5	4.9	0.8

(3) 市内の潟（湖沼）を訪れた目的

問3 問2で1から16をお答えになった方にお聞きします。
市内の潟（湖沼）を訪れた目的はどれですか。（〇はいくつでも）



— 「散策（景観を眺めに）」が8割強でトップ —

【全体結果】

市内の潟（湖沼）を訪れた目的は、「散策（景観を眺めに）」（82.9%）が最も割合が高く、8割強となった。次いで「花見」（58.6%）、「運動（ジョギングなど）」（17.0%）、「情報発信施設（ビュー福島潟など）」（13.4%）、「生き物観察」（11.8%）の順で続く。

【属性別結果】（次ページ図 1-3 参照）

① 地区別

「散策（景観を眺めに）」と答えた割合は、西区（85.1%）で最も高く、西蒲区（75.0%）で最も低い。

「花見」と答えた割合は、西蒲区（64.0%）で最も高く、南区（45.7%）で最も低い。

② 性別

「花見」（男性 51.5%、女性 63.5%）と答えた割合は、男性より女性で高く、「散策（景観を眺めに）」（男性 84.7%、女性 82.0%）、「運動（ジョギングなど）」（男性 19.4%、女性 15.4%）と答えた割合は、女性より男性で高い。

③ 年齢別

「散策（景観を眺めに）」と答えた割合は、65～69歳（89.2%）で最も高く、15～17歳（66.7%）で最も低い。

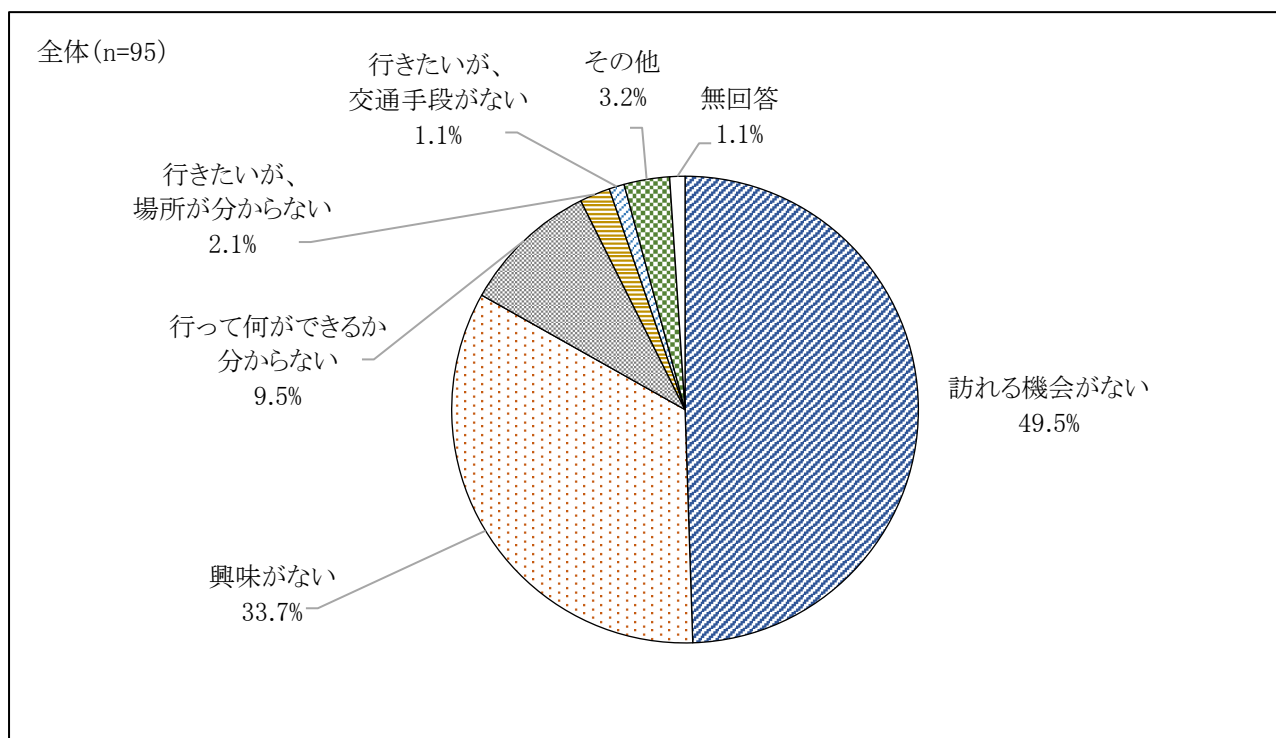
「花見」と答えた割合は、75歳以上（66.2%）で最も高く、15～17歳（31.5%）で最も低い。「花見」は、年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

図 1-3 市内の潟（湖沼）を訪れた目的（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	散策 (景観を眺めに)	花見	運動 (ジョギングなど)	情報発信施設 (ビュー福島潟など)	生き物観察	イベント参加	学校の授業	魚釣り	乗船体験 (潟舟、ボート、カヌー)	環境保全活動 (清掃活動、 外来種駆除活動など)	自主学习	その他	無回答
全体 (n=2087)	82.9	58.6	17.0	13.4	11.8	8.5	7.0	4.1	2.4	1.1	1.0	5.3	0.8
【区別】													
北区 (n=166)	81.9	54.2	14.5	21.1	10.2	13.3	10.2	6.6	5.4	1.8	1.2	7.2	0.0
東区 (n=361)	81.7	60.9	16.3	15.8	14.7	8.9	8.6	3.3	1.4	0.8	1.4	3.3	1.7
中央区 (n=502)	84.3	61.2	16.9	11.0	10.0	8.6	8.4	1.0	3.4	1.8	1.2	5.2	0.8
江南区 (n=180)	83.9	63.3	13.9	13.9	10.0	10.6	6.7	10.0	2.2	0.6	0.0	5.0	0.6
秋葉区 (n=187)	83.4	46.0	10.7	13.9	7.0	2.1	3.7	8.0	0.5	0.5	1.1	4.3	1.1
南区 (n=105)	82.9	45.7	15.2	9.5	6.7	8.6	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	11.4	0.0
西区 (n=422)	85.1	58.8	20.1	13.3	15.6	7.8	6.6	3.1	2.6	1.2	0.7	5.0	0.5
西蒲区 (n=136)	75.0	64.0	28.7	9.6	14.7	9.6	7.4	5.9	0.7	0.0	0.7	6.6	0.0
【性別】													
男 (n=880)	84.7	51.5	19.4	13.4	11.3	7.5	6.4	8.4	2.4	2.3	1.3	4.8	0.6
女 (n=1173)	82.0	63.5	15.4	13.5	12.4	9.3	7.6	0.8	2.3	0.3	0.8	5.6	0.9
【年齢別】													
15～17歳 (n=54)	66.7	31.5	22.2	3.7	9.3	18.5	38.9	3.7	3.7	0.0	1.9	7.4	0.0
18～29歳 (n=141)	68.8	46.1	20.6	8.5	5.0	7.1	34.8	2.8	2.8	0.7	1.4	5.0	0.0
30～39歳 (n=218)	81.7	56.0	14.7	12.4	10.6	7.8	13.3	2.3	1.8	0.5	0.9	6.4	0.0
40～49歳 (n=314)	84.4	54.5	23.6	10.2	9.6	14.0	5.4	5.1	3.2	2.2	0.6	7.0	1.0
50～59歳 (n=393)	84.5	55.7	13.7	13.0	9.4	9.7	3.8	6.9	3.3	0.5	0.3	5.6	0.8
60～64歳 (n=205)	86.3	63.4	12.2	14.1	13.7	5.9	3.9	2.4	1.5	1.5	0.0	4.9	0.0
65～69歳 (n=176)	89.2	61.4	19.9	15.3	17.0	5.1	2.3	3.4	0.6	2.3	1.7	3.4	1.7
70～74歳 (n=216)	86.6	65.7	20.8	16.2	18.5	6.0	0.9	1.9	1.4	0.9	0.5	3.7	0.9
75歳以上 (n=343)	81.9	66.2	13.7	18.4	13.1	6.7	0.3	4.1	2.6	0.9	2.3	4.7	1.2

(4) 市内の潟（湖沼）を訪れたことがない理由

問4 問2で17「ない」をお答えになった方にお聞きします。
市内の潟（湖沼）へ訪れたことがない理由はどれですか。(○は1つだけ)



— 「訪れる機会がない」が約5割 —

【全体結果】

市内の潟（湖沼）を訪れたことがない理由は、「訪れる機会がない」が49.5%で、約5割となった。「興味がない」が33.7%、「行って何ができるか分からない」が9.5%、「行きたいが、場所が分からない」が2.1%、「行きたいが、交通手段がない」が1.1%となった。

【属性別結果】（次ページ図1-4参照）

① 地区別

回答者数が少ないため、図のみ表示する。

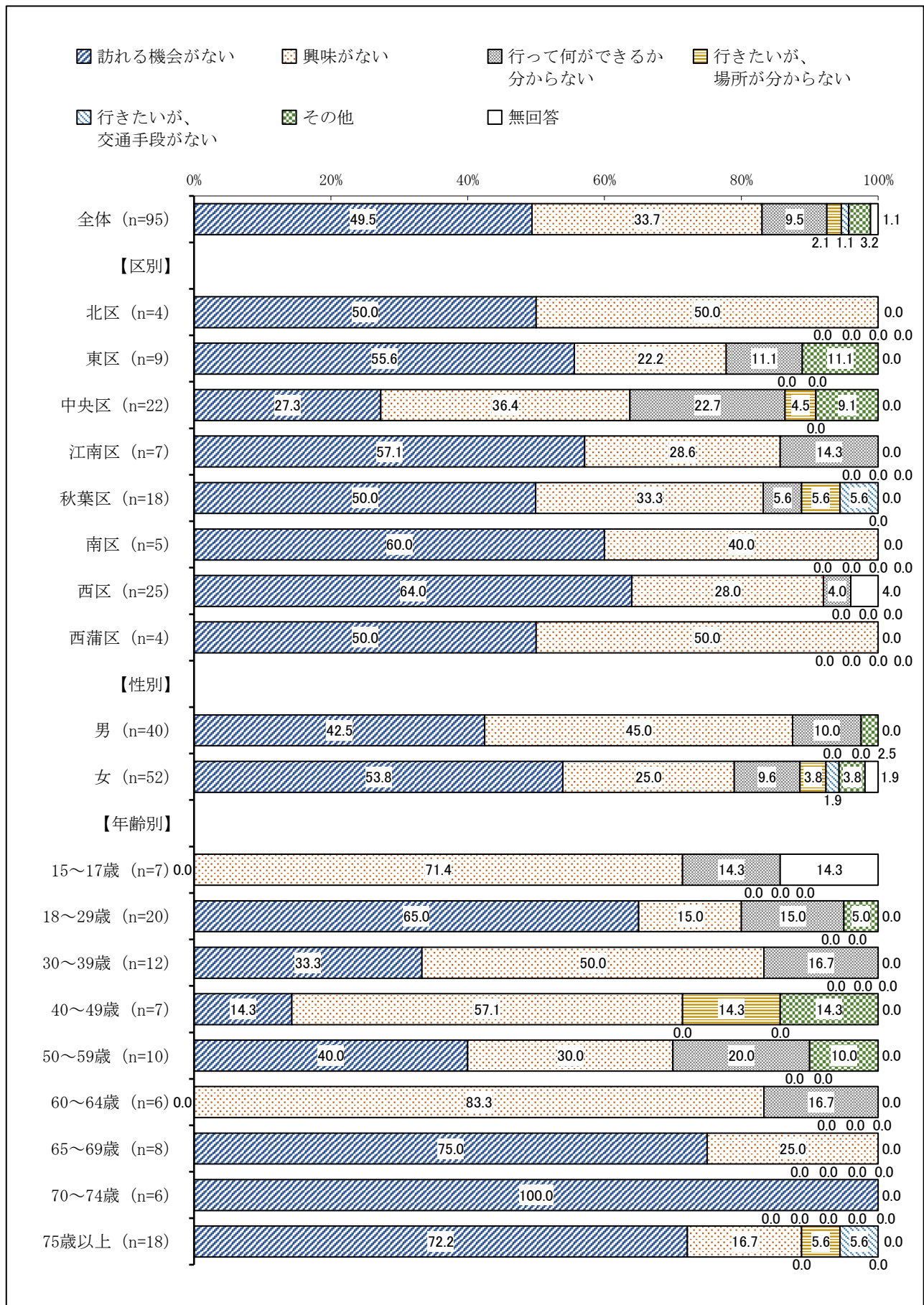
② 性別

回答者数が少ないため、図のみ表示する。

③ 年齢別

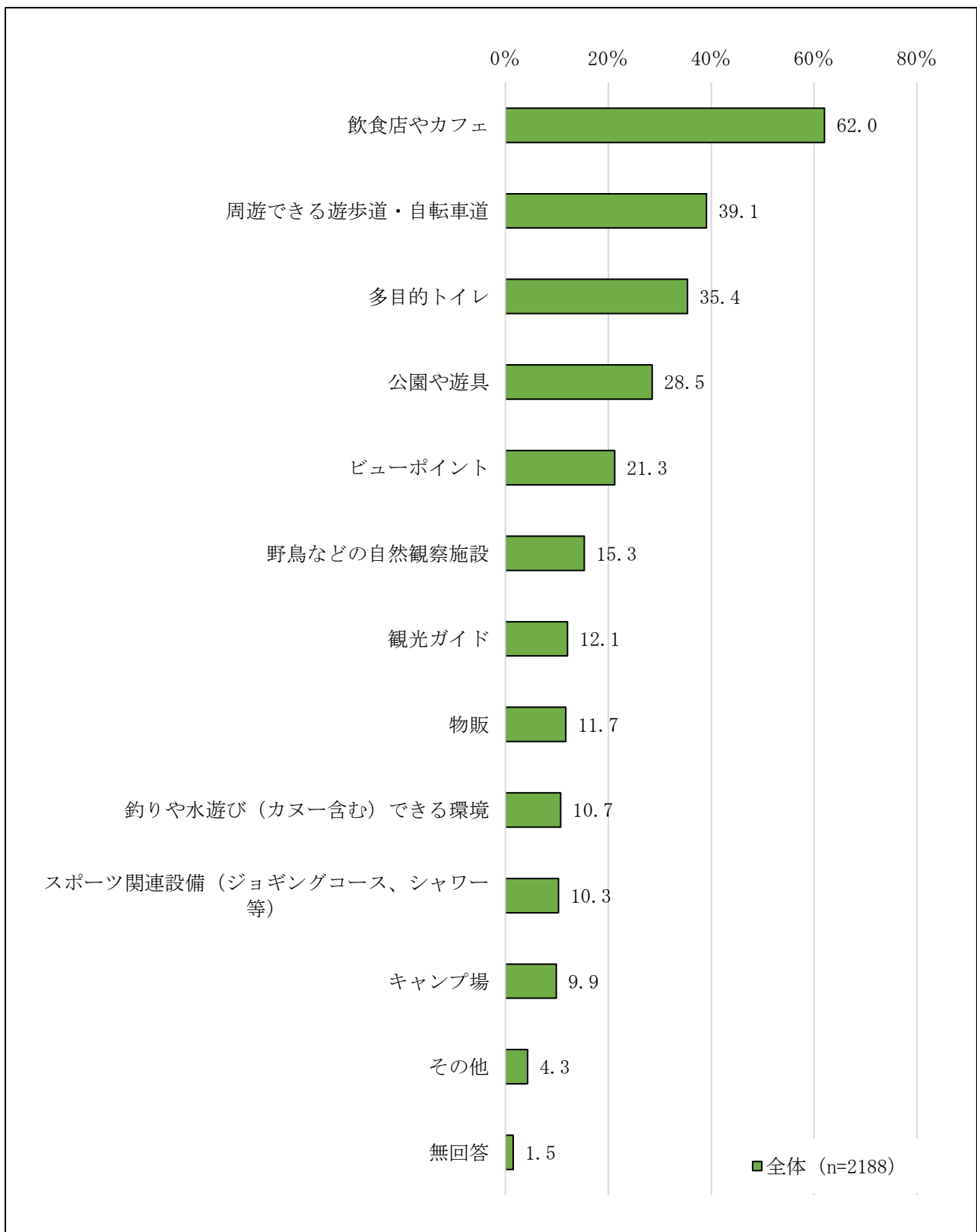
回答者数が少ないため、図のみ表示する。

図 1-4 市内の潟（湖沼）を訪れたことがない理由（地区別/性別/年齢別）



(5) 市内の潟（湖沼）に求める機能や場所

問5 市内の潟(湖沼)に訪れ、楽しむためには、どんな機能や場所があったら良いと思いますか。
(〇は3つまで)



— 「飲食店やカフェ」が6割強でトップ —

【全体結果】

市内の潟（湖沼）に求める機能や場所は、「飲食店やカフェ」（62.0%）が最も割合が高く、6割強となった。次いで「周遊できる遊歩道・自転車道」（39.1%）、「多目的トイレ」（35.4%）、「公園や遊具」（28.5%）、「ビューポイント」（21.3%）の順で続く。

【属性別結果】（次ページ図 1-5 参照）

① 地区別

「飲食店やカフェ」と答えた割合は、北区（65.5%）で最も高く、秋葉区（56.6%）で最も低い。

② 性別

「飲食店やカフェ」（男性 53.6%、女性 68.7%）、「公園や遊具」（男性 25.0%、女性 31.7%）と答えた割合は、男性より女性で高い。

③ 年齢別

「飲食店やカフェ」と答えた割合は、18～29歳（81.4%）で最も高く、若い世代で割合が高くなっている。

「多目的トイレ」と答えた割合は、年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

「公園や遊具」と答えた割合は、30～39歳（52.6%）、40～49歳（42.7%）の子育て世代で高くなっている。

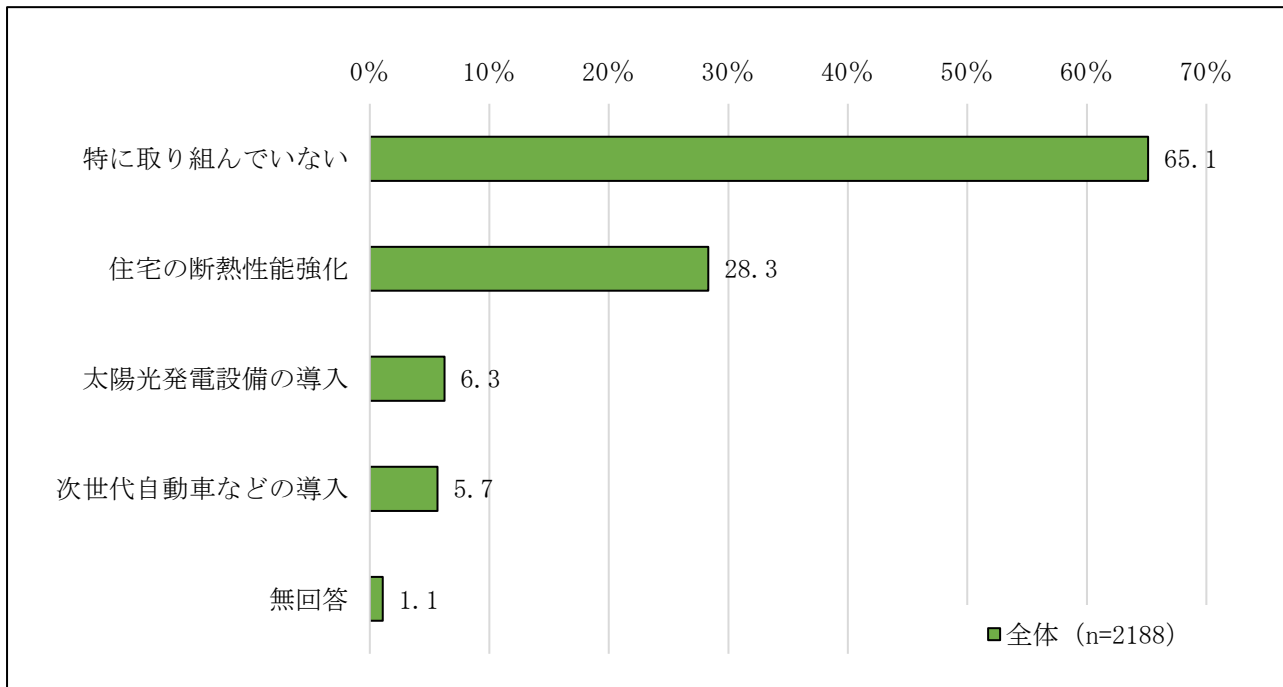
図 1-5 市内の潟（湖沼）に求める機能や場所（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	飲食店やカフェ	周遊できる遊歩道・自転車道	多目的トイレ	公園や遊具	ビューポイント	野鳥などの自然観察施設	観光ガイド	物販	釣りや水遊び（カヌー含む）できる環境	スポーツ関連設備（ジョギングコース、シャワー等）	キャンプ場	その他	無回答
全体 (n=2188)	62.0	39.1	35.4	28.5	21.3	15.3	12.1	11.7	10.7	10.3	9.9	4.3	1.5
【区別】													
北区 (n=171)	65.5	33.9	29.2	31.6	23.4	14.0	16.4	14.0	13.5	11.7	11.1	2.9	1.2
東区 (n=370)	64.3	38.1	32.7	28.1	18.6	14.6	11.6	14.3	9.7	10.0	10.3	5.1	3.0
中央区 (n=525)	65.3	45.1	34.7	27.6	25.5	15.2	12.0	10.7	9.1	8.2	9.3	4.0	0.6
江南区 (n=189)	61.9	37.0	37.6	32.8	19.0	13.8	10.1	11.1	11.6	8.5	11.1	3.2	1.1
秋葉区 (n=205)	56.6	32.2	33.2	28.8	22.9	18.5	12.2	11.2	10.7	11.2	9.3	3.9	2.0
南区 (n=110)	64.5	30.0	31.8	21.8	26.4	12.7	14.5	14.5	11.8	10.9	14.5	3.6	0.9
西区 (n=448)	58.3	40.8	38.6	28.6	19.4	15.8	12.1	8.0	10.7	12.9	9.8	5.6	1.1
西蒲区 (n=140)	60.0	41.4	44.3	31.4	15.0	14.3	7.9	17.1	12.1	11.4	5.7	3.6	2.1
【性別】													
男 (n=921)	53.6	37.9	34.2	25.0	23.8	16.8	13.0	10.9	13.8	13.7	11.7	4.1	1.0
女 (n=1229)	68.7	40.3	36.1	31.7	19.8	13.9	11.4	12.4	8.1	8.0	8.6	4.4	1.8
【年齢別】													
15～17歳 (n=61)	65.6	21.3	11.5	21.3	21.3	13.1	6.6	16.4	26.2	16.4	21.3	3.3	0.0
18～29歳 (n=161)	81.4	18.0	18.0	37.3	21.1	8.1	5.6	10.6	15.5	9.3	21.1	1.2	0.0
30～39歳 (n=230)	76.1	30.4	22.2	52.6	25.7	8.3	8.3	10.4	19.6	11.7	19.6	2.6	0.9
40～49歳 (n=321)	67.3	38.9	30.2	42.7	21.2	7.2	7.8	12.5	15.0	11.5	11.5	7.2	0.0
50～59歳 (n=403)	63.5	45.2	29.5	25.1	26.1	11.2	9.2	11.9	12.2	12.7	9.2	5.5	0.5
60～64歳 (n=212)	58.5	44.3	37.7	22.6	23.6	16.5	14.2	11.8	4.7	8.5	7.1	5.7	0.5
65～69歳 (n=185)	47.6	47.0	52.4	22.2	23.2	21.1	15.1	10.3	3.2	11.4	5.4	4.3	0.5
70～74歳 (n=222)	53.2	45.0	45.5	23.9	18.5	20.7	18.5	10.4	7.2	7.7	5.0	2.3	3.2
75歳以上 (n=364)	53.0	40.1	50.3	12.6	13.7	27.5	18.4	12.9	3.8	8.0	3.3	3.6	4.9

2. 地球温暖化対策について

(1) 家庭での取り組み実態

問6 あなたのご家庭では以下の取り組みを実施していますか。(〇はいくつでも)



— 「特に取り組んでいない」が6割半ばでトップ —

【全体結果】

家庭での取り組み実態は、「特に取り組んでいない」(65.1%)が最も割合が高く、6割半ばとなった。次いで「住宅の断熱性能強化」(28.3%)、「太陽光発電設備の導入」(6.3%)、「次世代自動車などの導入」(5.7%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図 2-1 参照)

① 地区別

「特に取り組んでいない」と答えた割合は、中央区(68.4%)で最も高く、西区(61.2%)、江南区(59.8%)で低くなっている。

「住宅の断熱性能強化」と答えた割合は、江南区(31.7%)と西区(31.5%)で3割を超えた。

② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

③ 年齢別

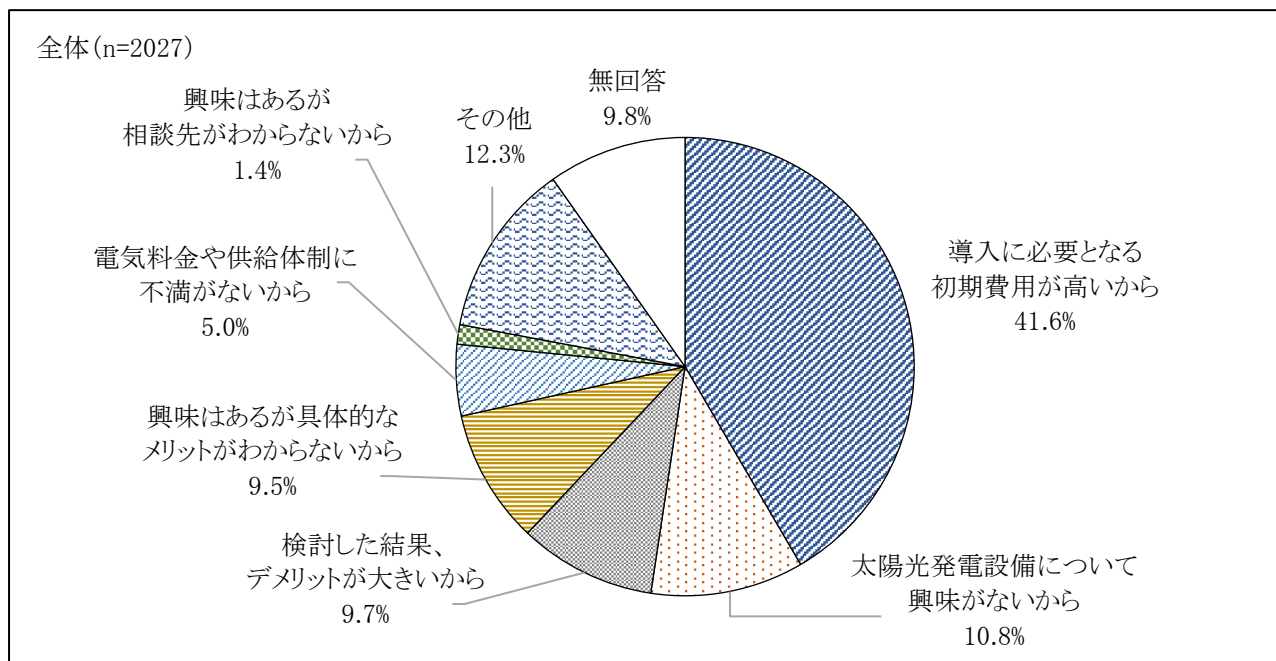
「特に取り組んでいない」と答えた割合は、18~29歳(71.4%)で最も高く、唯一7割を超えた。

図 2-1 家庭での取り組み実態（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	特に 取り 組ん で い ない	住 宅 の 断 熱 性 能 強 化	太 陽 光 発 電 設 備 の 導 入	次 世 代 自 動 車 な ど の 導 入	無 回 答
全体 (n=2188)	65.1	28.3	6.3	5.7	1.1
【区別】					
北区 (n=171)	64.9	28.7	6.4	5.8	1.8
東区 (n=370)	64.1	28.4	7.6	6.2	1.4
中央区 (n=525)	68.4	26.7	4.0	5.5	0.8
江南区 (n=189)	59.8	31.7	8.5	7.4	0.5
秋葉区 (n=205)	67.3	26.3	7.8	6.8	0.0
南区 (n=110)	66.4	26.4	7.3	2.7	0.9
西区 (n=448)	61.2	31.5	6.3	4.7	1.8
西蒲区 (n=140)	66.4	27.9	5.7	7.1	1.4
【性別】					
男 (n=921)	65.1	28.7	6.9	5.5	0.5
女 (n=1229)	64.4	28.6	5.9	5.9	1.5
【年齢別】					
15～17歳 (n=61)	60.7	32.8	9.8	11.5	1.6
18～29歳 (n=161)	71.4	18.0	9.9	9.3	0.0
30～39歳 (n=230)	61.7	32.6	11.7	3.9	0.4
40～49歳 (n=321)	61.1	33.0	10.3	5.6	0.0
50～59歳 (n=403)	68.5	23.6	6.0	6.0	0.0
60～64歳 (n=212)	61.8	34.4	1.4	6.1	0.5
65～69歳 (n=185)	68.1	27.6	4.9	2.7	0.5
70～74歳 (n=222)	61.3	31.1	2.7	7.7	2.7
75歳以上 (n=364)	65.9	27.2	3.3	4.4	3.8

(2) 太陽光発電設備を導入していない理由

問7 問6で1「太陽光発電設備の導入」をお答えになった方は回答不要です。
太陽光発電設備を導入していない理由として、もっともあてはまるものはなんですか。
(○は1つだけ)



— 「導入に必要となる初期費用が高いから」が4割強—

【全体結果】

太陽光発電設備を導入していない理由は、「導入に必要となる初期費用が高いから」が41.6%で、4割強となった。「太陽光発電設備について興味がないから」が10.8%、「検討した結果、デメリットが大きいから」が9.7%、「興味はあるが具体的なメリットがわからないから」が9.5%、「電気料金や供給体制に不満がないから」が5.0%、「興味はあるが相談先がわからないから」が1.4%となった。

【属性別結果】(次ページ図2-2参照)

① 地区別

「導入に必要となる初期費用が高いから」と答えた割合は、北区(54.1%)で最も高い。

「その他」と答えた割合は、中央区(20.2%)で高く、差がみられた。

② 性別

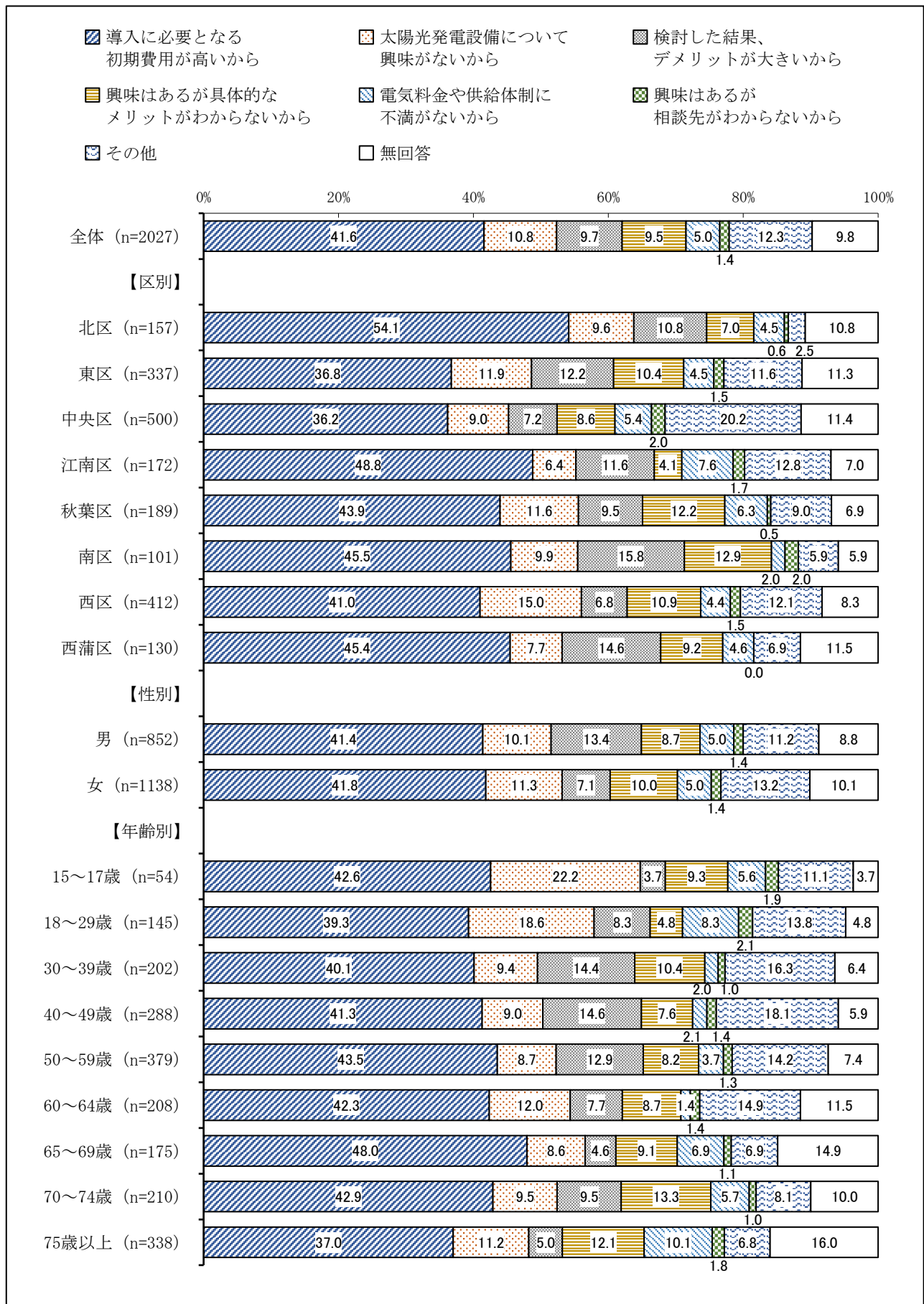
「検討した結果、デメリットが大きいから」と答えた割合は、女性(7.1%)より男性(13.4%)で高い。

③ 年齢別

「導入に必要となる初期費用が高いから」と答えた割合は、65～69歳(48.0%)で最も高い。

「興味はあるが具体的なメリットがわからないから」と答えた割合は、70～74歳(13.3%)、75歳以上(12.1%)で高く、1割以上となった。

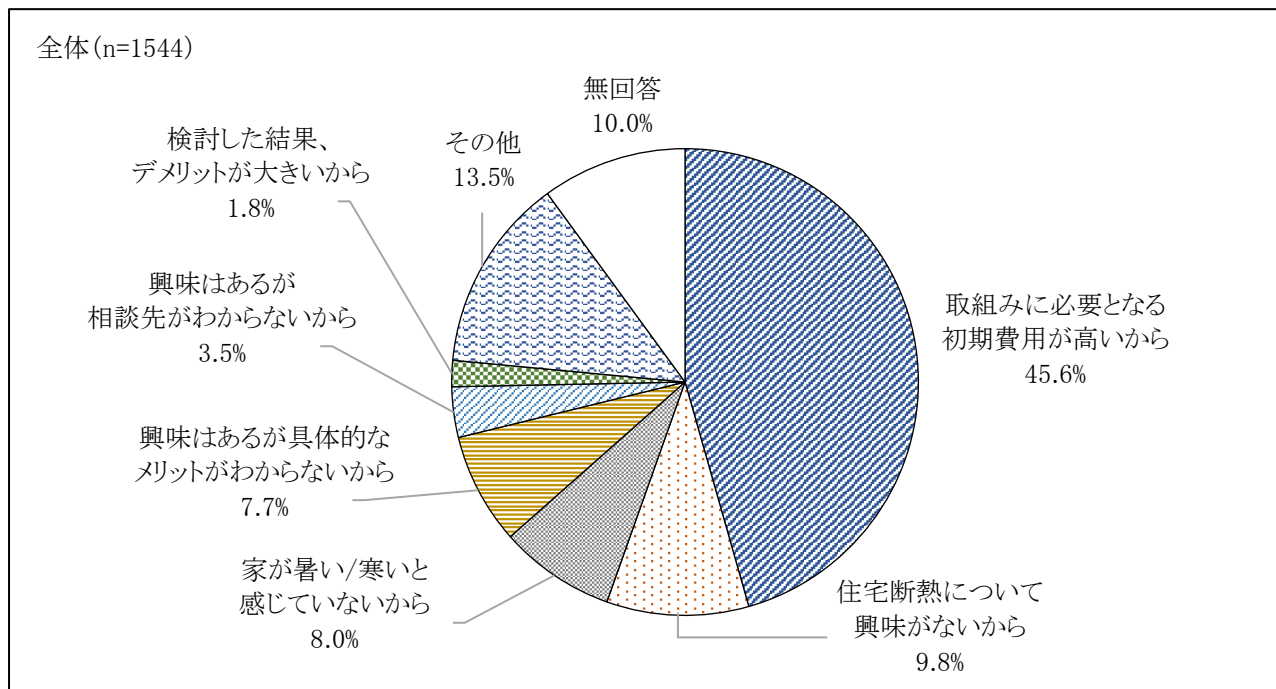
図 2-2 太陽光発電設備を導入していない理由（地区別/性別/年齢別）



(3) 住宅の断熱性能強化を導入していない理由

問8 問6で2「住宅の断熱性能強化」をお答えになった方は回答不要です。

住宅の断熱性能強化に取り組んでいない理由として、もっともあてはまるものはなんですか。
(○は1つだけ)



— 「導入に必要となる初期費用が高いから」が4割半ば—

【全体結果】

住宅の断熱性能強化に取り組んでいない理由は、「取組みに必要となる初期費用が高いから」が45.6%で、4割半ばとなった。「住宅断熱について興味がないから」が9.8%、「家が暑い/寒いと感じていないから」が8.0%、「興味はあるが具体的なメリットがわからないから」が7.7%、「興味はあるが相談先がわからないから」が3.5%、「検討した結果、デメリットが大きいため」が1.8%となった。「その他」は「賃貸だから」という内容の意見が多かった。

【属性別結果】(次ページ図2-3参照)

① 地区別

「導入に必要となる初期費用が高いから」と答えた割合は、北区(55.5%)で最も高い。中央区では、「その他」(21.3%)の割合が高い。

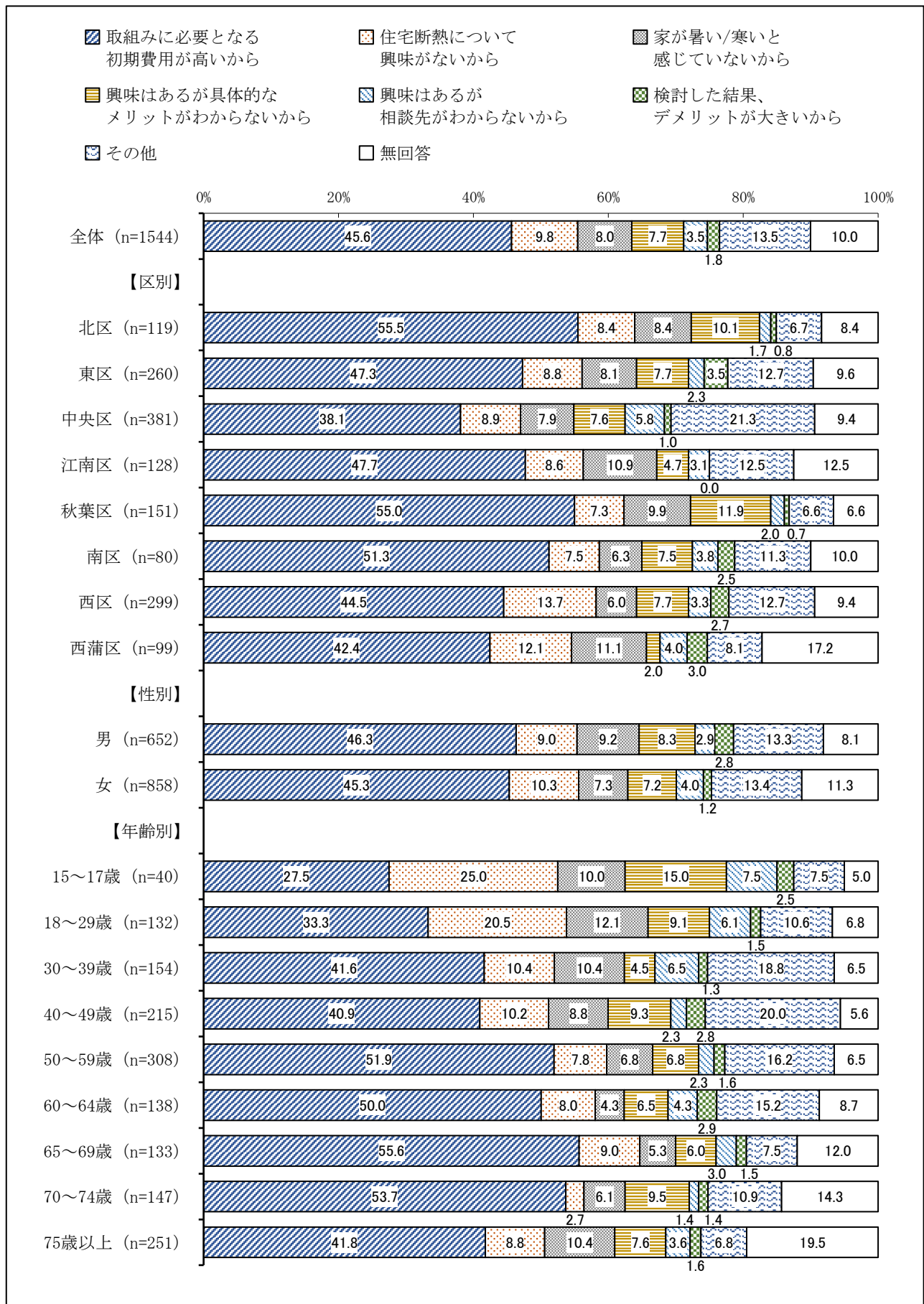
② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

③ 年齢別

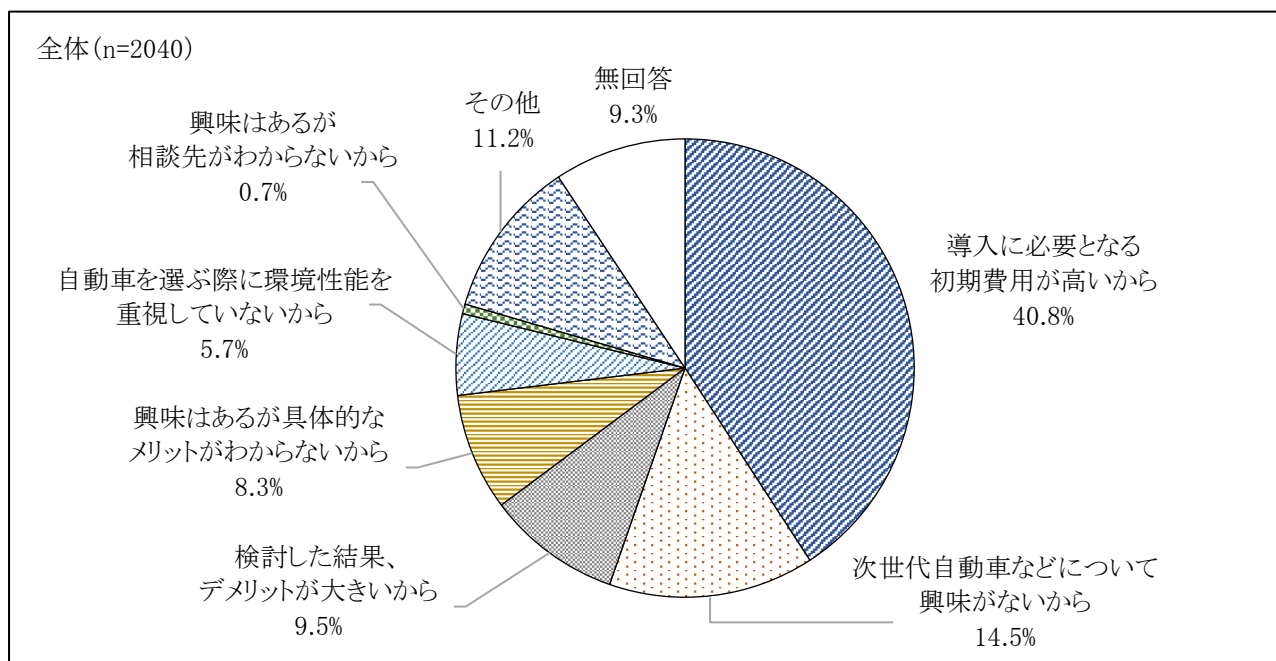
「取組みに必要となる初期費用が高いから」と答えた割合は、65~69歳(55.6%)で最も高い。30~39歳(18.8%)、40~49歳(20.0%)では、「その他」の割合が高い。

図 2-3 住宅の断熱性能強化を導入していない理由（地区別/性別/年齢別）



(4) 次世代自動車などを導入していない理由

問9 問6で3「次世代自動車などの導入」をお答えになった方は回答不要です。
次世代自動車などを導入していない理由として、もっともあてはまるものはなんですか。
(○は1つだけ)



— 「導入に必要となる初期費用が高いから」が約4割—

【全体結果】

次世代自動車などを導入していない理由は、「導入に必要となる初期費用が高いから」が40.8%で、約4割となった。「次世代自動車などについて興味がないから」が14.5%、「検討した結果、デメリットが大きいから」が9.5%、「興味はあるが具体的なメリットがわからないから」が8.3%、「自動車を選ぶ際に環境性能を重視していないから」が5.7%、「興味はあるが相談先がわからないから」が0.7%となった。「その他」は「車を持っていない」、「免許がない」といった意見が散見された。

【属性別結果】(次ページ図2-4参照)

① 地区別

「導入に必要となる初期費用が高いから」と答えた割合は、南区(50.9%)で最も高い。

② 性別

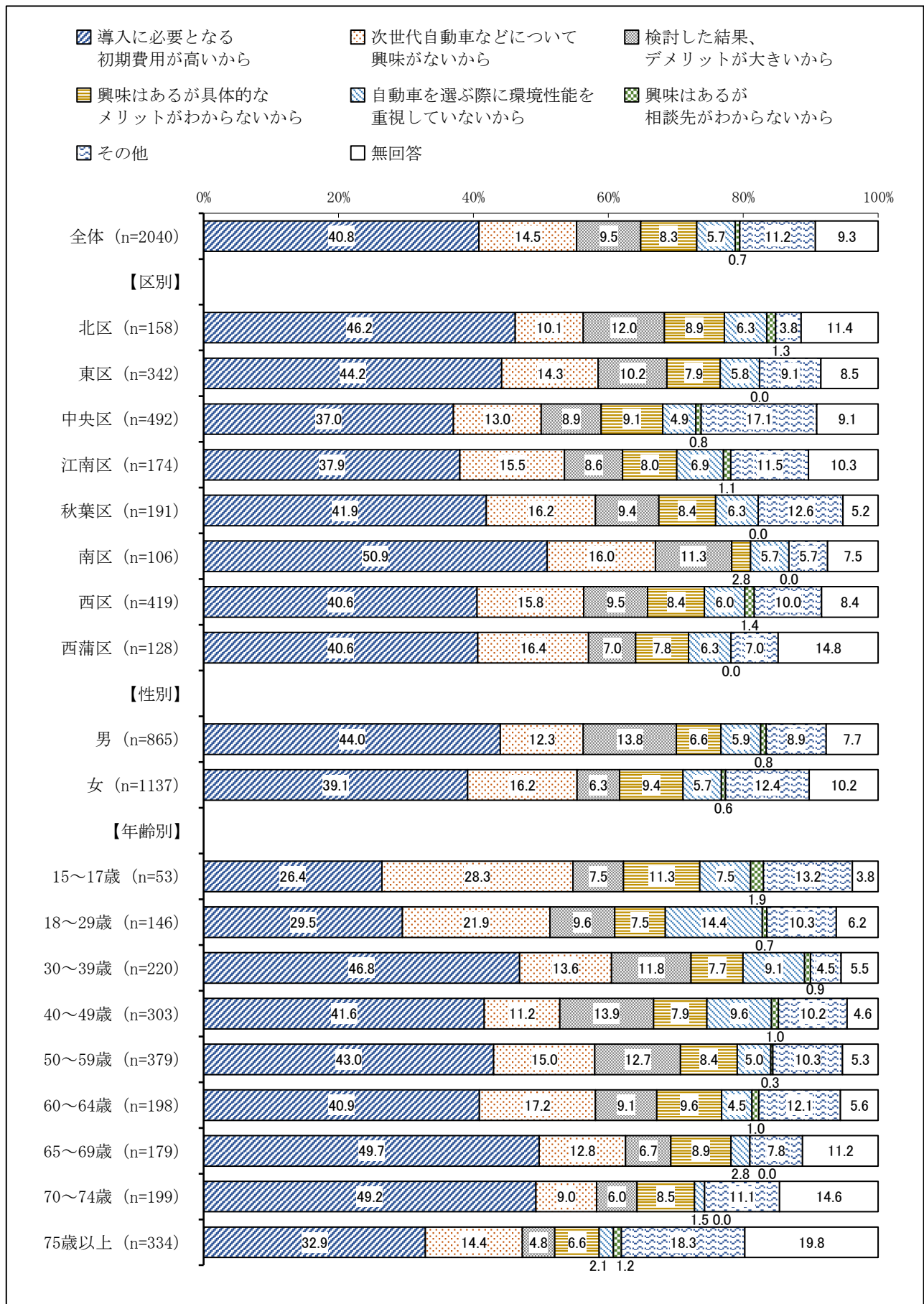
「検討した結果、デメリットが大きいから」(男性13.8%、女性6.3%)、「導入に必要となる初期費用が高いから」(男性44.0%、女性39.1%)と答えた割合は、女性より男性で高い。

「次世代自動車などについて興味がないから」と答えた割合は、男性(12.3%)より女性(16.2%)で高い。

③ 年齢別

「導入に必要となる初期費用が高いから」と答えた割合は、65～69歳(49.7%)、70～74歳(49.2%)で高く、約5割となっている。

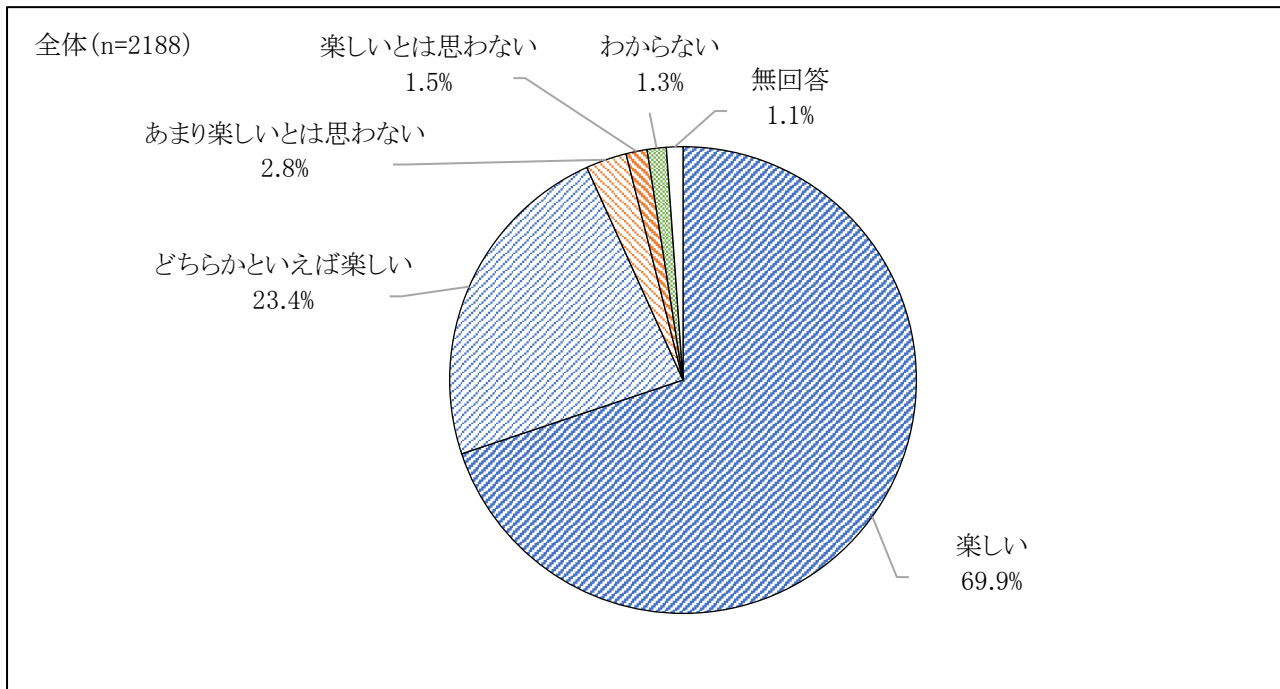
図 2-4 次世代自動車などを導入していない理由（地区別/性別/年齢別）



3. 食育について

(1) 食の楽しさ

問10 食べることは「楽しい」ですか。(○は1つだけ)



— 食べることは『楽しい』が9割強 —

【全体結果】

食べることについて、「楽しい」と「どちらかといえば楽しい」を合わせた『楽しい』が93.3%で、9割強となった。「あまり楽しいとは思わない」と「楽しいとは思わない」を合わせた『楽しいとは思わない』が4.3%、「わからない」が1.3%となった。

【属性別結果】(次ページ図 3-1 参照)

① 地区別

『楽しい』の割合は、すべての区で9割を超えた。

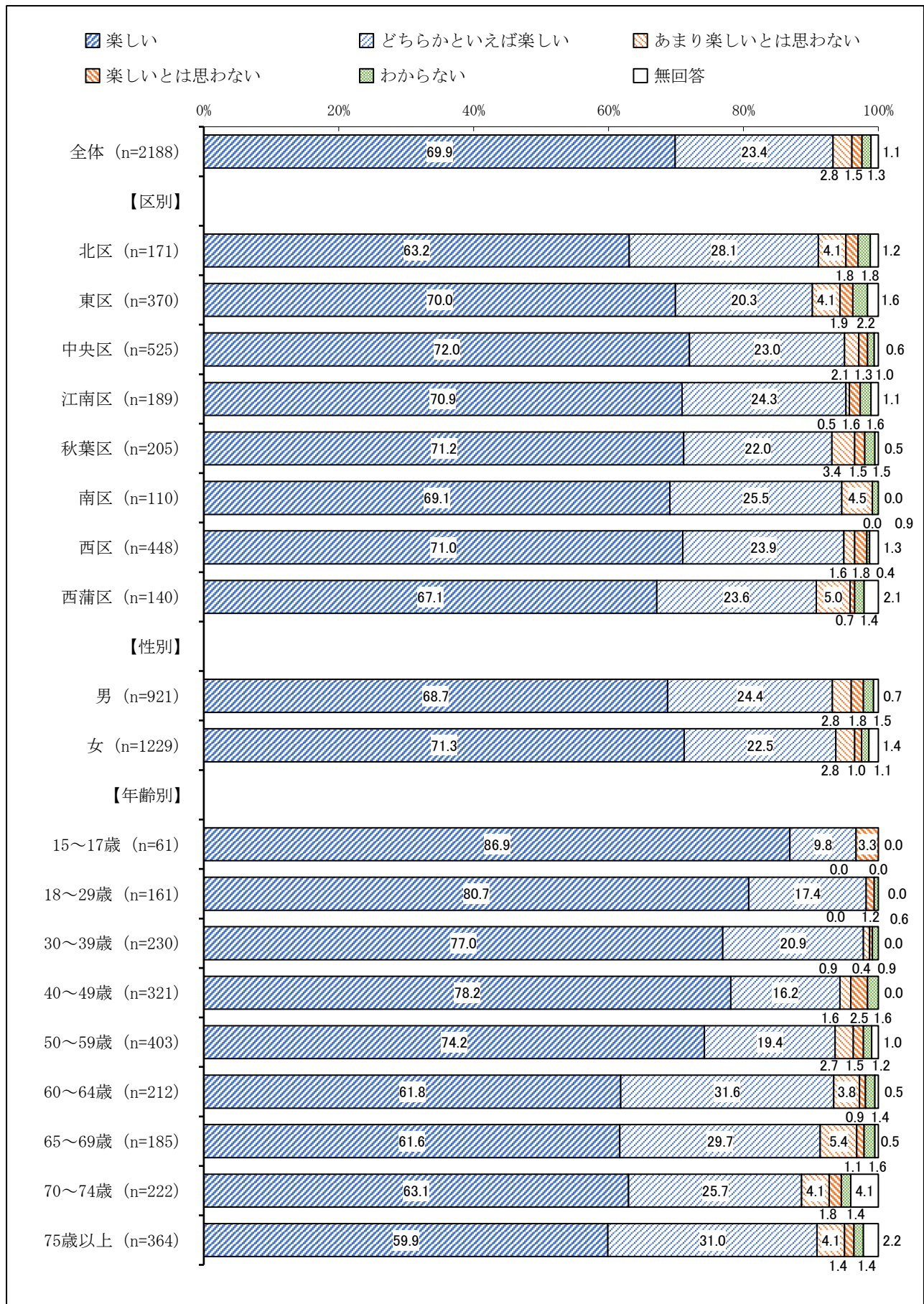
② 性別

『楽しい』の割合は、性別での大きな差はみられなかった。

③ 年齢別

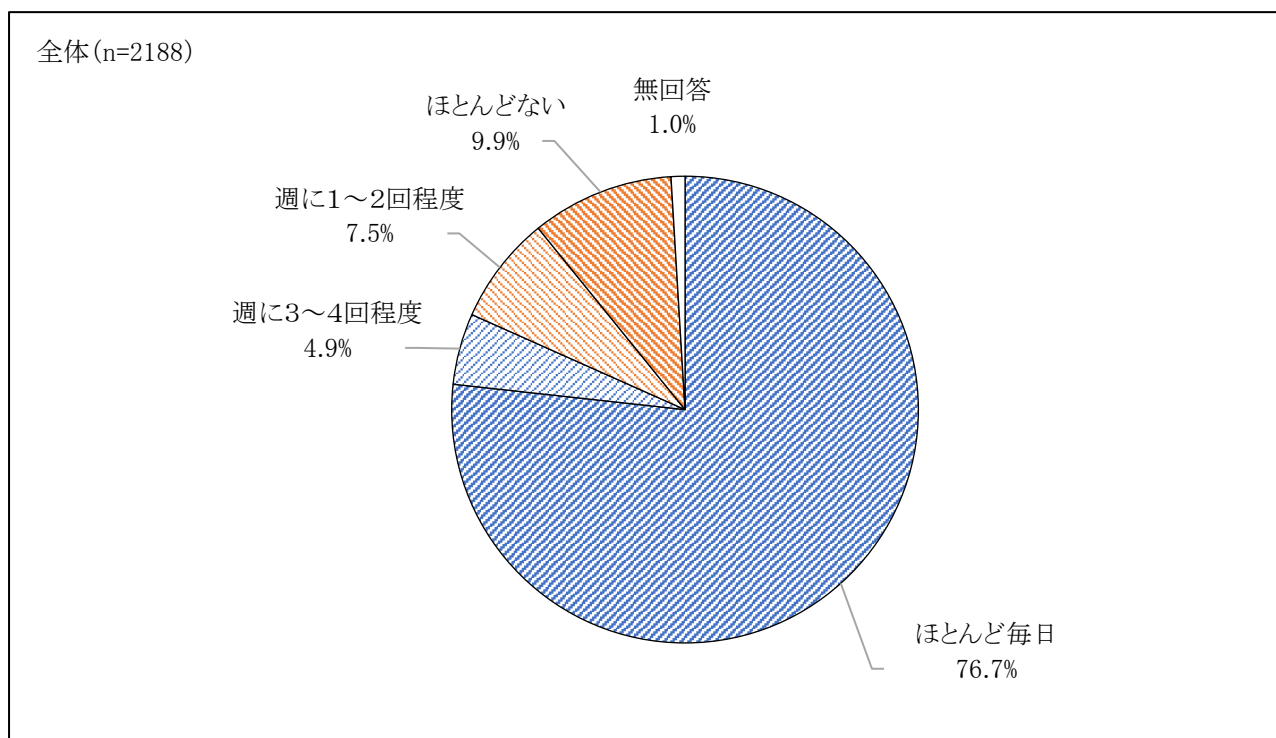
「楽しい」と答えた割合は、15～17歳(86.9%)で最も高く、75歳以上(59.9%)で最も低い。年齢が高いほど、割合が低くなる傾向がみられる。

図 3-1 食の楽しさ（地区別/性別/年齢別）



(2) 誰か（家族・友人・知人等）と一緒に食事をする頻度

問 1 1 あなたは、1日に1回以上、誰か（家族・友人・知人等）と一緒に食事をしていきますか。
(○は1つだけ)



— 「ほとんど毎日」が7割半ば —

【全体結果】

誰か（家族・友人・知人等）と一緒に食事をする頻度は、「ほとんど毎日」が76.7%で、7割半ばとなった。「週に3~4回程度」が4.9%、「週に1~2回程度」が7.5%、「ほとんどない」が9.9%となった。

【属性別結果】（次ページ図 3-2 参照）

① 地区別

「ほとんど毎日」と答えた割合は、江南区（82.0%）と南区（81.8%）で高く、8割を超えた。

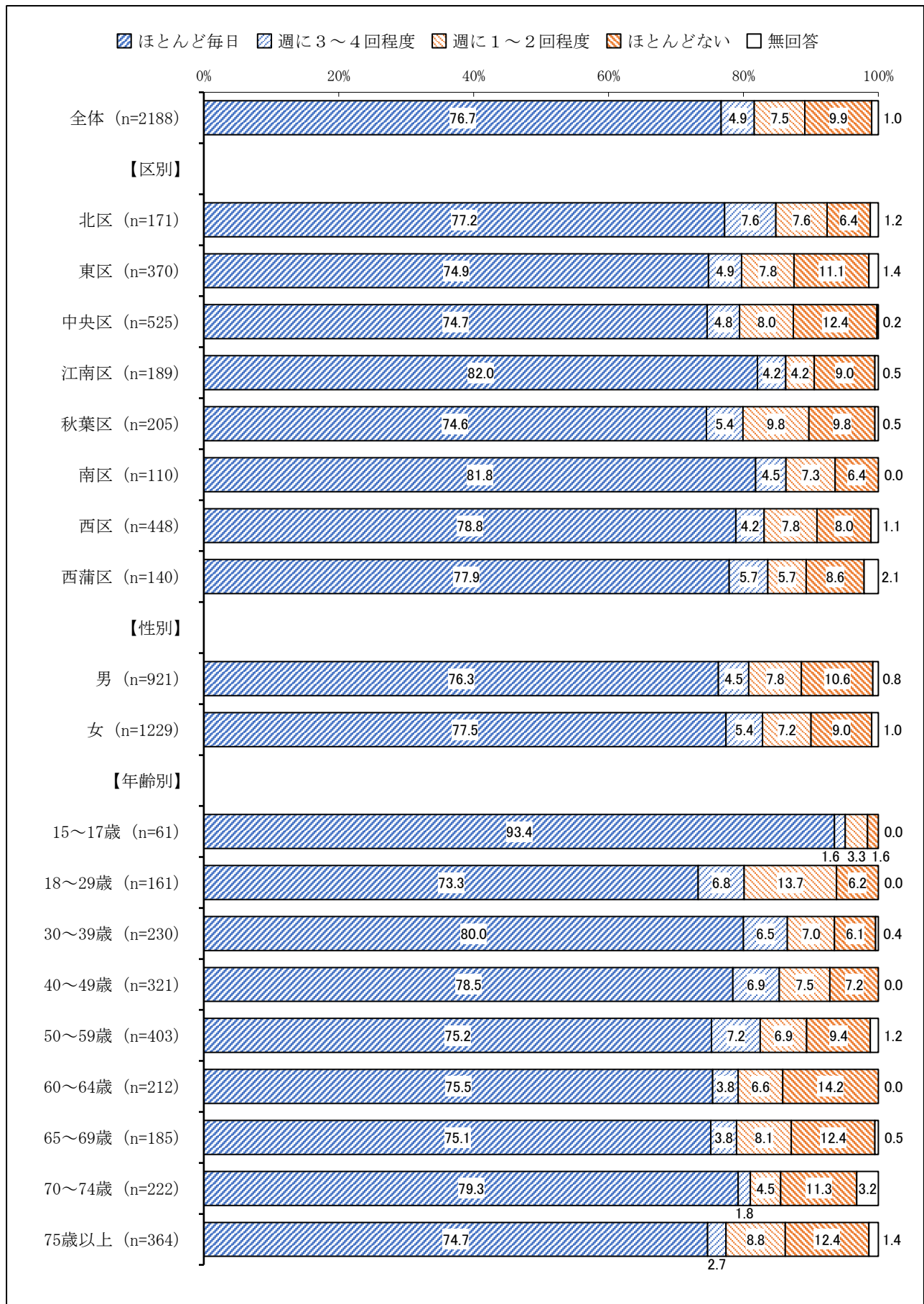
② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

③ 年齢別

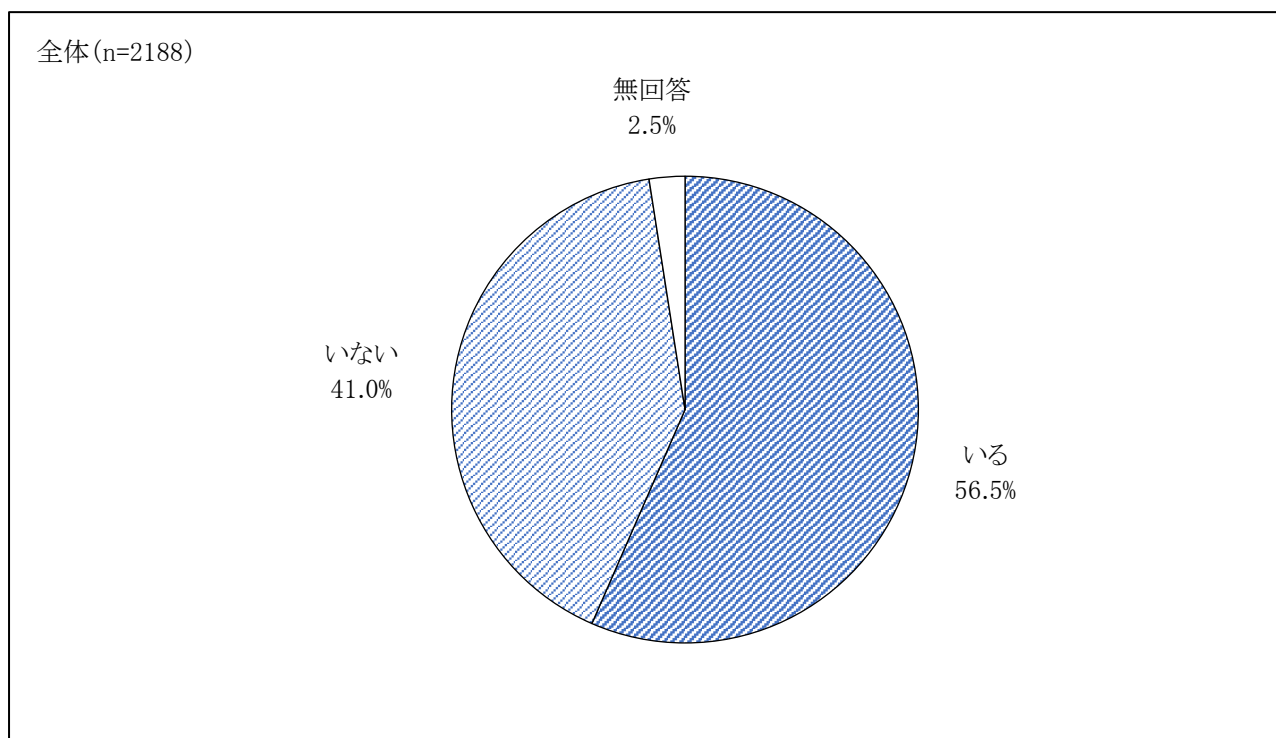
「ほとんど毎日」と答えた割合は、15~17歳（93.4%）で最も高く、18~29歳（73.3%）で最も低い。

図 3-2 誰か（家族・友人・知人等）と一緒に食事をする頻度（地区別/性別/年齢別）



(3) 農林漁業体験の参加者の有無

問12 これまで、あなたまたはあなたの家族の中で農林漁業体験に参加したことのある人はいますか。(○は1つだけ)



— 「いる」が5割半ば —

【全体結果】

農林漁業体験の参加者の有無は、「いる」が56.5%で、5割半ばとなった。「いない」が41.0%となった。

【属性別結果】(次ページ図3-3参照)

① 地区別

「いる」と答えた割合は、南区(63.6%)で最も高く、中央区(52.4%)で最も低い。

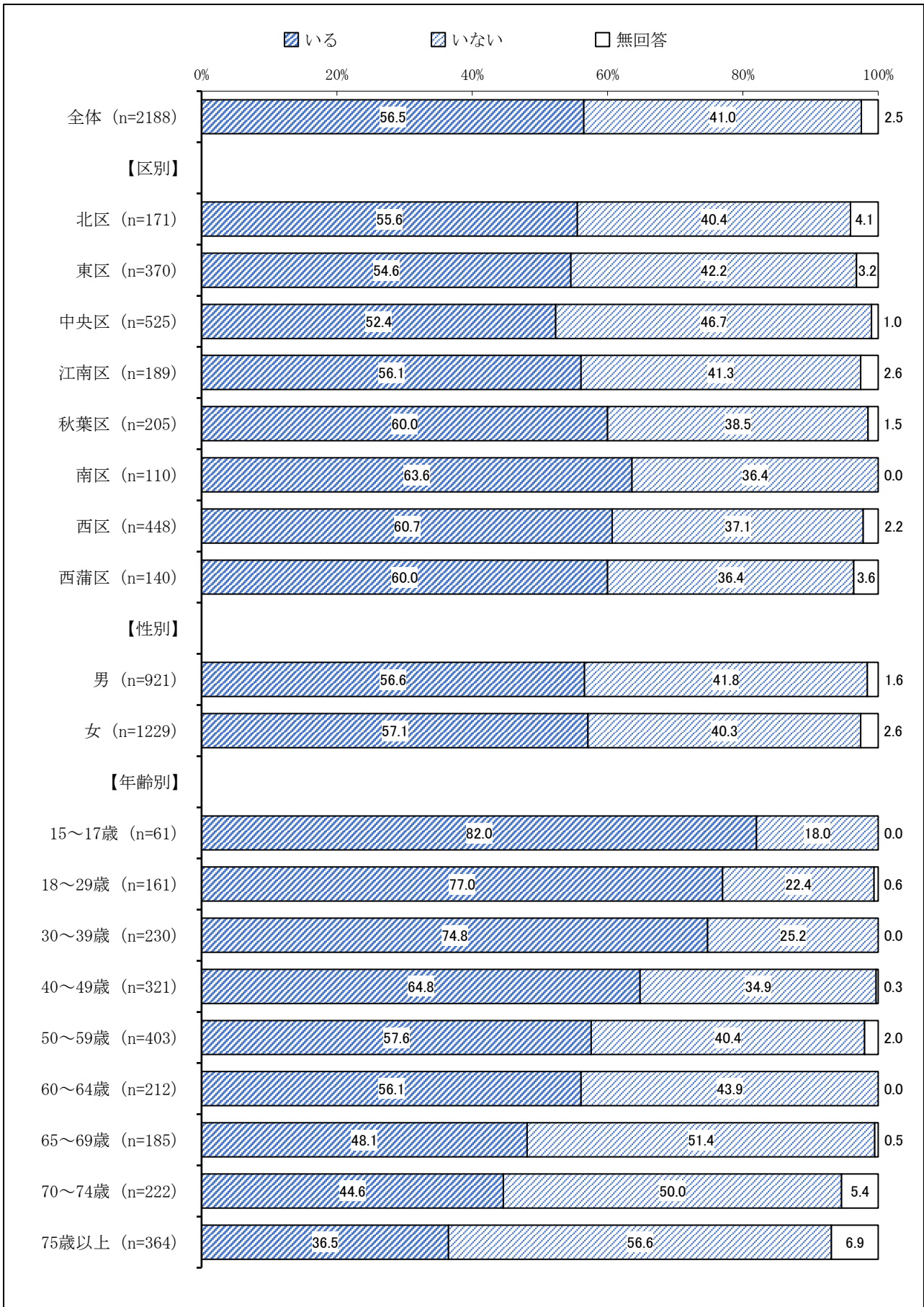
② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

③ 年齢別

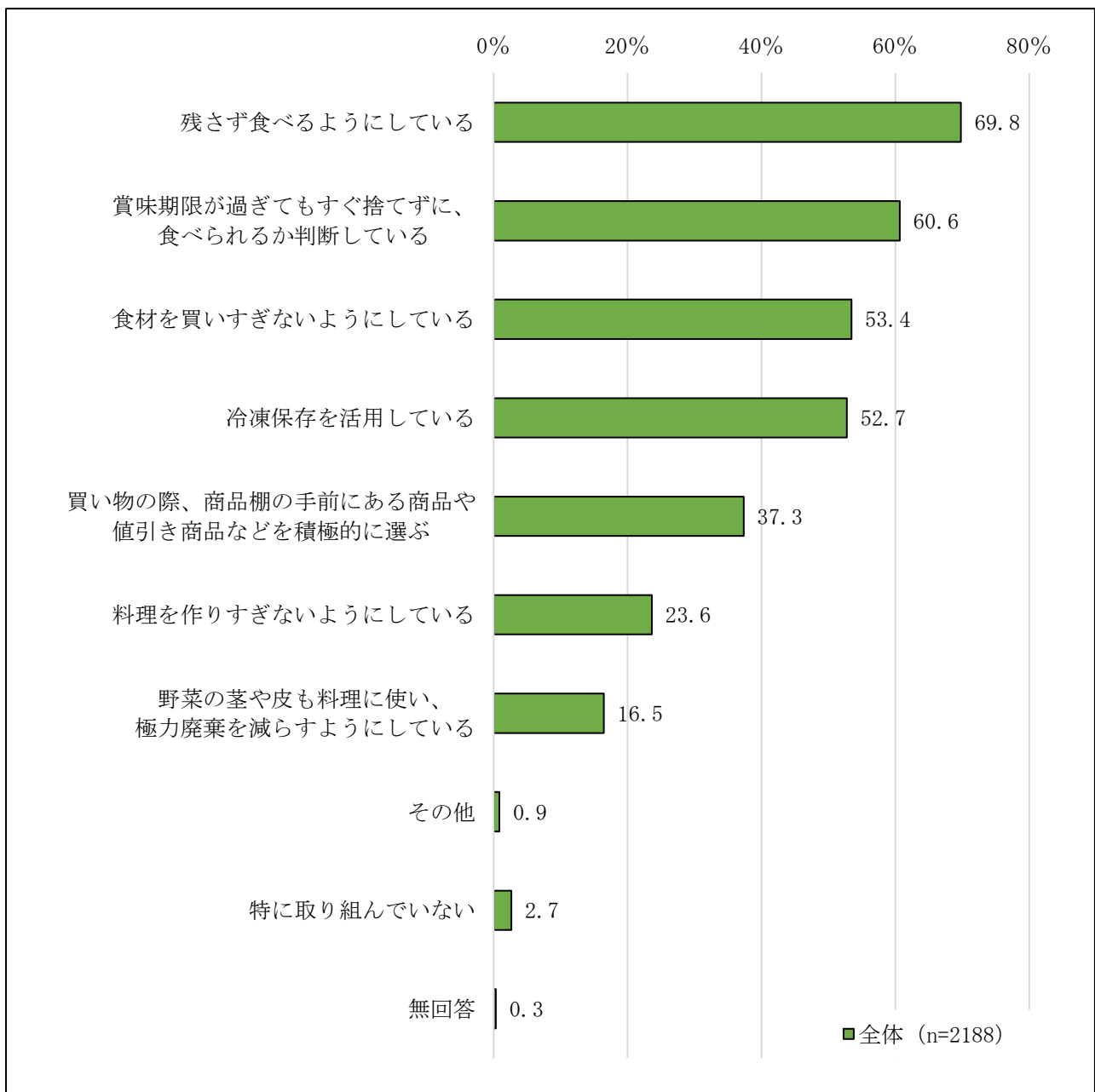
「いる」と答えた割合は、15~17歳(82.0%)で最も高く、75歳以上(36.5%)で最も低い。年齢が高いほど、割合が低くなる傾向がみられる。

図 3-3 農林漁業体験の参加者の有無（地区別/性別/年齢別）



(4) 食品ロス削減の取り組み

問13 あなたは、食品ロスを減らし、食べ物を無駄にしないように、取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)



— 「残さず食べるようにしている」が約7割でトップ —

【全体結果】

食品ロス削減の取り組みは、「残さず食べるようにしている」(69.8%)が最も割合が高く、約7割となった。次いで「賞味期限が過ぎてもすぐ捨てずに、食べられるか判断している」(60.6%)、「食材を買いすぎないようにしている」(53.4%)、「冷凍保存を活用している」(52.7%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図3-4参照)

① 地区別

すべての区で、「残さず食べるようにしている」、「賞味期限が過ぎてもすぐ捨てずに、食べられるか判断している」、「食材を買いすぎないようにしている」、「冷凍保存を活用している」の4つの項目の割合が高い。

② 性別

「残さず食べるようにしている」と答えた割合は、女性(67.3%)より男性(73.5%)で高い。

「その他」、「特に取り組んでいない」、「残さず食べるようにしている」を除く他の項目は、すべて男性よりも女性で割合が高い。

③ 年齢別

「残さず食べるようにしている」と答えた割合は、15~17歳(83.6%)で最も高く、75歳以上(63.7%)で最も低い。年齢が高いほど、割合が低くなる傾向がみられる。

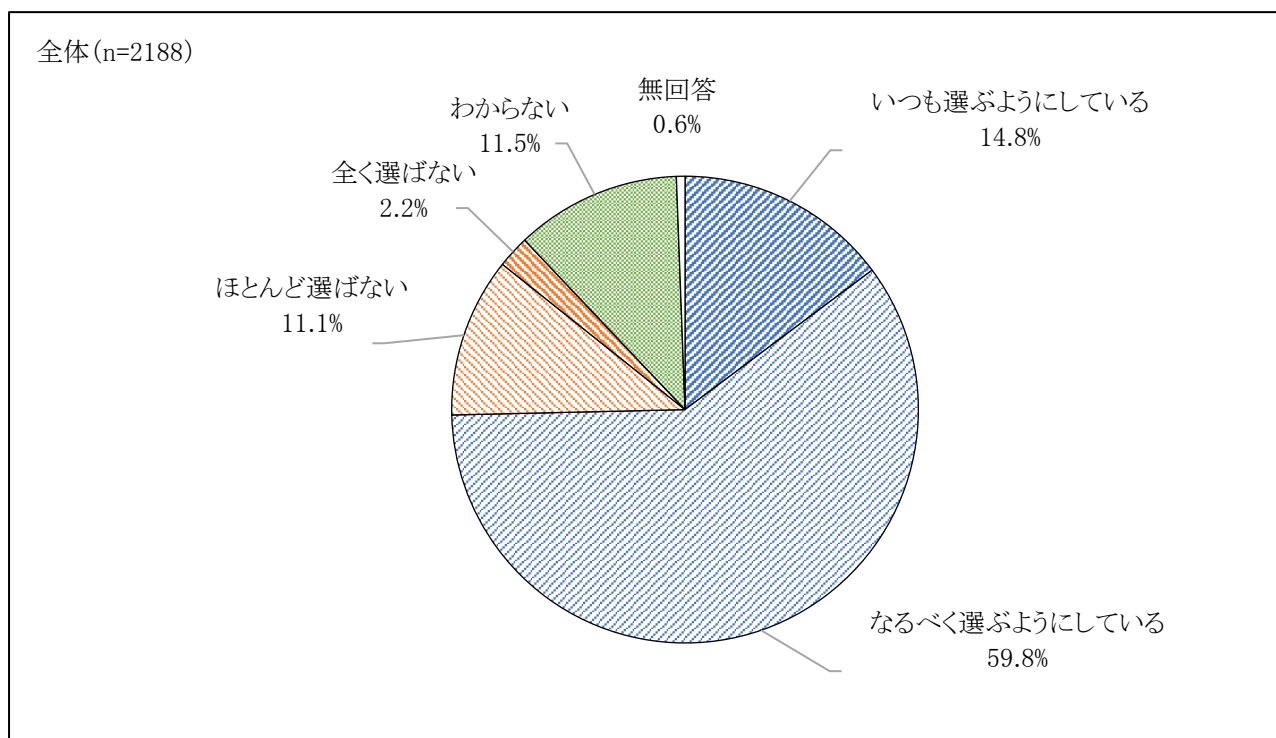
逆に、「食材を買いすぎないようにしている」、「冷凍保存を活用している」、「料理を作りすぎないようにしている」は、年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

図 3-4 食品ロス削減の取り組み（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	残さず食べるようにしている	賞味期限が過ぎてもすぐ捨てずに、食べられるか判断している	食材を買いすぎないようにしている	冷凍保存を活用している	買い物の際、商品棚の手前にある商品や値引き商品などを積極的に選ぶ	料理を作りすぎないようにしている	野菜の茎や皮も料理に使い、極力廃棄を減らすようにしている	その他	特に取り組んでいない	無回答
全体 (n=2188)	69.8	60.6	53.4	52.7	37.3	23.6	16.5	0.9	2.7	0.3
【区別】										
北区 (n=171)	69.6	57.3	48.5	49.7	42.7	20.5	15.8	0.6	2.3	0.0
東区 (n=370)	66.2	59.5	51.6	54.9	38.4	24.1	17.0	1.4	3.2	0.0
中央区 (n=525)	71.4	61.5	56.4	54.3	35.8	24.0	18.1	1.0	2.9	0.6
江南区 (n=189)	68.3	61.9	54.0	55.0	40.2	23.3	15.3	0.5	3.2	0.0
秋葉区 (n=205)	69.3	60.5	49.8	51.2	29.8	24.9	14.6	1.0	2.0	0.0
南区 (n=110)	68.2	62.7	55.5	47.3	39.1	24.5	19.1	0.9	4.5	0.9
西区 (n=448)	72.5	61.4	54.0	49.8	38.8	22.1	14.7	0.7	2.0	0.2
西蒲区 (n=140)	70.7	57.9	56.4	56.4	36.4	25.7	17.1	0.0	0.7	0.7
【性別】										
男 (n=921)	73.5	54.6	46.0	44.7	32.9	18.1	11.7	0.9	4.1	0.3
女 (n=1229)	67.3	64.9	59.2	58.6	40.8	27.6	19.9	0.8	1.4	0.2
【年齢別】										
15～17歳 (n=61)	83.6	32.8	18.0	23.0	32.8	6.6	8.2	0.0	3.3	0.0
18～29歳 (n=161)	80.7	54.7	46.6	50.3	37.9	16.8	9.9	0.0	2.5	0.0
30～39歳 (n=230)	78.3	69.1	46.5	59.6	44.8	13.0	15.2	0.9	1.7	0.0
40～49歳 (n=321)	69.2	66.0	47.0	49.5	40.2	19.0	12.5	0.3	2.8	0.3
50～59歳 (n=403)	66.3	64.0	52.4	50.1	40.0	18.9	14.1	0.5	2.2	0.2
60～64歳 (n=212)	73.6	62.7	64.6	52.4	35.8	29.2	20.8	1.4	0.9	0.0
65～69歳 (n=185)	70.3	55.7	56.8	52.4	33.5	27.6	19.5	0.5	4.3	0.0
70～74歳 (n=222)	64.4	60.8	60.4	58.1	33.8	33.3	18.9	1.8	3.6	0.5
75歳以上 (n=364)	63.7	54.9	61.5	56.6	33.2	33.5	22.3	1.4	2.7	0.8

(5) 身近な場所（県内）でとれたものを選ぶか

問14 あなたは食材を選ぶ際に、身近な場所（県内）でとれたものを選ぶようになっていますか。
(○は1つだけ)



— 『選ぶようになっている』が7割半ば —

【全体結果】

身近な場所（県内）でとれたものを選ぶかは、「いつも選ぶようになっている」と「なるべく選ぶようになっている」を合わせた『選ぶようになっている』が74.6%で、7割半ばとなった。「ほとんど選ばない」と「全く選ばない」を合わせた『選ばない』が13.3%、「わからない」が11.5%となった。

【属性別結果】（次ページ図3-5参照）

① 地区別

『選ぶようになっている』と答えた割合は、秋葉区（77.0%）で最も高く、西蒲区（70.0%）で最も低い。

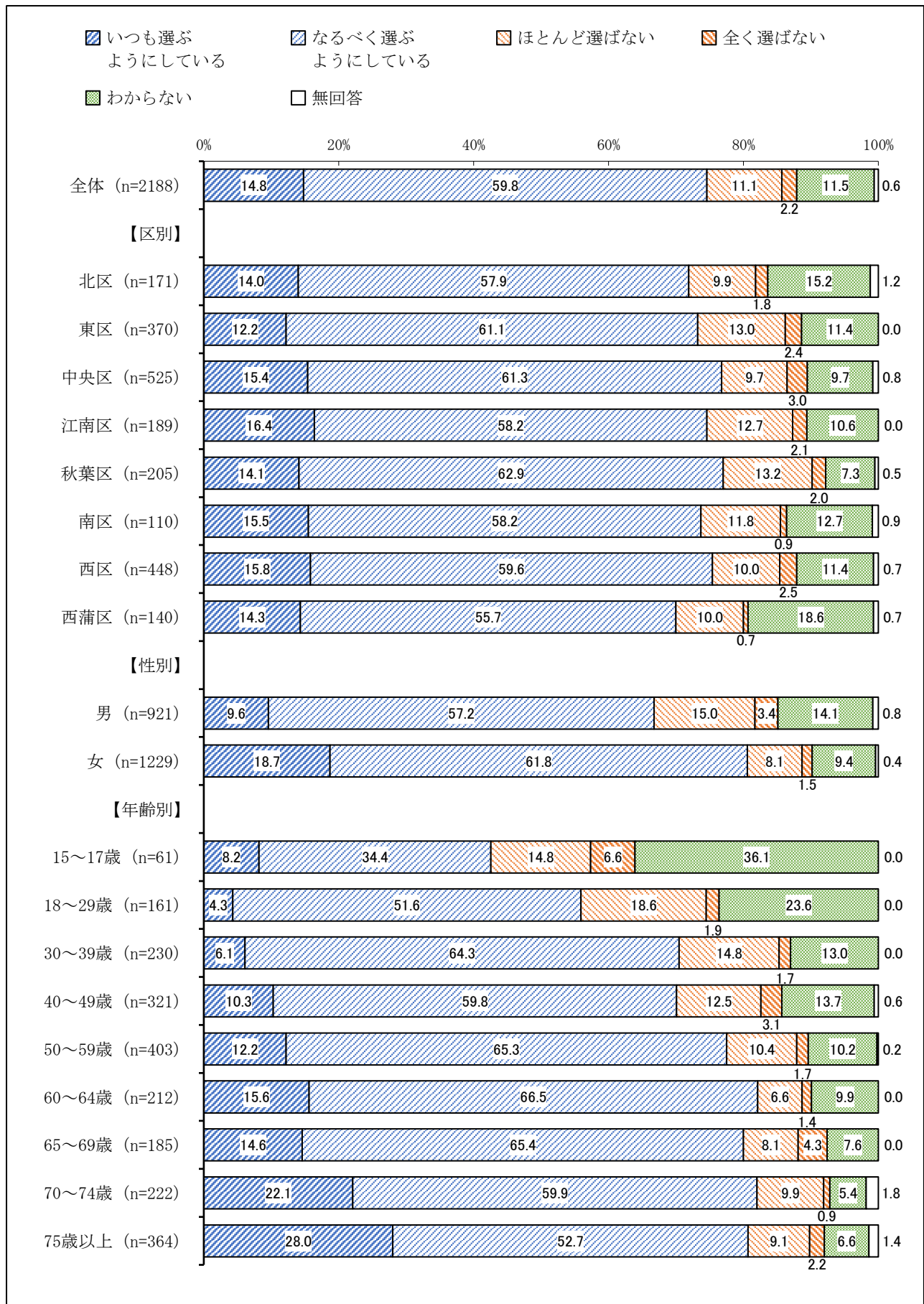
② 性別

『選ぶようになっている』と答えた割合は、男性（66.8%）より女性（80.6%）で高い。

③ 年齢別

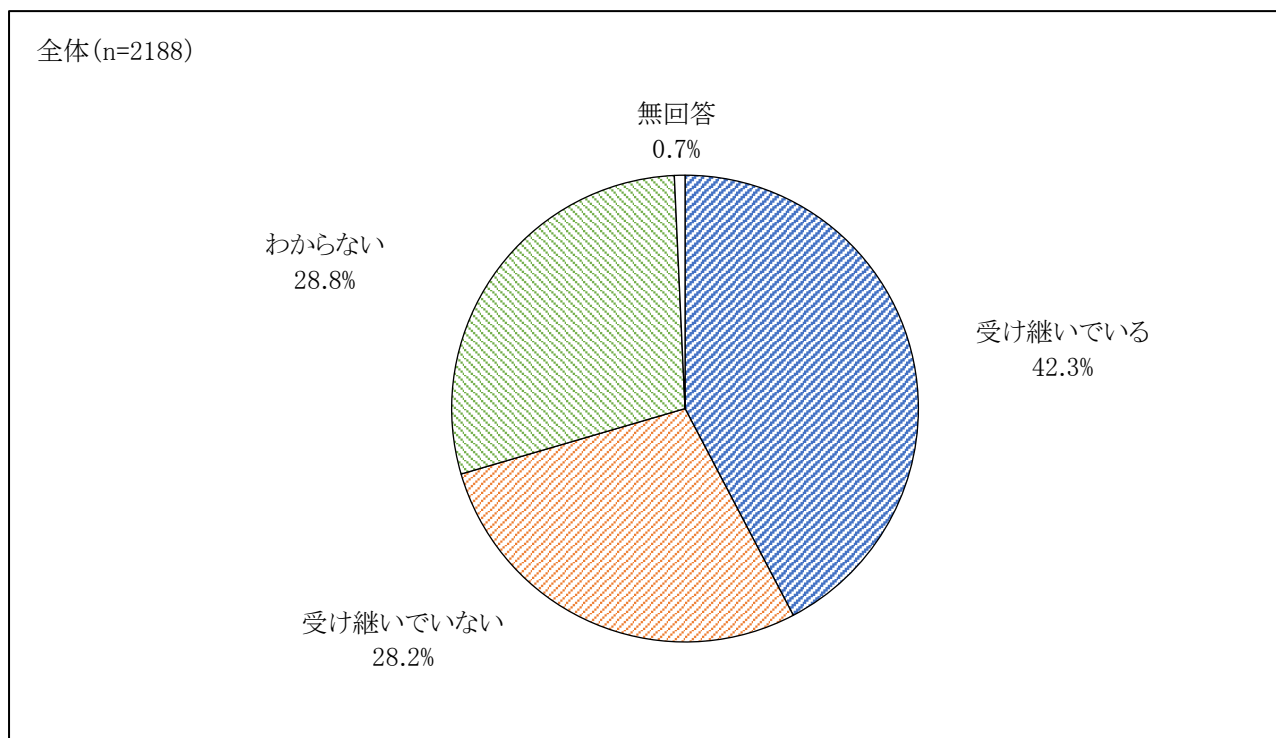
『選ぶようになっている』と答えた割合は、60～64歳（82.1%）で最も高く、15～17歳（42.6%）で最も低い。年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

図 3-5 身近な場所（県内）でとれたものを選ぶか（地区別/性別/年齢別）



(6) 食文化（郷土料理や行事食）の継承

問15 あなたは、食文化（郷土料理や行事食）を受け継いでいますか。（○は1つだけ）



— 「受け継いでいる」が4割強 —

【全体結果】

食文化（郷土料理や行事食）の継承は、「受け継いでいる」が42.3%で、4割強となった。「受け継いでいない」が28.2%、「わからない」が28.8%となった。

【属性別結果】（次ページ図3-6参照）

① 地区別

「受け継いでいる」と答えた割合は、秋葉区（47.3%）で最も高く、北区（33.9%）で最も低い。

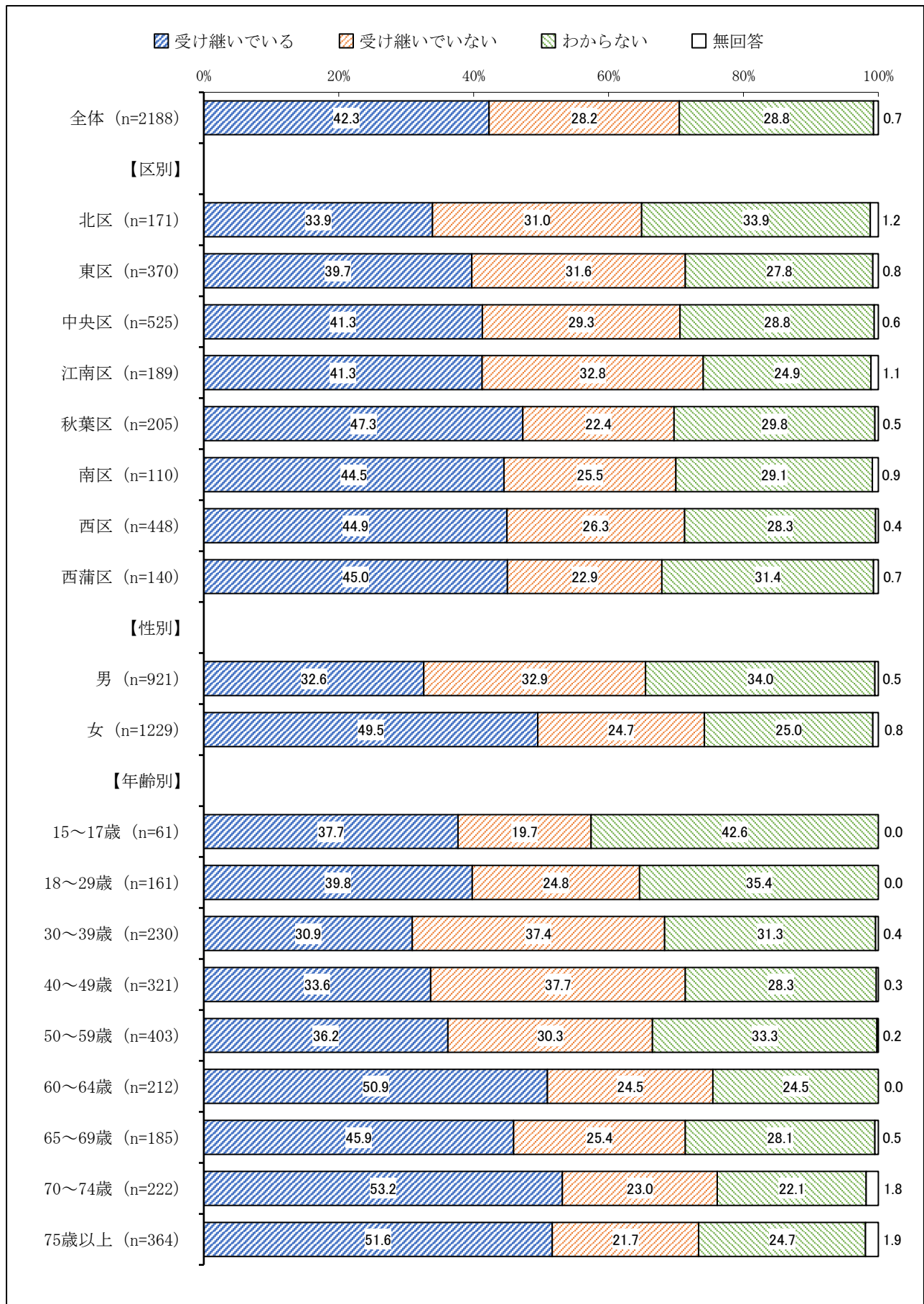
② 性別

「受け継いでいる」と答えた割合は、男性（32.6%）より女性（49.5%）で高い。

③ 年齢別

「受け継いでいる」と答えた割合は、70～74歳（53.2%）で最も高く、30～39歳（30.9%）で最も低い。59歳以下の若い世代で低く、60歳以上の高齢層で高くなっている。

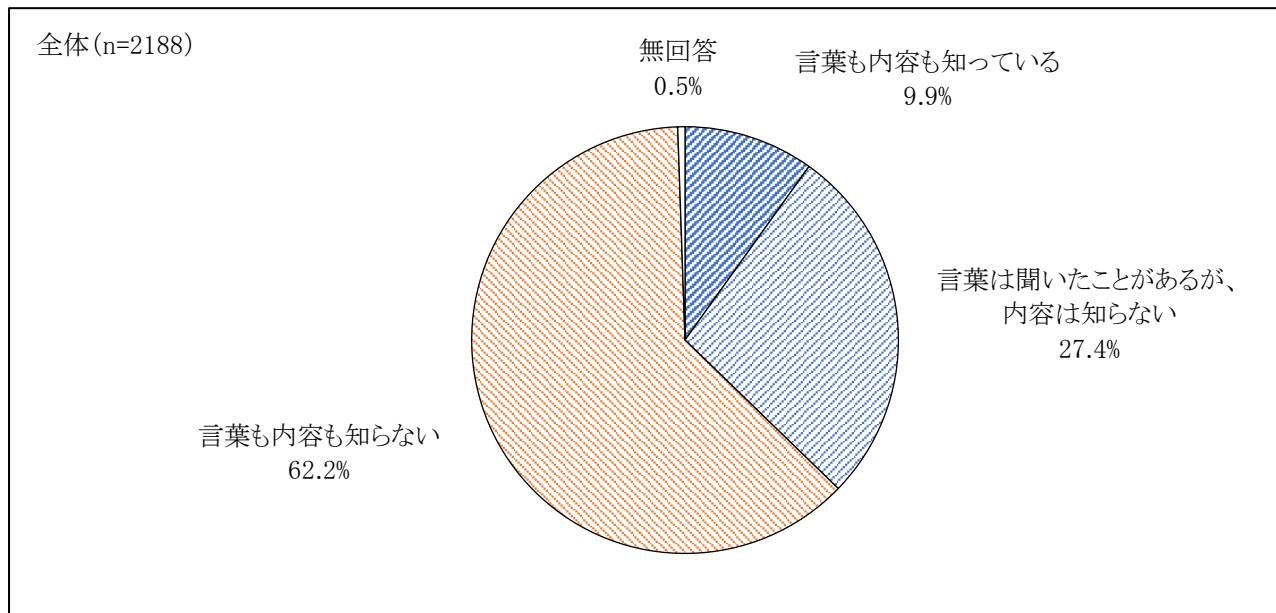
図 3-6 食文化（郷土料理や行事食）の継承（地区別/性別/年齢別）



4. 新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例（共生条例）について

（1）「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例（共生条例）」の認知度

問16 あなたは「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例（共生条例）」を知っていますか。（○は1つだけ）



— 「言葉も内容も知っている」は約1割 —

【全体結果】

新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例（共生条例）について、「言葉も内容も知っている」が9.9%で、約1割となった。「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が27.4%、「言葉も内容も知らない」が62.2%となった。

【属性別結果】（次ページ図4-1参照）

① 地区別

「言葉も内容も知っている」と答えた割合は、江南区（12.7%）で最も高く、南区（7.3%）で最も低い。

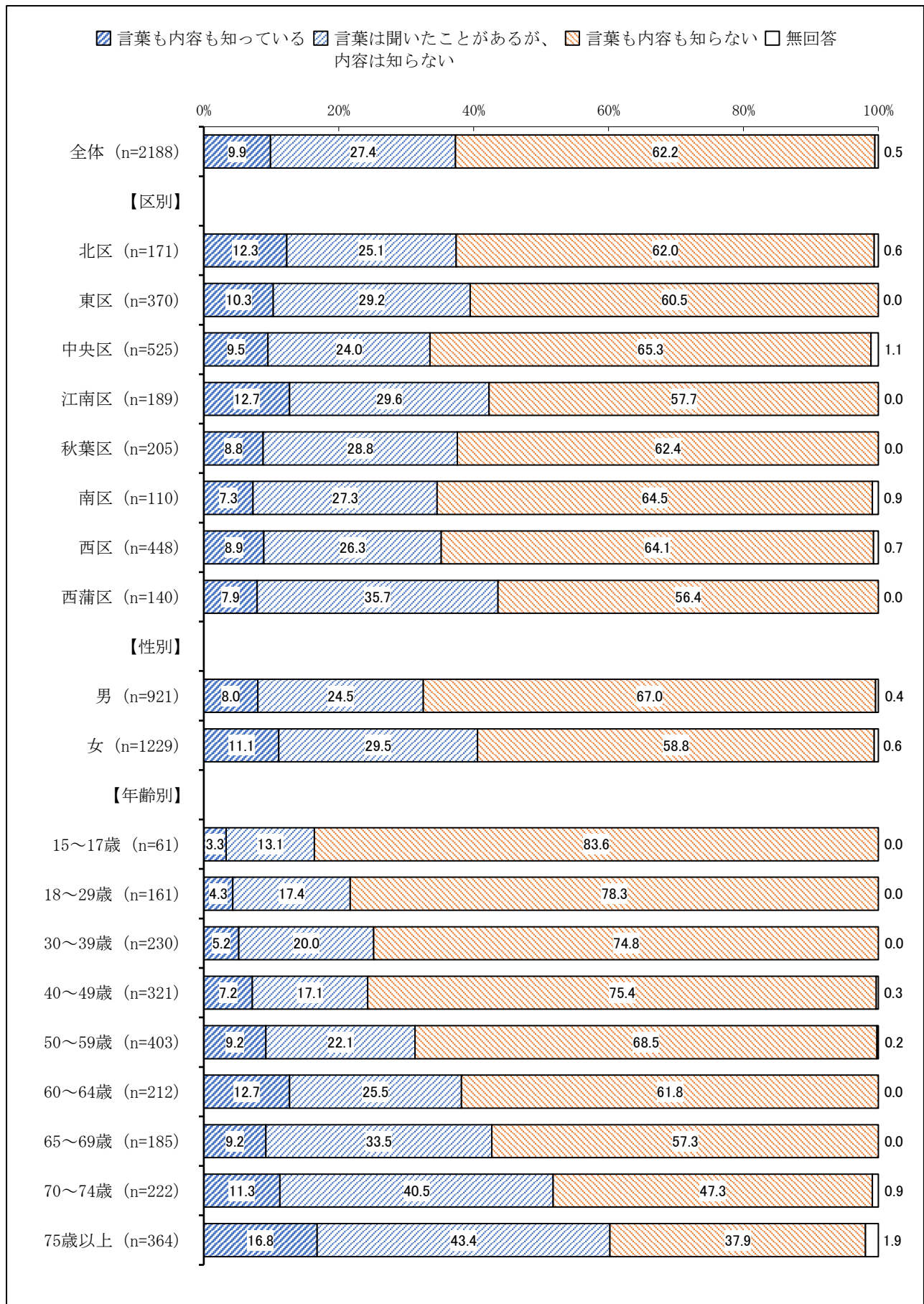
② 性別

「言葉も内容も知っている」と答えた割合は、男性（8.0%）より女性（11.1%）で高い。また、「言葉も内容も知っている」と「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」を合わせた割合も、男性より女性で高い。

③ 年齢別

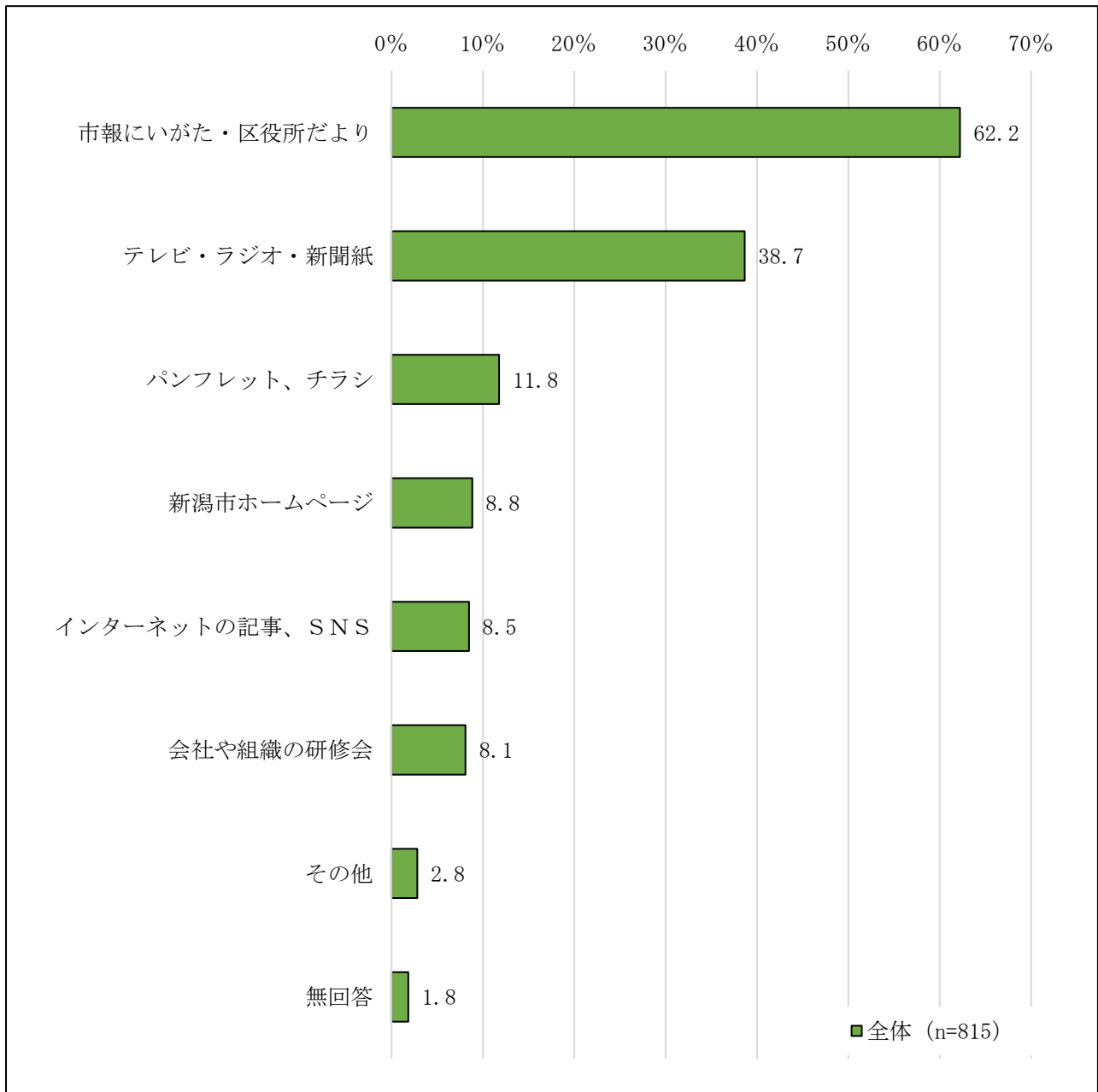
「言葉も内容も知っている」と答えた割合は、75歳以上（16.8%）で最も高く、15～17歳（3.3%）で最も低い。「言葉も内容も知っている」と「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」を合わせた割合は、年齢が高いほど高くなる傾向が顕著にみられる。

図 4-1 「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例（共生条例）」の認知度（地区別/性別/年齢別）



(2) 共生条例を知ったきっかけ

問17 問16で1「言葉も内容も知っている」、2「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」をお答えになった方にお聞きします。
共生条例を知ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)



— 「市報にいがた・区役所だより」が6割強でトップ —

【全体結果】

共生条例を知ったきっかけは、「市報にいがた・区役所だより」(62.2%)と答えた割合が6割強、「テレビ・ラジオ・新聞紙」(38.7%)と答えた割合が約4割と高く、他は低い。

【属性別結果】(次ページ図4-2参照)

① 地区別

「市報にいがた・区役所だより」と答えた割合は、秋葉区(66.2%)で最も高く、北区(51.6%)で最も低い。「テレビ・ラジオ・新聞紙」と答えた割合は、北区(43.8%)で最も高く、秋葉区(36.4%)で最も低い。

② 性別

「パンフレット、チラシ」(男性14.3%、女性10.4%)、「新潟市ホームページ」(男性11.7%、女性7.4%)、「会社や組織の研修会」(男性10.7%、女性6.8%)と答えた割合は、女性より男性で高い。

③ 年齢別

回答者数が少ない15～17歳を除き、「市報にいがた・区役所だより」、「テレビ・ラジオ・新聞紙」は年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

「市報にいがた・区役所だより」と答えた割合が最も高いのは70～74歳(73.9%)、最も低いのは18～29歳(37.1%)、「テレビ・ラジオ・新聞紙」と答えた割合が最も高いのは75歳以上(56.2%)、最も低いのは18～29歳(25.7%)で、いずれも約倍の開きがある。

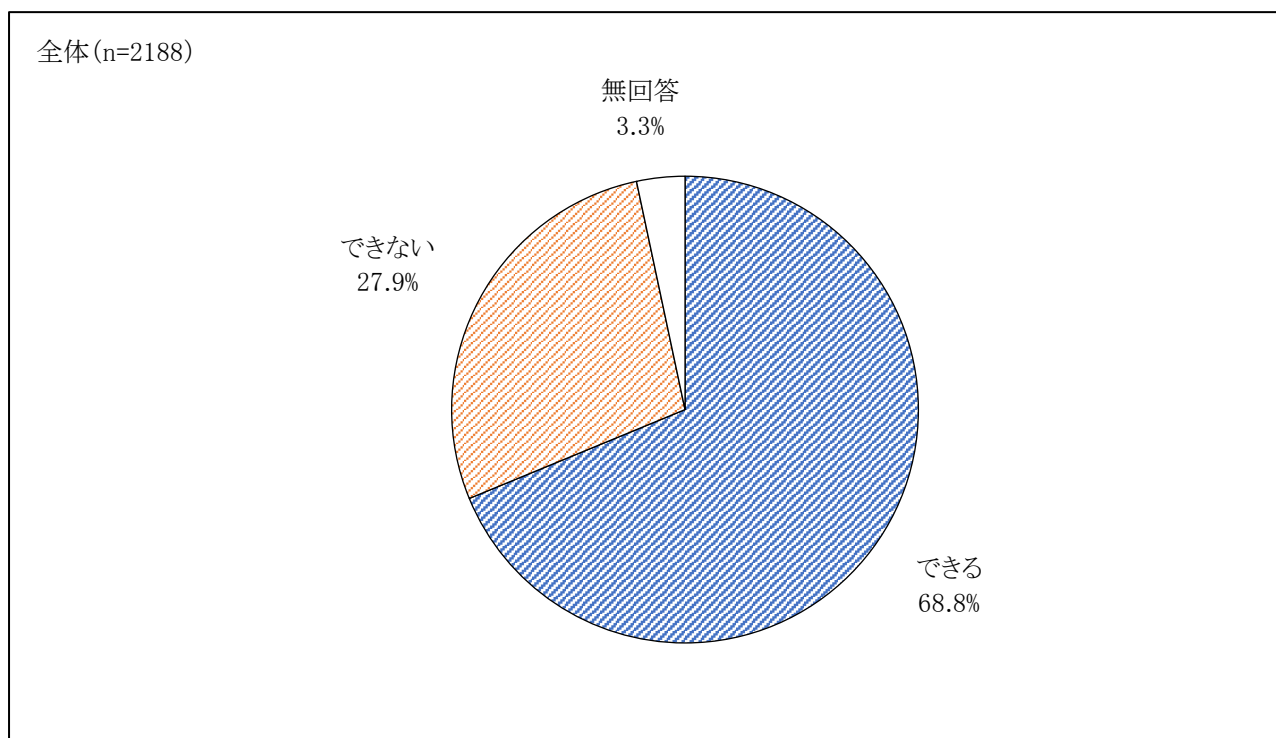
「インターネットの記事、SNS」は、年齢が高いほど、割合が低くなる傾向がみられる。

図 4-2 共生条例を知ったきっかけ（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	市報にいがた・区役所だより	テレビ・ラジオ・新聞紙	パンフレット、チラシ	新潟市ホームページ	インターネットの記事、SNS	会社や組織の研修会	その他	無回答
全体 (n=815)	62.2	38.7	11.8	8.8	8.5	8.1	2.8	1.8
【区別】								
北区 (n=64)	51.6	43.8	14.1	10.9	7.8	7.8	1.6	3.1
東区 (n=146)	61.6	39.0	13.7	9.6	6.8	6.2	4.8	1.4
中央区 (n=176)	62.5	39.8	10.8	6.3	8.5	9.7	3.4	0.6
江南区 (n=80)	57.5	38.8	5.0	12.5	10.0	7.5	3.8	5.0
秋葉区 (n=77)	66.2	36.4	6.5	10.4	3.9	3.9	2.6	2.6
南区 (n=38)	63.2	39.5	15.8	5.3	18.4	5.3	0.0	2.6
西区 (n=158)	65.2	37.3	13.3	9.5	8.2	12.7	1.9	1.3
西蒲区 (n=61)	60.7	37.7	18.0	8.2	13.1	6.6	0.0	0.0
【性別】								
男 (n=300)	60.0	40.3	14.3	11.7	8.7	10.7	2.3	0.3
女 (n=499)	62.7	38.1	10.4	7.4	8.6	6.8	3.0	2.6
【年齢別】								
15～17歳 (n=10)	30.0	40.0	10.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0
18～29歳 (n=35)	37.1	25.7	20.0	17.1	28.6	5.7	5.7	0.0
30～39歳 (n=58)	51.7	25.9	10.3	6.9	22.4	13.8	5.2	0.0
40～49歳 (n=78)	39.7	34.6	19.2	5.1	20.5	12.8	2.6	1.3
50～59歳 (n=126)	57.9	26.2	7.1	13.5	11.1	15.9	3.2	0.8
60～64歳 (n=81)	67.9	28.4	12.3	12.3	11.1	9.9	2.5	0.0
65～69歳 (n=79)	62.0	38.0	8.9	10.1	3.8	7.6	2.5	3.8
70～74歳 (n=115)	73.9	41.7	7.8	4.3	0.0	4.3	3.5	1.7
75歳以上 (n=219)	71.2	56.2	14.2	8.2	1.4	2.7	0.5	3.2

(3) 「障がい」を理由とした差別」の具体的なイメージ

問18 どういう状況が「障がい」を理由とした差別」に当たるのか具体的にイメージできますか。
(○は1つだけ)



— 約7割が「障がい」を理由とした差別」を具体的にイメージ「できる」 —

【全体結果】

「障がい」を理由とした差別」の具体的なイメージは、「できる」が68.8%で、約7割となった。「できない」が27.9%となった。

【属性別結果】(次ページ図4-3参照)

① 地区別

「できる」と答えた割合は、中央区(73.5%)で最も高く、西蒲区(62.9%)で最も低い。

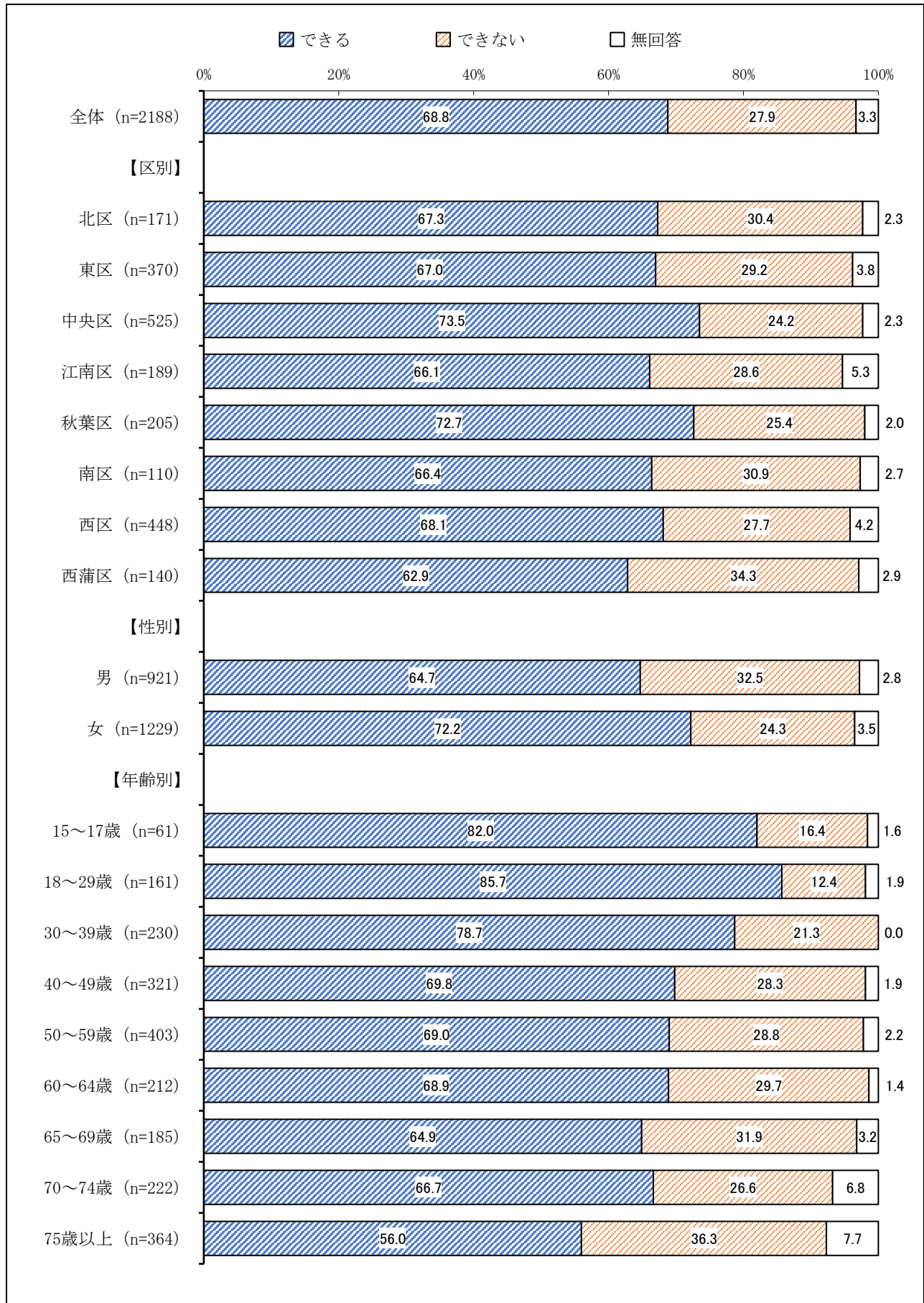
② 性別

「できる」と答えた割合は、男性(64.7%)より女性(72.2%)で高い。

③ 年齢別

「できる」と答えた割合は、18~29歳(85.7%)で最も高く、75歳以上(56.0%)で最も低い。年齢が低いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

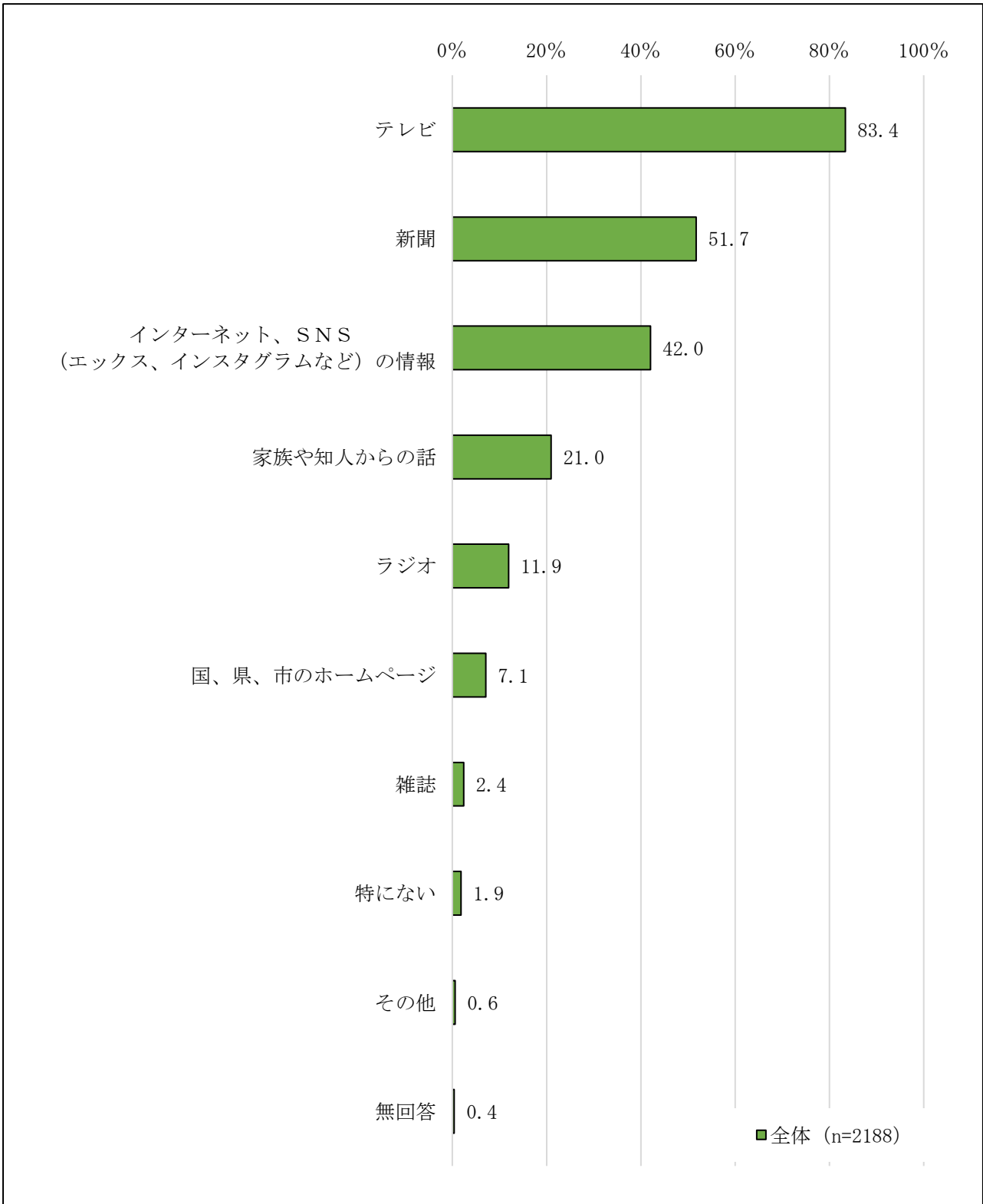
図 4-3 「障がいを利用とした差別」の具体的なイメージ（地区別/性別/年齢別）



5. 選挙への意識について

(1) 政治や選挙に関する情報源

問19 あなたは、ふだん政治や選挙に関する情報を何から得ていますか。(〇は3つまで)



— 「テレビ」が8割強でトップ —

【全体結果】

政治や選挙に関する情報源は、「テレビ」(83.4%)が最も割合が高く、8割強となった。次いで「新聞」(51.7%)、「インターネット、SNS(エックス、インスタグラムなど)の情報」(42.0%)、「家族や知人からの話」(21.0%)、「ラジオ」(11.9%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図5-1参照)

① 地区別

「テレビ」と答えた割合は、西蒲区(90.7%)で最も高く、唯一9割を超えた。

② 性別

「テレビ」と答えた割合は、性別での大きな差はみられなかった。

「新聞」(男性55.4%、女性48.3%)、「インターネット、SNS(エックス、インスタグラムなど)の情報」(男性48.5%、女性37.7%)、「ラジオ」(男性14.2%、女性10.0%)と答えた割合は、女性より男性で高く、「家族や知人からの話」(男性14.5%、女性26.3%)と答えた割合は、男性より女性で高く、差がみられた。

③ 年齢別

「テレビ」と答えた割合は、65~69歳(91.9%)で最も高く、15~17歳(70.5%)で最も低い。年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

「新聞」も同様に、年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

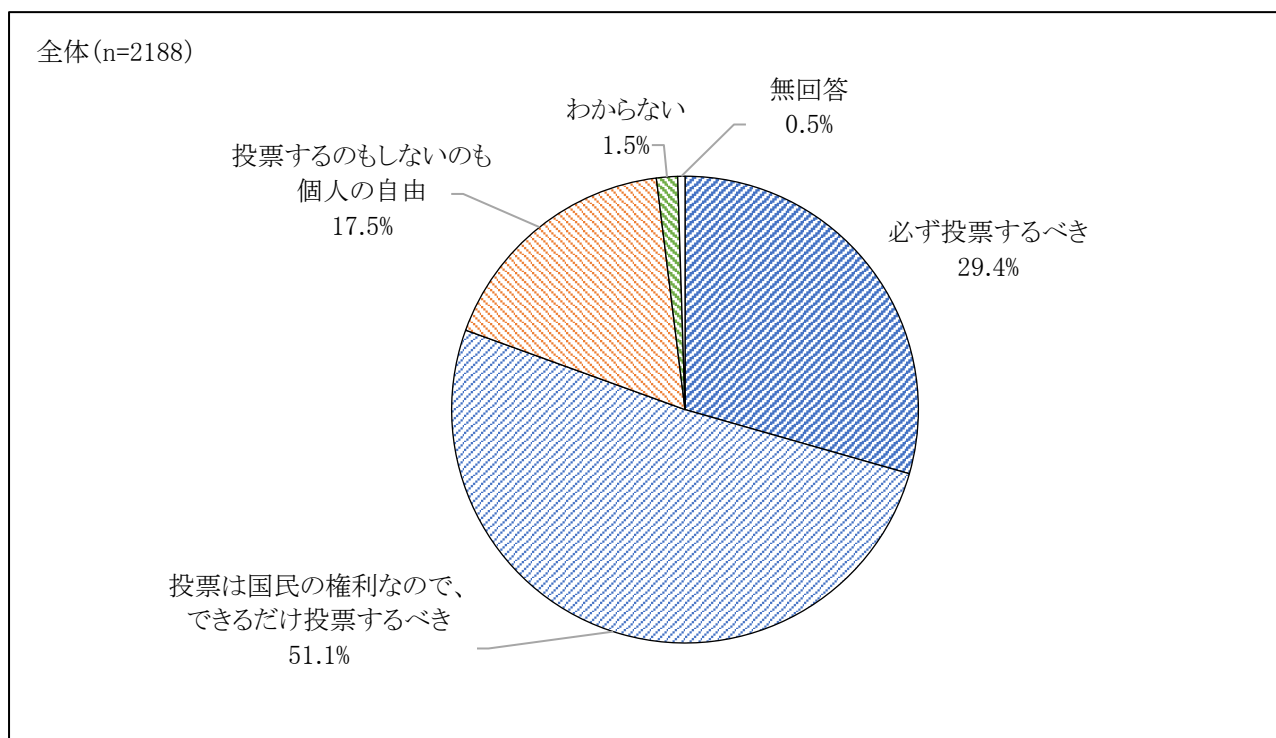
逆に、「インターネット、SNS(エックス、インスタグラムなど)の情報」は、年齢が低いほど、割合が高くなる傾向がみられる。

図 5-1 政治や選挙に関する情報源（地区別/性別/年齢別）

	テレビ	新聞	インターネット、SNS（エックス、インスタグラムなど）の情報	家族や知人からの話	ラジオ	国、県、市のホームページ	雑誌	その他	特にない	無回答
割合（％）										
全体（n=2188）	83.4	51.7	42.0	21.0	11.9	7.1	2.4	0.6	1.9	0.4
【区別】										
北区（n=171）	86.0	43.9	35.7	22.2	15.2	5.3	1.8	0.0	2.9	0.6
東区（n=370）	85.1	47.8	43.0	18.1	12.7	6.5	3.0	1.4	0.5	0.3
中央区（n=525）	79.6	49.9	48.6	19.6	10.1	7.2	2.5	0.6	1.9	0.2
江南区（n=189）	85.2	58.2	38.1	21.7	13.2	5.8	2.1	0.0	0.5	0.0
秋葉区（n=205）	79.0	53.2	38.0	24.4	13.2	8.3	3.4	0.0	3.4	0.5
南区（n=110）	85.5	55.5	36.4	22.7	13.6	3.6	2.7	0.9	3.6	0.0
西区（n=448）	84.2	54.5	45.3	21.7	10.0	8.3	1.6	0.7	1.3	0.7
西蒲区（n=140）	90.7	50.0	32.9	25.7	10.7	6.4	2.9	0.7	2.9	0.7
【性別】										
男（n=921）	82.7	55.4	48.5	14.5	14.2	6.9	3.1	1.1	1.3	0.5
女（n=1229）	84.1	48.3	37.7	26.3	10.0	6.8	1.8	0.2	2.2	0.2
【年齢別】										
15～17歳（n=61）	70.5	9.8	67.2	29.5	1.6	1.6	0.0	1.6	6.6	0.0
18～29歳（n=161）	71.4	10.6	67.1	30.4	4.3	1.9	0.6	0.0	4.3	0.0
30～39歳（n=230）	71.7	16.5	74.3	27.0	10.4	6.5	0.4	0.4	3.5	0.0
40～49歳（n=321）	77.3	31.8	58.6	20.9	9.0	6.5	1.6	0.6	2.5	0.3
50～59歳（n=403）	83.9	53.6	48.4	15.9	11.7	7.7	2.0	1.2	1.2	0.0
60～64歳（n=212）	90.6	58.5	38.2	13.2	15.1	6.1	1.9	0.5	0.5	0.0
65～69歳（n=185）	91.9	70.3	24.3	19.5	14.1	5.9	2.2	0.0	0.0	0.5
70～74歳（n=222）	89.2	77.9	22.5	17.6	15.3	5.9	5.0	0.5	0.5	1.8
75歳以上（n=364）	91.2	83.2	9.6	25.8	15.1	11.3	5.2	0.5	1.4	0.5

(2) 選挙の投票に対する考え方

問20 あなたは、選挙の投票についてこの中のどれに近い考えを持っていますか。
(○は1つだけ)



— 約3割が「必ず投票するべき」と考えている —

【全体結果】

選挙の投票に対する考え方は、「必ず投票するべき」が29.4%で、約3割となった。「投票は国民の権利なので、できるだけ投票するべき」が51.1%、「投票するのもしないのも個人の自由」が17.5%、「わからない」が1.5%となった。

【属性別結果】(次ページ図5-2参照)

① 地区別

「必ず投票するべき」と答えた割合は、東区(31.9%)で最も高く、南区(22.7%)で最も低い。

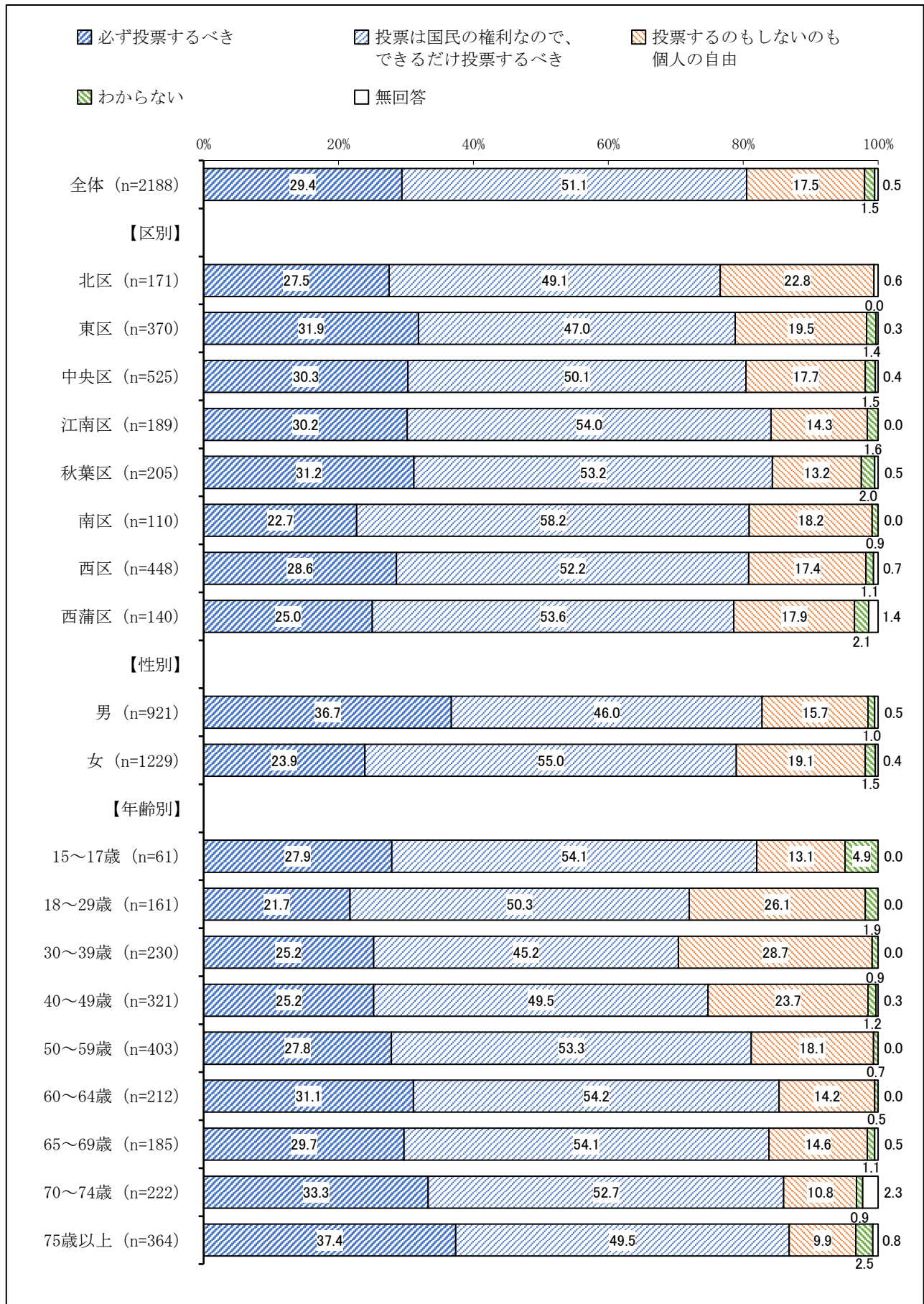
② 性別

「必ず投票するべき」と答えた割合は、女性(23.9%)より男性(36.7%)で高い。

③ 年齢別

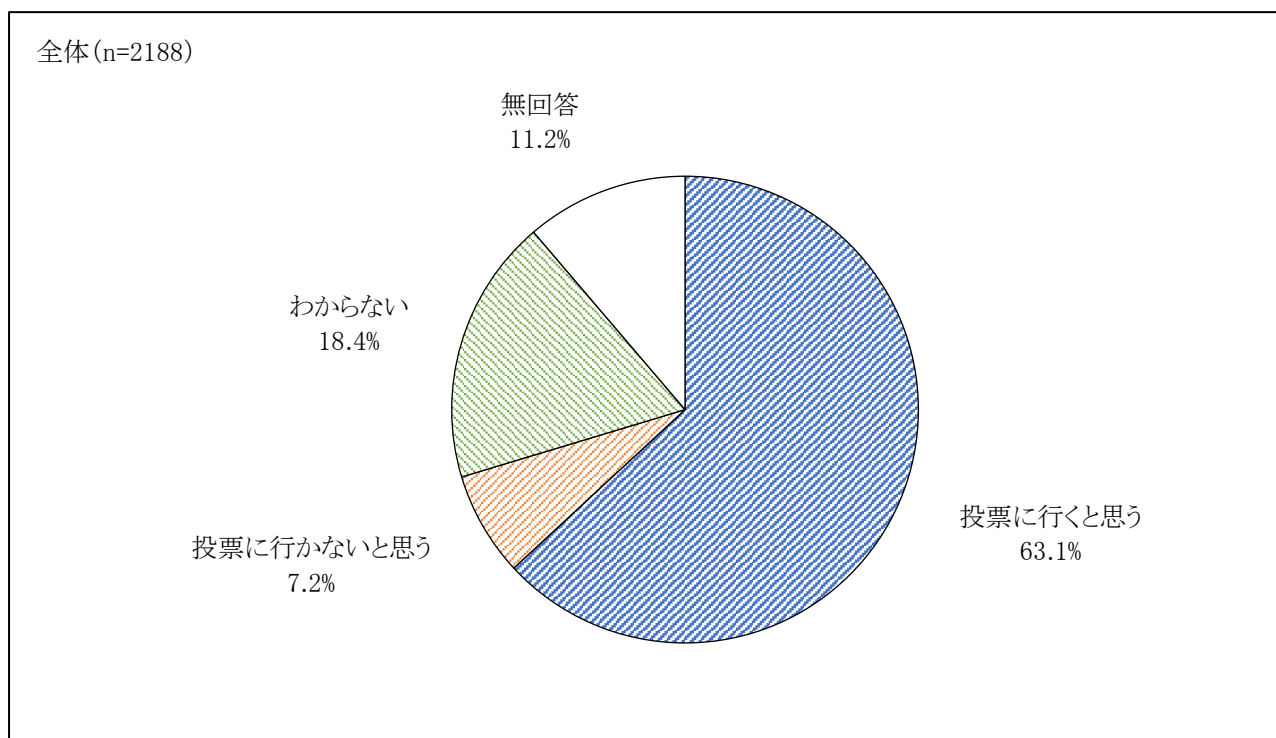
「必ず投票するべき」と答えた割合は、75歳以上(37.4%)で最も多く、18~29歳(21.7%)で最も低い。18歳以上は、年齢が低いほど、割合が低くなる傾向がみられるが、15~17歳は「必ず投票するべき」(27.9%)と「投票は国民の権利なので、できるだけ投票するべき」(54.1%)を合わせると、8割を超えている。

図 5-2 選挙の投票に対する考え方（地区別/性別/年齢別）



(3) 投票に行こうと思うか

問21 次の選挙には(15~17歳の方は18歳になったら)、投票に行こうと思いますか。
(○は1つだけ)



— 「投票に行くと思う」が6割強 —

【全体結果】

投票に行こうと思うかは、「投票に行くと思う」が63.1%で、6割強となった。「投票に行かないと思う」が7.2%、「わからない」が18.4%となった。

【属性別結果】(次ページ図5-3参照)

① 地区別

「投票に行くと思う」と答えた割合は、中央区(67.2%)で最も高く、西蒲区(50.7%)で最も低い。「投票に行かないと思う」と答えた割合は、北区(10.5%)で高く、1割を超えた。

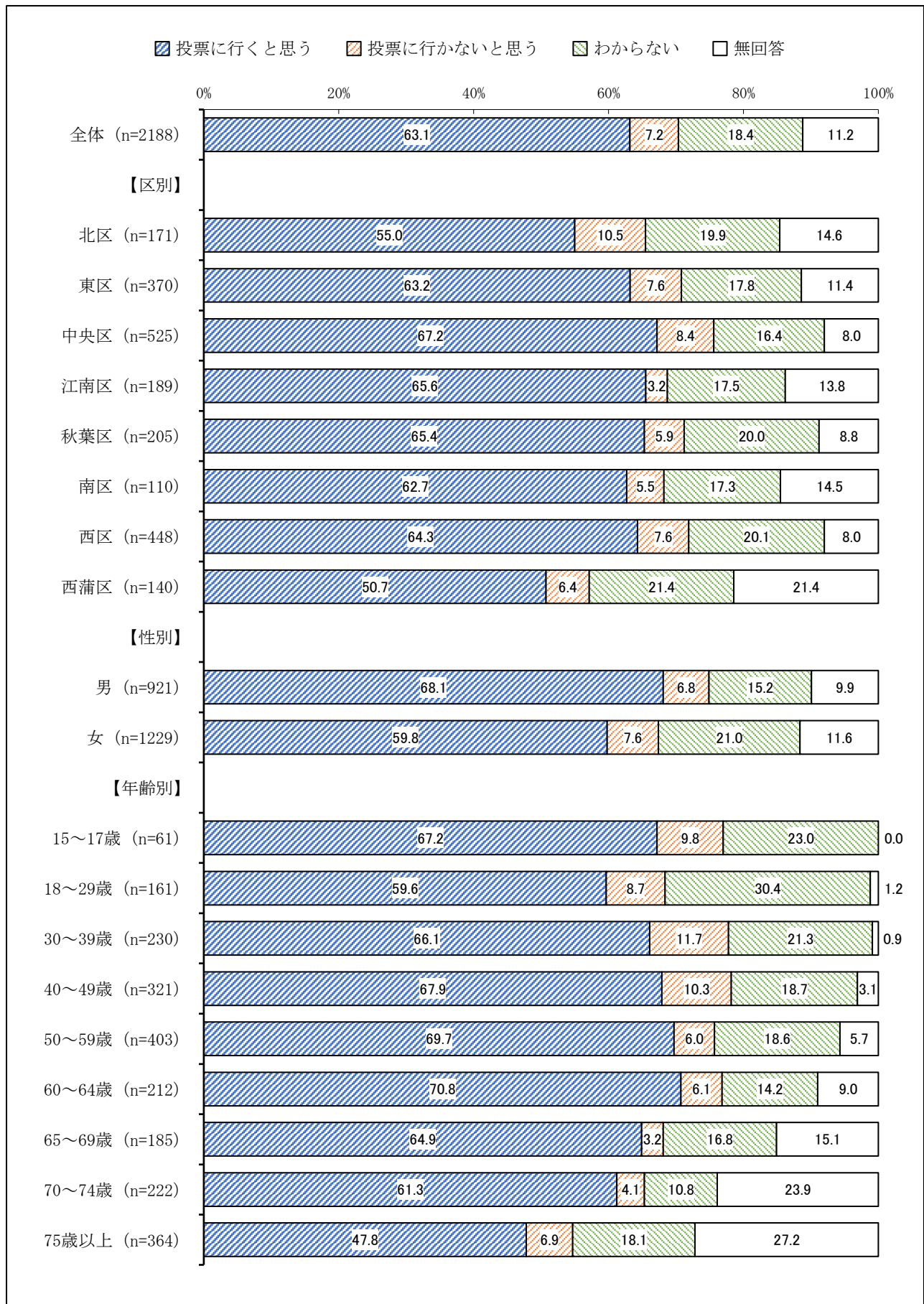
② 性別

「投票に行くと思う」と答えた割合は、女性(59.8%)より男性(68.1%)で高い。

③ 年齢別

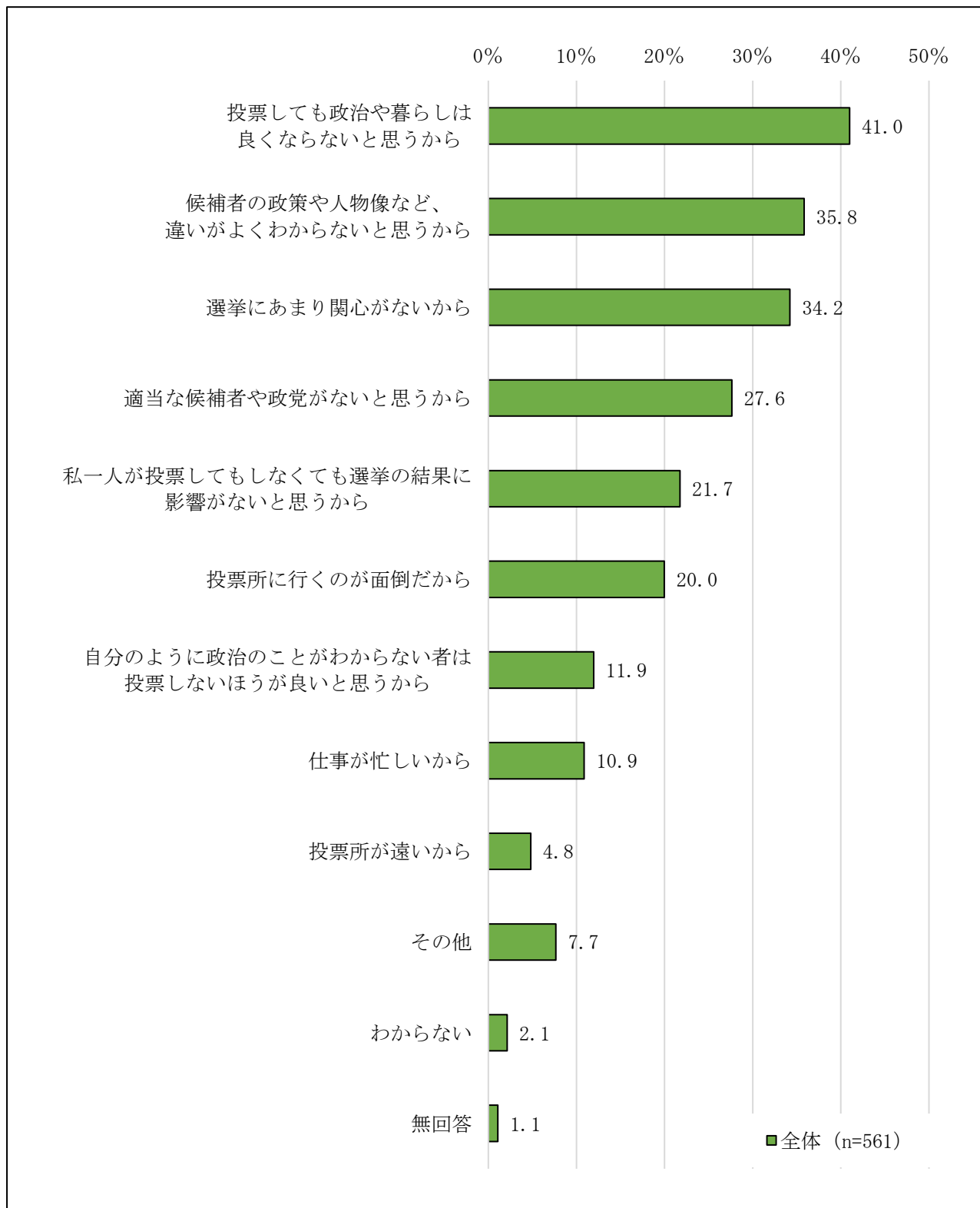
「投票に行くと思う」と答えた割合は、60~64歳(70.8%)で最も高く、75歳以上(47.8%)で最も低い。実際に投票権がある18歳以上をみると、「投票に行くと思う」は18~64歳までは年齢が高いほど、割合が高くなり、60~64歳でピークとなり、65歳以降は割合が低くなる。

図 5-3 投票に行こうと思うか（地区別/性別/年齢別）



(4) 投票に行かない、わからないと思う理由

問22 問21で2「投票に行かないと思う」、3「わからない」とお答えになった方にお聞きします。
投票に行かない、わからないと思うのはなぜですか。(〇はいくつでも)



— 「投票しても政治や暮らしは良くなると思うから」が約4割でトップ —

【全体結果】

投票に行かない、わからないと思う理由は、「投票しても政治や暮らしは良くなると思うから」(41.0%)の割合が最も割合が高く、約4割となった。次いで「候補者の政策や人物像など、違いがよくわからないと思うから」(35.8%)、「選挙にあまり関心がないから」(34.2%)、「適当な候補者や政党がないと思うから」(27.6%)、「私一人が投票してもしなくても選挙の結果に影響がないと思うから」(21.7%)、「投票所に行くのが面倒だから」(20.0%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図5-4参照)

① 地区別

回答者数が少ないため、図のみ表示する。

② 性別

「候補者の政策や人物像など、違いがよくわからないと思うから」と答えた割合は、男性(33.0%)より女性(37.6%)で高く、「適当な候補者や政党がないと思うから」(男性34.0%、女性23.9%)、「私一人が投票してもしなくても選挙の結果に影響がないと思うから」(男性26.1%、女性19.4%)と答えた割合は、女性より男性で高い。

③ 年齢別

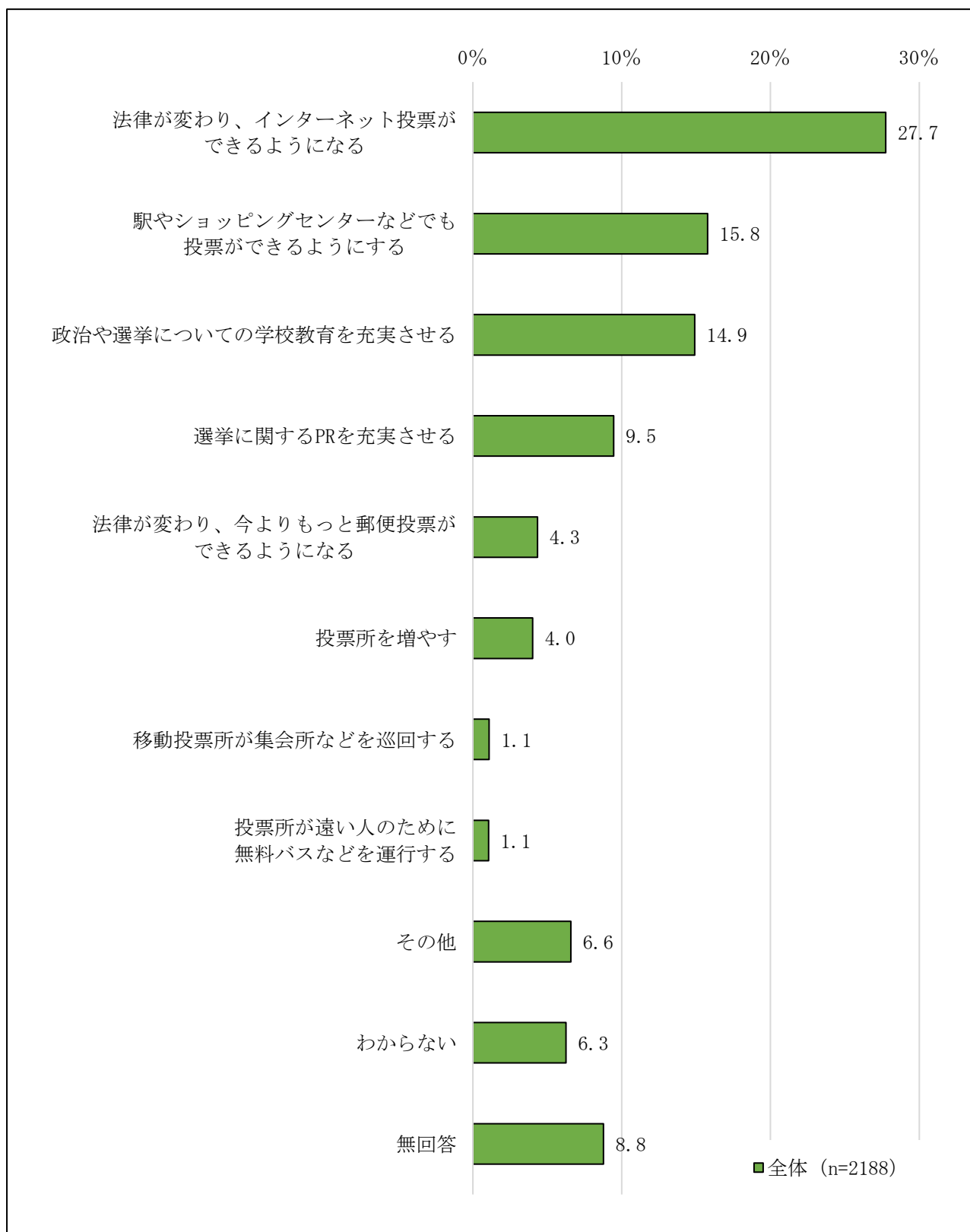
回答者数が少ないため、図のみ表示する。

図 5-4 投票に行かない、わからないと思う理由（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	良 く な ら な い と 思 う か ら	違 い が よ く わ か ら な い と 思 う か ら	選 挙 に あ ま り 関 心 が な い か ら	適 当 な 候 補 者 や 政 党 が な い と 思 う か ら	私 一 人 が 投 票 し て も し な く て も 選 挙 の 結 果 に 影 響 が な い と 思 う か ら	投 票 所 に 行 く の が 面 倒 だ か ら	自 分 の よ う に 政 治 の こ と が わ か ら な い ほ う が 良 い と 思 う か ら	仕 事 が 忙 し い か ら	投 票 所 が 遠 い か ら	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体 (n=561)	41.0	35.8	34.2	27.6	21.7	20.0	11.9	10.9	4.8	7.7	2.1	1.1
【区別】												
北区 (n=52)	42.3	32.7	32.7	30.8	17.3	13.5	13.5	5.8	5.8	5.8	3.8	0.0
東区 (n=94)	42.6	40.4	33.0	27.7	22.3	23.4	16.0	16.0	3.2	4.3	3.2	2.1
中央区 (n=130)	40.0	27.7	30.0	31.5	20.0	23.1	13.1	13.8	6.9	10.8	0.0	0.8
江南区 (n=39)	43.6	41.0	43.6	28.2	25.6	23.1	15.4	10.3	5.1	7.7	2.6	0.0
秋葉区 (n=53)	41.5	32.1	32.1	32.1	34.0	17.0	7.5	18.9	5.7	3.8	5.7	3.8
南区 (n=25)	44.0	56.0	40.0	16.0	20.0	12.0	4.0	0.0	4.0	8.0	0.0	0.0
西区 (n=124)	41.1	33.1	35.5	25.8	21.8	19.4	8.1	7.3	4.0	9.7	1.6	0.8
西蒲区 (n=39)	38.5	51.3	38.5	17.9	12.8	15.4	17.9	2.6	2.6	7.7	0.0	0.0
【性別】												
男 (n=203)	39.9	33.0	32.5	34.0	26.1	19.2	10.8	9.9	3.9	6.9	2.0	1.5
女 (n=351)	42.5	37.6	35.3	23.9	19.4	19.9	12.8	11.1	5.4	8.3	2.0	0.9
【年齢別】												
15～17歳 (n=20)	25.0	45.0	40.0	20.0	20.0	20.0	35.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
18～29歳 (n=63)	27.0	30.2	36.5	11.1	11.1	17.5	22.2	20.6	3.2	4.8	3.2	0.0
30～39歳 (n=76)	47.4	40.8	39.5	27.6	27.6	30.3	18.4	26.3	3.9	13.2	0.0	0.0
40～49歳 (n=93)	48.4	26.9	32.3	29.0	19.4	19.4	9.7	10.8	5.4	6.5	1.1	0.0
50～59歳 (n=99)	41.4	42.4	31.3	36.4	18.2	25.3	14.1	8.1	5.1	4.0	1.0	0.0
60～64歳 (n=43)	37.2	30.2	27.9	30.2	11.6	16.3	2.3	9.3	0.0	9.3	4.7	2.3
65～69歳 (n=37)	51.4	37.8	24.3	35.1	40.5	13.5	10.8	5.4	2.7	8.1	0.0	0.0
70～74歳 (n=33)	51.5	48.5	42.4	33.3	27.3	12.1	0.0	6.1	0.0	9.1	0.0	0.0
75歳以上 (n=91)	37.4	33.0	36.3	24.2	26.4	13.2	4.4	0.0	11.0	11.0	4.4	5.5

(5) 投票率向上に有効な対策

問23 最近の選挙では全国的に投票率が低下してきています。多くの方から投票してもらうには、どのような対策が有効だと思いますか。(〇は1つだけ)



— 「法律が変わり、インターネット投票ができるようになる」が3割弱でトップ —

【全体結果】

投票率向上に有効な対策は、「法律が変わり、インターネット投票ができるようになる」(27.7%)の割合が最も割合が高く、3割弱となった。次いで「駅やショッピングセンターなどでも投票ができるようにする」(15.8%)、「政治や選挙についての学校教育を充実させる」(14.9%)の順で続く。他は1割を下回っている。

【属性別結果】(次ページ図 5-5 参照)

① 地区別

「法律が変わり、インターネット投票ができるようになる」と答えた割合は、中央区(33.7%)で最も高く、西区(24.1%)で最も低い。

② 性別

「法律が変わり、インターネット投票ができるようになる」と答えた割合は、女性(25.1%)より男性(31.9%)で高く、「駅やショッピングセンターなどでも投票ができるようにする」と答えた割合は、男性(12.7%)より女性(17.8%)で高い。

③ 年齢別

「法律が変わり、インターネット投票ができるようになる」と答えた割合は、59歳以下で3割以上となっているが、60～69歳では2割台、70～74歳は1割台、75歳以上は1割を下回った。

75歳以上で最も割合が高かったのは、「選挙に関するPRを充実させる」(18.4%)で、「選挙に関するPRを充実させる」と答えた割合で最も高い。

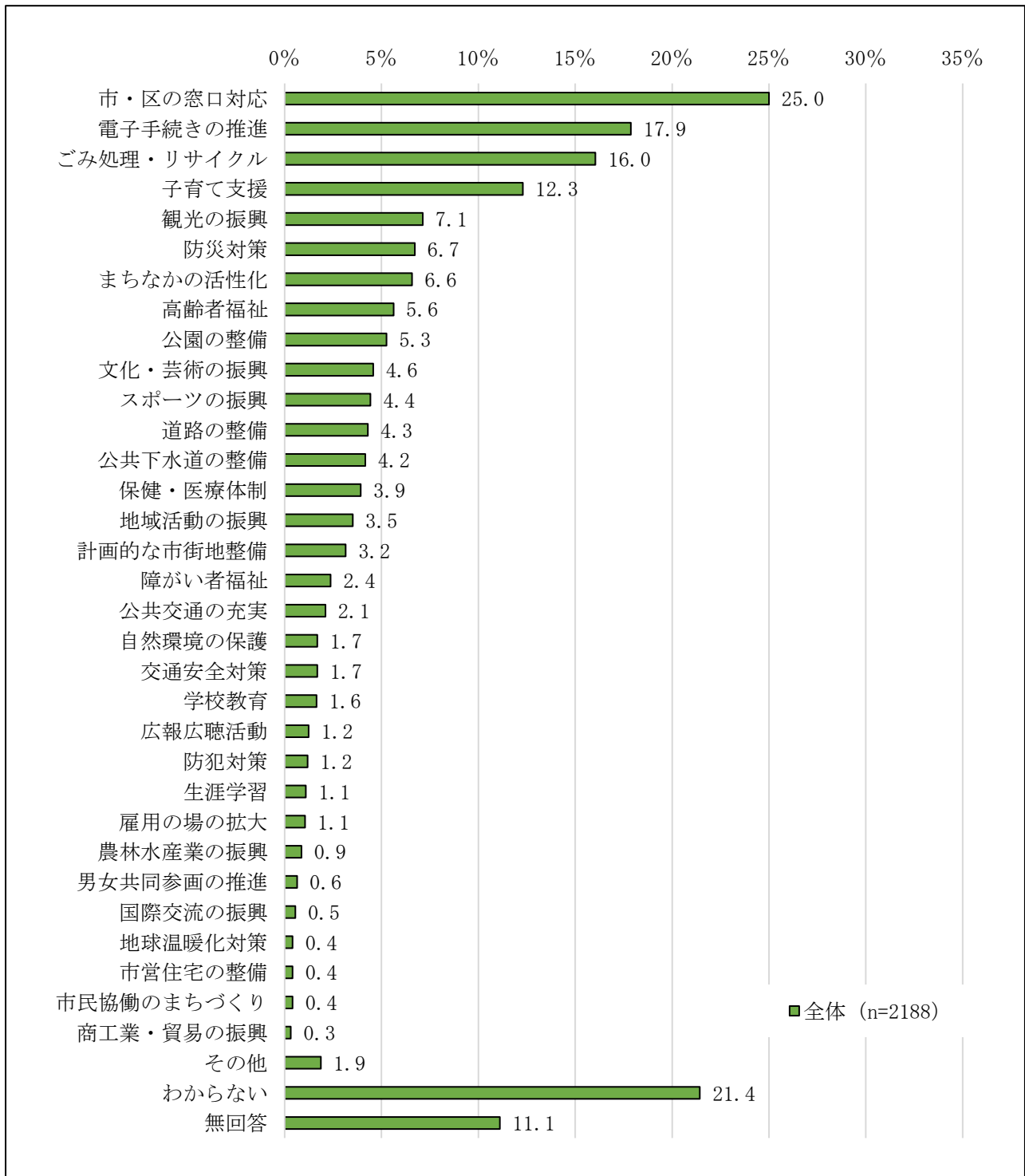
図 5-5 投票率向上に有効な対策（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	法律が変わり、インターネット投票ができるようになる	駅やショッピングセンターなどでも投票ができるようにする	政治や選挙についての学校教育を充実させる	選挙に関するPRを充実させる	郵便投票ができるようになる	法律が変わり、今よりもっと郵便投票ができるようになる	投票所を増やす	移動投票所が集会所などを巡回する	投票所が遠い人のために無料バスなどを運行する	その他	わからない	無回答
全体 (n=2188)	27.7	15.8	14.9	9.5	4.3	4.0	1.1	1.1	6.6	6.3	8.8	
【区別】												
北区 (n=171)	26.9	12.3	14.0	11.1	4.1	5.8	0.6	1.2	8.2	7.0	8.8	
東区 (n=370)	27.3	15.9	15.9	6.5	4.6	4.3	1.1	0.5	6.2	6.5	11.1	
中央区 (n=525)	33.7	14.5	17.5	9.0	2.7	2.7	1.0	0.6	5.7	5.0	7.8	
江南区 (n=189)	24.9	20.1	12.2	11.1	5.8	3.7	0.0	1.1	4.2	5.3	11.6	
秋葉区 (n=205)	31.2	14.1	11.7	7.3	5.9	8.3	1.0	1.5	8.8	4.9	5.4	
南区 (n=110)	25.5	14.5	19.1	9.1	4.5	2.7	1.8	0.9	9.1	6.4	6.4	
西区 (n=448)	24.1	17.4	15.4	10.9	4.5	3.6	1.8	1.6	7.4	6.5	6.9	
西蒲区 (n=140)	24.3	15.0	7.9	13.6	5.0	2.1	1.4	1.4	5.0	10.7	13.6	
【性別】												
男 (n=921)	31.9	12.7	15.2	9.9	4.9	3.5	0.8	0.8	8.1	5.4	6.8	
女 (n=1229)	25.1	17.8	14.8	9.2	3.9	4.4	1.3	1.2	5.3	6.8	10.1	
【年齢別】												
15～17歳 (n=61)	37.7	16.4	9.8	13.1	0.0	8.2	1.6	1.6	1.6	4.9	4.9	
18～29歳 (n=161)	36.0	15.5	11.8	8.7	2.5	1.9	1.9	0.6	5.6	5.6	9.9	
30～39歳 (n=230)	45.7	11.7	16.5	5.2	1.3	1.7	0.0	0.4	7.8	2.2	7.4	
40～49歳 (n=321)	41.4	13.4	12.8	4.7	3.4	3.7	0.3	0.6	10.6	4.4	4.7	
50～59歳 (n=403)	34.5	18.6	13.6	6.7	2.7	2.2	1.5	0.7	6.5	6.0	6.9	
60～64歳 (n=212)	26.4	20.3	16.5	6.6	5.2	4.7	0.9	0.5	6.1	6.6	6.1	
65～69歳 (n=185)	20.0	14.6	18.9	9.7	4.3	6.5	0.0	2.2	3.8	8.1	11.9	
70～74歳 (n=222)	13.5	16.2	16.2	13.1	9.5	4.5	1.8	0.9	7.2	7.2	9.9	
75歳以上 (n=364)	6.6	14.3	15.9	18.4	6.9	5.8	1.9	1.9	5.2	9.3	13.7	

6. 市政全般と区政について

(1) 新潟市として良くなっているもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ①「新潟市として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを
 選んで、次のページの回答欄に番号（1～34）をご記入ください。



— 「市・区の窓口対応」が2割半ばでトップ —

【全体結果】

新潟市として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(25.0%)の割合が最も高く、2割半ばとなった。次いで、「わからない」(21.4%)、「電子手続きの推進」(17.9%)、「ごみ処理・リサイクル」(16.0%)、「子育て支援」(12.3%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図 6-1 参照)

① 地区別

「市・区の窓口対応」と答えた割合は、北区(28.7%)で最も高く、西蒲区(16.4%)で最も低い。

② 性別

「市・区の窓口対応」と答えた割合は、女性(22.2%)より男性(28.8%)で高く、「子育て支援」と答えた割合は、男性(10.1%)より女性(14.2%)で高い。

③ 年齢別

「市・区の窓口対応」と答えた割合は、75歳以上(37.1%)で最も高く、15～17歳(4.9%)で最も低い。年齢が高くなるほど、割合が高くなる傾向がみられた。

「電子手続きの推進」は、18～64歳で高く、2割以上となった。

「ごみ処理・リサイクル」は、年齢が高いほど、割合が高くなる傾向がみられ、65歳以上では、2割半ばとなっている。

「子育て支援」は、30～49歳の子育て世代で約2割と、高くなっている。

図 6-1 ①「新潟市として良くなっているもの」(地区別/性別/年齢別) 1/2

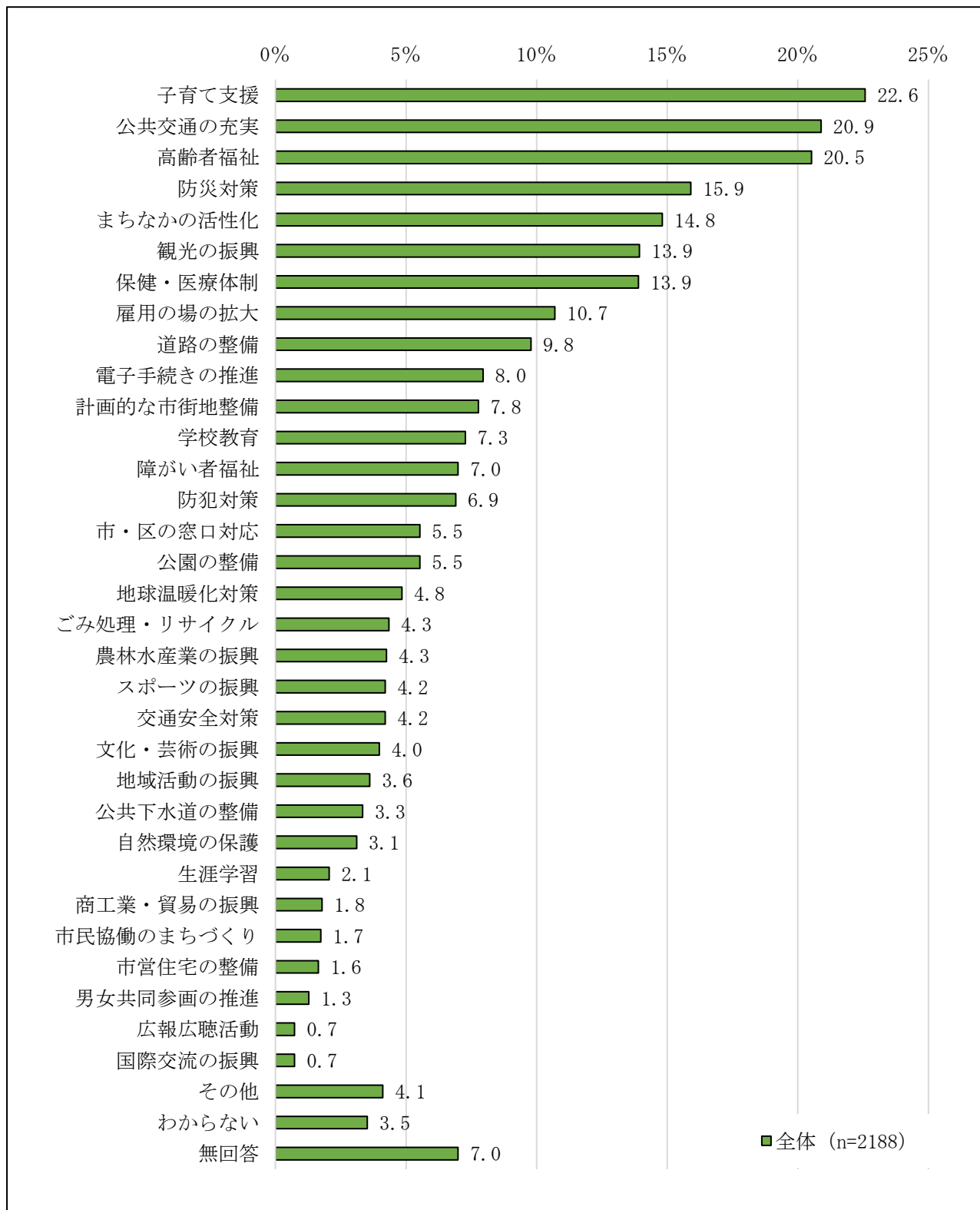
割合 (%)	市・区 の窓口対応	電子 手続きの 推進	ごみ 処理・リ サイクル	子育 て支援	観光 の振興	防災 対策	ま ちなかの 活性化	高 齢者福 祉	公 園の整 備	文 化・芸 術の振 興	ス ポーツ の振興	道 路の整 備	公 共下 水道の 整備	保 健・医 療体制	地 域活 動の振 興	計 画的な 市街地 整備	障 がい者 福祉	公 共交通 の充実
全体 (n=2188)	25.0	17.9	16.0	12.3	7.1	6.7	6.6	5.6	5.3	4.6	4.4	4.3	4.2	3.9	3.5	3.2	2.4	2.1
【区別】																		
北区 (n=171)	28.7	17.5	10.5	10.5	1.8	7.0	4.1	5.3	4.7	5.3	4.1	4.1	5.8	4.7	2.9	3.5	2.3	2.3
東区 (n=370)	27.0	14.3	16.5	11.1	6.2	6.5	7.0	5.9	6.8	2.4	3.8	3.5	4.3	4.1	4.3	2.4	1.9	2.2
中央区 (n=525)	25.3	21.0	18.1	12.8	9.5	6.3	7.6	4.2	2.5	5.5	5.5	4.2	5.3	3.8	2.9	3.6	1.5	1.3
江南区 (n=189)	23.3	20.1	12.7	14.8	4.2	3.7	4.2	5.3	9.0	4.2	6.3	3.2	2.1	4.8	3.2	4.8	3.2	2.1
秋葉区 (n=205)	22.4	16.6	12.2	12.7	7.3	6.3	5.9	8.3	5.9	7.3	2.9	7.8	3.4	2.9	2.0	4.4	4.4	1.5
南区 (n=110)	22.7	16.4	13.6	11.8	16.4	10.0	8.2	3.6	7.3	5.5	4.5	2.7	2.7	2.7	5.5	2.7	1.8	0.9
西区 (n=448)	26.3	19.0	19.6	13.4	5.4	7.1	7.1	5.1	5.6	3.8	4.0	4.7	4.5	3.8	4.5	2.0	2.2	2.9
西蒲区 (n=140)	16.4	15.0	13.6	10.7	10.0	7.9	5.7	10.7	3.6	3.6	3.6	2.9	2.1	5.0	3.6	2.9	3.6	4.3
【性別】																		
男 (n=921)	28.8	19.0	17.0	10.1	7.2	7.2	5.8	5.8	5.4	4.1	5.9	4.9	5.1	4.6	3.8	3.8	2.6	2.1
女 (n=1229)	22.2	17.4	15.3	14.2	7.2	6.3	7.2	5.6	5.2	5.0	3.4	3.8	3.6	3.5	3.4	2.7	2.2	2.2
【年齢別】																		
15～17歳 (n=61)	4.9	9.8	8.2	11.5	6.6	3.3	8.2	3.3	6.6	6.6	6.6	4.9	3.3	3.3	4.9	4.9	1.6	4.9
18～29歳 (n=161)	9.3	24.2	7.5	9.9	11.8	5.6	16.1	0.6	1.2	5.0	6.8	3.7	1.2	2.5	3.7	5.6	0.6	6.8
30～39歳 (n=230)	15.7	27.0	5.7	21.3	12.2	5.7	12.2	2.2	7.0	4.8	4.3	7.8	0.9	1.3	4.8	3.0	0.9	4.8
40～49歳 (n=321)	15.3	26.8	9.0	19.6	5.6	7.8	7.8	3.1	7.8	4.4	4.4	4.0	2.2	1.6	2.8	3.4	0.9	2.2
50～59歳 (n=403)	24.3	21.8	13.9	12.4	7.9	6.9	5.2	3.7	4.5	5.0	6.2	4.2	3.2	3.0	2.0	3.5	2.0	0.5
60～64歳 (n=212)	27.8	23.1	18.9	8.5	8.5	6.1	4.7	4.2	3.8	6.1	4.2	4.2	4.7	4.7	3.3	1.4	1.9	0.9
65～69歳 (n=185)	34.1	11.9	24.3	5.9	5.4	4.9	2.2	3.8	6.5	2.7	6.5	3.8	6.5	4.9	4.9	2.2	4.3	0.0
70～74歳 (n=222)	36.0	10.8	23.9	10.4	4.5	6.8	5.4	9.5	7.2	5.9	2.7	3.2	5.9	8.1	3.6	1.8	4.5	2.3
75歳以上 (n=364)	37.1	3.8	25.0	8.5	4.4	8.0	3.0	14.3	3.6	3.0	1.4	3.3	8.2	6.0	4.4	3.6	3.8	1.4

図 6-1 ①「新潟市として良くなっているもの」(地区別/性別/年齢別) 2/2

割合 (%)	自然環境の保護	交通安全対策	学校教育	広報広聴活動	防犯対策	生涯学習	雇用の場の拡大	農林水産業の振興	男女共同参画の推進	国際交流の振興	地球温暖化対策	市営住宅の整備	市民協働のまちづくり	商工業・貿易の振興	その他	わからない	無回答
全体 (n=2188)	1.7	1.7	1.6	1.2	1.2	1.1	1.1	0.9	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	1.9	21.4	11.1
【区別】																	
北区 (n=171)	1.2	4.1	0.0	1.2	1.8	0.6	1.2	1.2	0.6	0.6	0.0	1.2	0.0	0.0	3.5	22.2	12.3
東区 (n=370)	2.4	0.8	1.4	1.9	1.1	1.4	0.8	0.3	0.8	0.8	0.3	0.0	0.5	0.5	2.2	24.1	11.9
中央区 (n=525)	0.8	1.1	1.7	1.0	1.3	1.5	0.6	1.0	0.0	0.2	0.6	0.8	0.4	0.0	1.7	22.9	9.1
江南区 (n=189)	2.6	1.6	2.1	1.1	0.5	2.1	1.1	1.1	1.1	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	16.4	15.9
秋葉区 (n=205)	2.0	2.0	2.4	1.0	2.0	0.5	1.5	0.0	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	0.0	1.5	22.0	8.8
南区 (n=110)	0.9	0.0	0.9	2.7	0.0	0.9	0.9	0.9	0.9	1.8	0.0	0.9	0.0	0.0	3.6	22.7	10.0
西区 (n=448)	1.8	2.7	2.2	0.9	1.1	0.9	1.6	1.1	1.1	0.4	0.7	0.2	0.4	0.4	1.3	19.4	8.3
西蒲区 (n=140)	2.9	1.4	0.7	1.4	1.4	0.0	0.7	1.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	2.9	23.6	15.0
【性別】																	
男 (n=921)	1.8	1.2	1.7	1.7	1.2	1.1	1.0	1.2	0.4	0.8	0.1	0.5	0.4	0.7	2.4	20.5	8.5
女 (n=1229)	1.6	2.1	1.5	0.9	1.2	1.1	1.1	0.6	0.8	0.3	0.7	0.3	0.4	0.0	1.4	22.3	12.3
【年齢別】																	
15～17歳 (n=61)	4.9	9.8	9.8	0.0	1.6	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	6.6	29.5	0.0
18～29歳 (n=161)	1.9	1.2	1.2	0.6	1.2	0.6	1.2	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	26.7	3.7
30～39歳 (n=230)	0.9	0.9	2.2	0.9	1.3	1.3	0.9	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.9	0.9	1.3	20.4	4.8
40～49歳 (n=321)	0.3	0.9	3.4	0.6	1.2	0.6	0.9	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	0.0	2.5	26.2	5.9
50～59歳 (n=403)	2.2	1.5	1.2	1.2	0.5	0.2	0.7	0.7	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	0.5	2.2	27.8	4.5
60～64歳 (n=212)	2.4	0.5	0.0	1.9	1.9	1.4	3.3	0.9	1.9	0.9	0.5	1.4	0.0	0.0	0.9	22.6	10.8
65～69歳 (n=185)	2.7	1.6	1.1	2.2	0.0	3.2	1.1	1.1	1.1	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	1.6	19.5	13.5
70～74歳 (n=222)	1.4	3.2	0.9	1.8	1.8	0.9	0.5	0.9	1.4	0.0	1.4	0.5	1.8	0.5	0.5	17.6	16.7
75歳以上 (n=364)	1.6	1.9	0.5	1.4	1.6	1.6	0.5	1.4	0.5	1.4	0.3	0.3	0.3	0.3	1.6	11.3	25.0

(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを
 選んで、次のページの回答欄に番号(1~34)をご記入ください。



— 「子育て支援」が2割強でトップ —

【全体結果】

新潟市として今後もっと力を入れてほしいものは、「子育て支援」(22.6%)の割合が最も高く、2割強となった。次いで、「公共交通の充実」(20.9%)、「高齢者福祉」(20.5%)、「防災対策」(15.9%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図 6-2 参照)

① 地区別

北区(28.1%)、江南区(27.0%)、秋葉区(25.4%)では、「子育て支援」が最も高い。

南区(30.0%)、西区(24.1%)、中央区(23.8%)では、「公共交通の充実」が最も高い。

西蒲区(23.6%)、東区(22.7%)では、「高齢者福祉」が最も高い。

中央区では、「まちなかの活性化」(22.1%)も高く、2割以上となった。

② 性別

「子育て支援」(男性20.8%、女性24.1%)、「保健・医療体制」(男性11.6%、女性15.6%)と答えた割合は、男性より女性で高い。

③ 年齢別

「子育て支援」と答えた割合は、49歳以下の若い世代で高く、特に30～39歳(53.9%)で高く、5割を超えている。「高齢者福祉」と答えた割合は、60歳以上で高く、約3割となっている。

図 6-2 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」（地区別/性別/年齢別）1/2

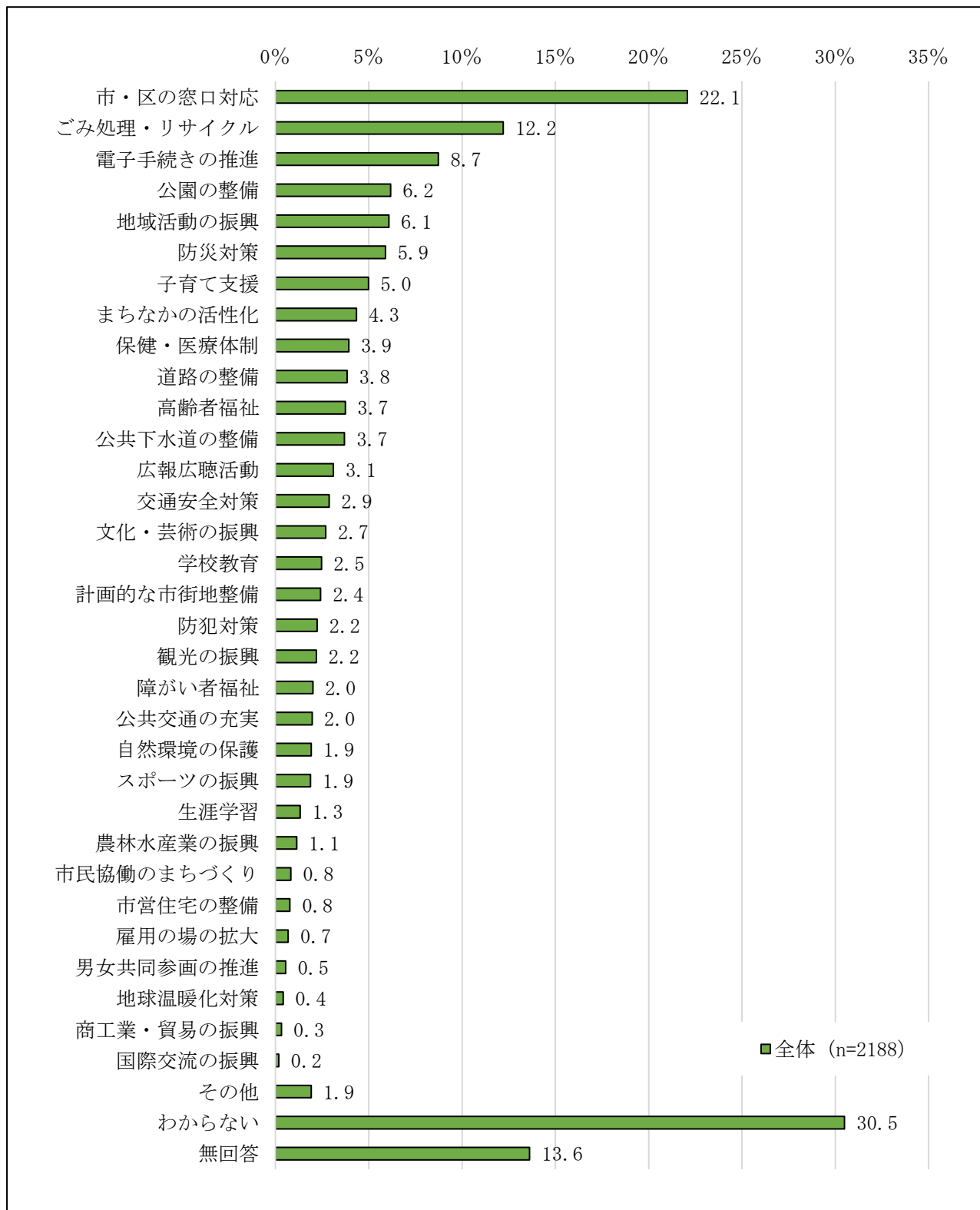
割合 (%)	子育て支援	公共交通の充実	高齢者福祉	防災対策	まちなかの活性化	観光の振興	保健・医療体制	雇用の場の拡大	道路の整備	電子手続きの推進	計画的な市街地整備	学校教育	障がい者福祉	防犯対策	市・区の窓口対応	公園の整備	地球温暖化対策	ごみ処理・リサイクル
全体 (n=2188)	22.6	20.9	20.5	15.9	14.8	13.9	13.9	10.7	9.8	8.0	7.8	7.3	7.0	6.9	5.5	5.5	4.8	4.3
【区別】																		
北区 (n=171)	28.1	15.2	20.5	15.2	8.8	12.3	12.3	12.9	7.0	7.6	7.6	9.4	5.8	7.0	5.3	5.8	3.5	4.7
東区 (n=370)	22.4	18.4	22.7	15.9	11.1	12.2	14.9	11.1	9.5	7.8	6.8	7.0	8.6	8.1	7.0	5.4	3.8	4.1
中央区 (n=525)	19.4	23.8	19.6	16.0	22.1	16.6	13.9	9.1	9.3	9.7	10.1	7.0	7.0	5.7	5.3	5.9	6.5	3.2
江南区 (n=189)	27.0	22.2	21.7	18.0	16.9	12.2	14.3	11.6	9.5	7.4	9.0	8.5	5.3	5.3	6.3	4.8	2.1	4.2
秋葉区 (n=205)	25.4	16.1	20.5	11.2	15.6	14.6	13.7	10.7	10.2	8.3	9.8	8.3	8.3	7.3	3.9	9.8	3.4	5.4
南区 (n=110)	24.5	30.0	25.5	14.5	9.1	13.6	15.5	10.9	8.2	7.3	5.5	10.9	6.4	7.3	6.4	2.7	1.8	3.6
西区 (n=448)	21.9	24.1	17.4	18.8	14.7	15.6	13.2	10.9	10.9	6.7	6.0	6.0	5.1	6.9	4.9	4.2	5.1	5.4
西蒲区 (n=140)	21.4	12.1	23.6	14.3	6.4	7.9	14.3	12.1	13.6	8.6	6.4	5.7	10.0	8.6	6.4	5.7	10.0	5.0
【性別】																		
男 (n=921)	20.8	20.2	20.3	15.7	14.4	13.8	11.6	11.1	10.0	10.6	8.8	6.1	6.3	7.7	5.3	5.0	4.2	4.8
女 (n=1229)	24.1	21.6	20.9	16.3	15.3	14.2	15.6	10.6	9.8	6.2	7.2	8.2	7.5	6.2	5.9	5.9	5.3	4.0
【年齢別】																		
15～17歳 (n=61)	29.5	23.0	3.3	8.2	21.3	18.0	8.2	4.9	6.6	8.2	9.8	16.4	4.9	4.9	4.9	8.2	4.9	3.3
18～29歳 (n=161)	39.1	19.9	5.0	10.6	11.2	18.6	15.5	10.6	7.5	14.9	7.5	11.2	6.8	5.0	4.3	3.1	3.7	5.6
30～39歳 (n=230)	53.9	12.6	7.0	18.3	15.2	17.0	11.3	11.7	7.4	12.6	10.0	11.3	6.1	7.0	7.4	14.3	2.2	5.2
40～49歳 (n=321)	31.8	18.1	14.3	17.1	16.5	17.1	13.1	12.5	6.2	11.2	8.7	11.8	6.2	8.7	7.5	7.8	4.0	4.7
50～59歳 (n=403)	15.4	22.6	20.8	16.9	11.4	18.4	14.1	12.7	12.7	8.4	9.4	5.7	8.9	9.4	8.2	3.7	4.7	5.7
60～64歳 (n=212)	14.6	25.5	30.2	14.6	17.0	7.5	18.4	9.9	8.0	8.5	3.8	4.7	8.5	5.7	8.5	2.8	7.1	2.4
65～69歳 (n=185)	12.4	23.2	29.2	20.0	12.4	14.1	12.4	10.3	13.5	7.6	5.9	3.2	7.6	5.9	4.3	3.8	3.8	3.8
70～74歳 (n=222)	14.9	23.9	29.3	21.2	21.6	11.7	17.6	9.0	10.4	1.8	8.6	5.9	7.7	5.9	0.9	6.3	5.0	4.1
75歳以上 (n=364)	9.6	21.7	28.6	12.1	13.5	6.9	12.4	9.6	11.5	2.5	6.9	4.1	4.9	5.2	2.5	2.7	6.9	3.3

図 6-2 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」（地区別/性別/年齢別）2/2

割合 (%)	農林水産業の振興	スポーツの振興	交通安全対策	文化・芸術の振興	地域活動の振興	公共下水道の整備	自然環境の保護	生涯学習	商工業・貿易の振興	市民協働のまちづくり	市営住宅の整備	男女共同参画の推進	広報広聴活動	国際交流の振興	その他	わからない	無回答
全体 (n=2188)	4.3	4.2	4.2	4.0	3.6	3.3	3.1	2.1	1.8	1.7	1.6	1.3	0.7	0.7	4.1	3.5	7.0
【区別】																	
北区 (n=171)	4.7	3.5	5.8	4.7	3.5	2.9	4.1	2.3	0.6	0.6	2.3	0.6	0.6	1.2	4.1	5.3	7.0
東区 (n=370)	2.2	4.3	4.6	3.0	2.4	4.1	2.4	2.2	0.8	3.0	2.2	2.2	0.3	0.3	3.2	4.9	8.6
中央区 (n=525)	2.7	5.3	4.4	4.8	4.4	4.0	3.6	1.3	2.3	1.9	1.7	1.1	1.1	1.0	5.7	2.1	4.8
江南区 (n=189)	2.1	3.2	2.6	3.7	4.2	4.8	1.6	2.6	1.1	1.1	0.5	1.6	0.0	0.0	2.6	2.1	7.4
秋葉区 (n=205)	4.9	5.9	3.9	3.4	4.4	1.5	2.4	2.0	2.0	1.0	1.0	0.5	0.5	1.0	5.4	2.9	5.9
南区 (n=110)	12.7	0.0	3.6	2.7	7.3	4.5	0.9	0.9	3.6	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	0.9	1.8	4.5
西区 (n=448)	5.4	4.7	4.9	4.2	2.5	2.7	4.0	3.3	1.8	1.6	1.8	0.9	0.9	0.7	4.0	4.2	6.3
西蒲区 (n=140)	5.7	2.1	1.4	4.3	2.9	2.1	4.3	0.7	2.1	1.4	2.9	2.9	1.4	1.4	2.9	5.0	11.4
【性別】																	
男 (n=921)	5.0	6.7	4.8	3.5	4.3	3.6	4.0	2.2	2.9	2.3	1.5	1.0	1.1	0.8	5.1	3.3	5.3
女 (n=1229)	3.6	2.4	3.8	4.3	3.1	3.3	2.5	2.0	0.8	1.2	1.6	1.5	0.5	0.7	3.3	3.6	7.7
【年齢別】																	
15～17歳 (n=61)	3.3	11.5	1.6	4.9	4.9	1.6	6.6	3.3	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	3.3	13.1	0.0
18～29歳 (n=161)	2.5	3.1	3.1	8.1	5.0	0.0	2.5	1.9	0.6	0.6	1.9	2.5	0.0	1.2	1.2	5.6	1.2
30～39歳 (n=230)	5.7	4.3	3.0	3.5	3.0	1.3	1.3	3.0	3.0	0.9	1.3	1.7	0.9	0.0	3.5	1.3	1.3
40～49歳 (n=321)	2.5	5.0	5.0	3.7	1.9	2.8	2.8	0.9	1.6	0.9	1.9	1.2	0.6	0.3	4.0	5.0	2.2
50～59歳 (n=403)	4.0	4.2	5.0	4.2	1.7	4.5	3.0	0.7	2.2	2.0	1.7	1.5	1.2	1.0	5.2	3.0	2.5
60～64歳 (n=212)	5.7	6.1	2.4	4.2	3.3	3.8	4.7	1.9	2.8	1.4	2.4	1.4	0.9	0.5	6.6	4.2	4.7
65～69歳 (n=185)	3.8	4.9	3.2	5.4	4.3	4.3	3.8	3.8	1.6	2.7	1.6	1.6	0.5	1.1	2.7	4.3	7.6
70～74歳 (n=222)	5.0	3.2	4.5	3.2	4.5	4.5	2.7	3.6	1.4	2.7	0.9	0.0	0.5	0.9	4.1	1.8	8.6
75歳以上 (n=364)	4.7	2.2	5.8	1.9	6.0	4.4	3.6	2.2	0.5	1.9	1.9	1.1	0.8	0.5	3.8	2.2	21.7

(3) 区として良くなっているもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ③「区として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを
 選んで、次のページの回答欄に番号(1~34)をご記入ください。



— 「わからない」が約3割でトップ —

【全体結果】

区として良くなっているものは、「わからない」(30.5%)の割合が最も高く、約3割となった。次いで、「市・区の窓口対応」(22.1%)、「ごみ処理・リサイクル」(12.2%)、「電子手続きの推進」(8.7%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図6-3参照)

① 地区別

「市・区の窓口対応」と答えた割合は、西区(27.5%)が最も高い。西蒲区(12.1%)が最も低く、2割を下回った。

② 性別

「市・区の窓口対応」と答えた割合は、女性(19.6%)より男性(25.7%)で高い。

「わからない」と答えた割合は、男性(28.3%)より女性(32.5%)で高い。

③ 年齢別

「わからない」と答えた割合は、年齢が低いほど、割合が高くなっており、29歳以下では4割以上となっている。

図 6-3 ③「区として良くなっているもの」(地区別/性別/年齢別) 1/2

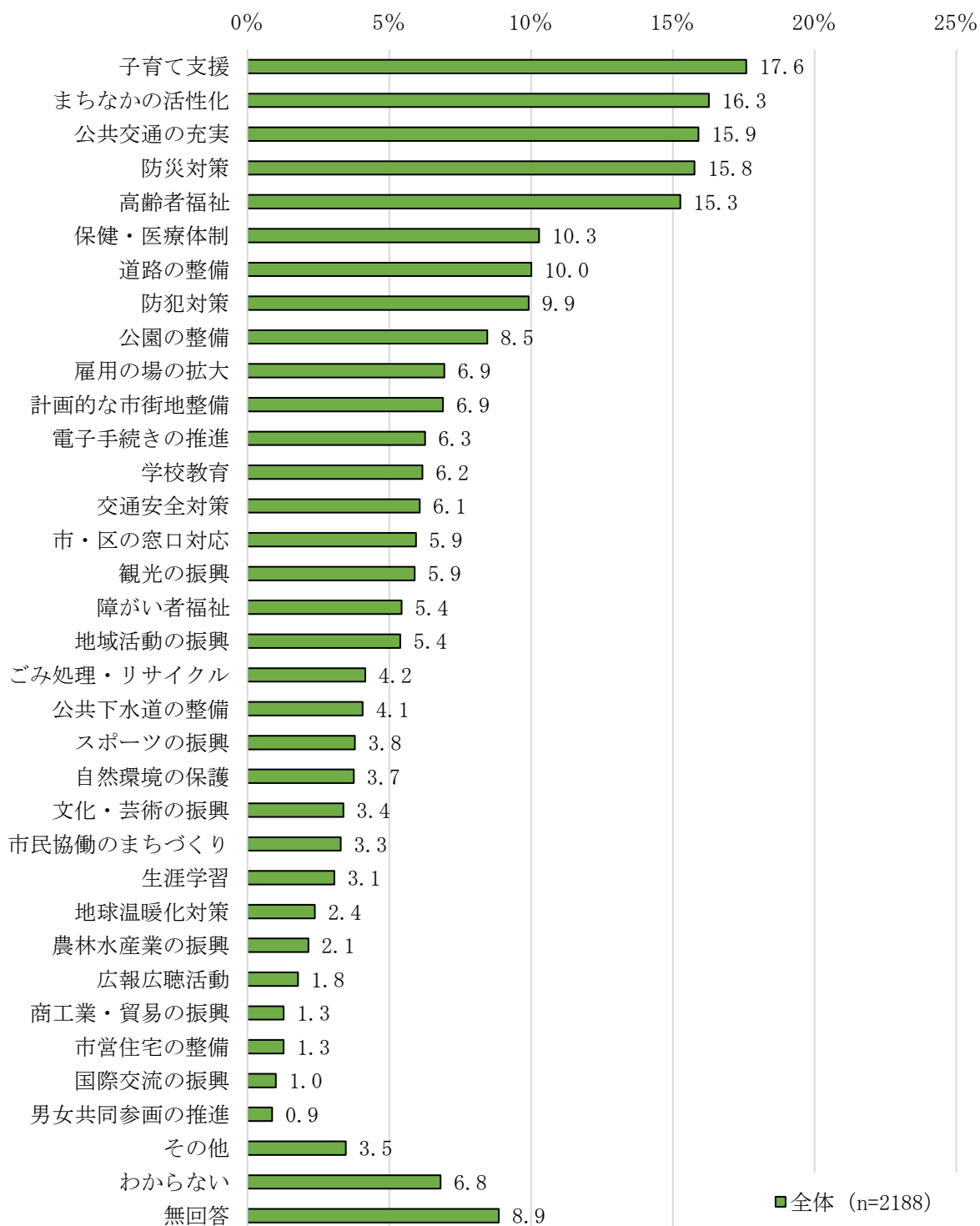
割合 (%)	市・区 の窓口対応	ごみ処理・ リサイクル	電子手続 きの推進	公園の 整備	地域活 動の振興	防災 対策	子育て 支援	まちな かの活 性化	保健・ 医療 体制	道路 の整 備	高齢 者福 祉	公共 下 水道 の整 備	広報 広聴 活動	交通 安全 対策	文化 ・ 芸術 の振 興	学校 教育	計 画 的 な 市 街 地 整 備	防 犯 対 策
全体 (n=2188)	22.1	12.2	8.7	6.2	6.1	5.9	5.0	4.3	3.9	3.8	3.7	3.7	3.1	2.9	2.7	2.5	2.4	2.2
【区別】																		
北区 (n=171)	21.6	15.2	6.4	5.8	3.5	5.3	5.3	4.7	3.5	2.9	2.9	4.7	1.2	4.7	5.8	1.2	0.6	2.9
東区 (n=370)	22.4	10.8	6.5	7.0	6.2	5.7	5.7	3.0	2.4	2.7	4.1	5.1	3.8	3.2	1.6	3.0	3.8	4.1
中央区 (n=525)	20.6	10.9	13.5	5.3	4.8	5.1	4.4	7.2	3.6	3.2	2.7	3.6	3.0	2.3	3.0	2.5	3.6	1.5
江南区 (n=189)	20.1	12.7	5.3	10.1	6.9	6.3	4.8	2.6	5.3	2.6	4.2	2.6	2.6	4.2	4.8	1.1	3.2	1.6
秋葉区 (n=205)	24.4	12.2	9.8	3.9	7.3	4.9	6.3	3.4	5.9	4.4	5.4	2.0	3.4	2.9	3.4	3.9	0.0	2.0
南区 (n=110)	20.9	8.2	4.5	4.5	9.1	7.3	5.5	5.5	5.5	1.8	4.5	3.6	4.5	1.8	3.6	1.8	0.9	2.7
西区 (n=448)	27.5	14.5	9.4	6.7	6.7	6.9	4.7	2.7	3.6	5.8	3.8	3.8	2.7	2.2	1.6	2.7	2.5	1.6
西蒲区 (n=140)	12.1	12.1	5.7	5.7	5.7	5.7	5.0	3.6	5.7	5.7	4.3	1.4	2.9	3.6	0.0	2.1	0.7	2.9
【性別】																		
男 (n=921)	25.7	13.5	9.9	6.2	5.9	6.2	4.7	4.0	4.2	4.6	4.6	4.5	3.4	3.1	2.9	2.7	2.8	2.5
女 (n=1229)	19.6	11.3	8.1	6.3	6.2	5.6	5.4	4.5	3.8	3.3	3.2	3.0	2.8	2.8	2.6	2.3	2.2	2.1
【年齢別】																		
15～17歳 (n=61)	6.6	9.8	3.3	6.6	8.2	8.2	3.3	1.6	3.3	1.6	4.9	1.6	1.6	8.2	0.0	9.8	8.2	0.0
18～29歳 (n=161)	14.9	3.7	12.4	5.0	4.3	1.2	3.7	8.1	1.9	1.9	1.9	1.9	1.2	2.5	2.5	3.1	3.7	1.2
30～39歳 (n=230)	15.2	7.0	13.5	7.0	6.5	3.9	7.0	8.7	2.6	3.5	1.7	0.4	3.5	0.9	4.8	4.8	2.6	0.4
40～49歳 (n=321)	18.1	9.0	12.8	6.5	5.3	6.9	7.5	5.3	2.2	3.4	2.5	2.5	0.9	2.8	1.6	3.7	2.2	2.8
50～59歳 (n=403)	22.8	11.9	11.7	5.2	4.7	4.5	5.0	2.5	3.2	3.2	2.5	2.7	3.0	2.7	2.5	0.7	1.7	1.0
60～64歳 (n=212)	25.0	12.7	7.5	5.2	4.7	6.6	5.2	3.8	2.4	4.2	4.2	3.3	1.9	1.9	1.4	0.5	2.8	1.4
65～69歳 (n=185)	30.3	11.9	5.4	6.5	7.0	5.9	3.8	3.2	5.9	7.0	3.8	5.4	2.2	4.3	3.2	2.7	2.7	3.8
70～74歳 (n=222)	29.3	17.1	4.5	6.3	9.0	8.6	5.4	3.2	9.0	4.5	4.5	6.3	4.5	3.6	5.0	2.7	2.3	5.0
75歳以上 (n=364)	25.5	19.5	3.8	7.4	6.6	7.1	3.0	2.7	5.2	3.8	7.4	6.3	5.8	3.3	2.5	1.1	1.6	3.3

図 6-3 ③「区として良くなっているもの」（地区別/性別/年齢別） 2/2

割合 (%)	観光の振興	障がい者福祉	公共交通の充実	自然環境の保護	スポーツの振興	生涯学習	農林水産業の振興	市民協働のまちづくり	市営住宅の整備	雇用の場の拡大	男女共同参画の推進	地球温暖化対策	商工業・貿易の振興	国際交流の振興	その他	わからない	無回答
全体 (n=2188)	2.2	2.0	2.0	1.9	1.9	1.3	1.1	0.8	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	1.9	30.5	13.6
【区別】																	
北区 (n=171)	0.6	1.8	2.3	3.5	1.8	2.3	1.8	0.6	1.8	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	2.9	29.2	15.8
東区 (n=370)	0.8	1.9	1.4	1.9	1.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.3	0.0	0.3	0.5	0.0	1.6	32.4	14.3
中央区 (n=525)	2.5	0.8	2.5	1.3	2.7	1.7	0.2	0.6	0.4	1.3	1.0	0.4	0.2	0.2	1.5	32.4	13.3
江南区 (n=189)	0.5	6.3	1.6	2.6	1.6	1.6	2.6	1.1	1.1	1.1	0.0	1.6	0.0	0.0	0.5	26.5	14.8
秋葉区 (n=205)	2.9	2.4	2.9	2.0	2.0	1.5	0.0	0.5	2.0	0.0	1.0	0.0	0.5	0.0	2.4	29.3	10.2
南区 (n=110)	4.5	1.8	3.6	1.8	2.7	1.8	2.7	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	29.1	14.5
西区 (n=448)	2.0	2.0	1.6	2.0	0.7	0.9	1.6	1.3	0.2	0.7	0.4	0.7	0.0	0.7	1.6	30.8	10.7
西蒲区 (n=140)	7.1	0.7	0.0	0.7	2.9	0.7	2.1	0.7	1.4	0.7	2.1	0.0	0.7	0.0	3.6	31.4	16.4
【性別】																	
男 (n=921)	2.5	1.8	1.8	2.6	2.5	0.9	1.8	0.8	1.0	1.1	0.9	0.5	0.8	0.2	2.3	28.3	11.1
女 (n=1229)	2.0	2.1	2.0	1.4	1.5	1.7	0.7	0.9	0.7	0.4	0.3	0.3	0.0	0.2	1.5	32.5	14.9
【年齢別】																	
15～17歳 (n=61)	4.9	3.3	0.0	1.6	1.6	1.6	6.6	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	45.9	1.6
18～29歳 (n=161)	1.9	0.0	2.5	2.5	2.5	0.6	1.9	0.6	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	2.5	42.9	5.6
30～39歳 (n=230)	2.2	0.9	2.2	1.7	4.8	0.9	0.9	1.3	0.9	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	1.7	38.7	4.8
40～49歳 (n=321)	3.1	2.5	2.8	1.6	2.2	0.6	0.6	0.6	0.3	0.9	0.6	0.0	0.3	0.0	2.8	35.5	6.5
50～59歳 (n=403)	2.5	2.7	1.5	2.0	1.0	0.7	0.5	0.5	0.5	0.7	0.7	0.0	0.5	0.0	2.2	38.5	7.7
60～64歳 (n=212)	3.3	1.4	1.9	0.9	0.9	2.8	0.9	0.5	0.5	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	1.9	34.9	12.7
65～69歳 (n=185)	0.5	3.2	1.6	3.2	2.2	1.6	1.1	1.1	0.5	1.6	0.5	0.5	0.5	1.1	2.2	22.2	17.3
70～74歳 (n=222)	1.4	0.9	3.2	2.3	1.8	1.4	0.9	0.9	0.9	1.4	0.0	0.9	0.5	0.0	0.9	19.8	19.8
75歳以上 (n=364)	1.6	2.5	1.1	1.6	1.1	2.2	1.6	1.4	1.1	0.8	1.1	0.3	0.3	0.5	1.6	13.7	30.2

(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを
 選んで、次のページの回答欄に番号(1~34)をご記入ください。



— 「子育て支援」が2割弱でトップ —

【全体結果】

区として今後もっと力を入れてほしいものは、「子育て支援」(17.6%)の割合が最も高く、2割弱となった。次いで、「まちなかの活性化」(16.3%)、「公共交通の充実」(15.9%)、「防災対策」(15.8%)、「高齢者福祉」(15.3%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図6-4参照)

① 地区別

秋葉区(22.0%)、北区(21.1%)、江南区(20.6%)では、「子育て支援」の割合が最も高い。

中央区(23.4%)、西蒲区(18.6%)では、「まちなかの活性化」の割合が最も高い。

南区(25.5%)、東区(19.5%)では、「公共交通の充実」の割合が最も高い。

西区(20.1%)では、「防災対策」の割合が最も高い。

② 性別

「子育て支援」(男性16.1%、女性18.9%)、「公共交通の充実」(男性13.9%、女性17.6%)、「高齢者福祉」(男性13.4%、女性16.8%)と答えた割合は、男性より女性で高い。

③ 年齢別

「子育て支援」と答えた割合は、49歳以下で高く、特に30~39歳(43.0%)で高く、4割を超えている。

図 6-4 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」（地区別/性別/年齢別）1/2

割合 (%)	子育て支援	まちなかの活性化	公共交通の充実	防災対策	高齢者福祉	保健・医療体制	道路の整備	防犯対策	公園の整備	雇用の場の拡大	計画的な市街地整備	電子手続きの推進	学校教育	交通安全対策	市・区の窓口対応	観光の振興	障がい者福祉	地域活動の振興
全体 (n=2188)	17.6	16.3	15.9	15.8	15.3	10.3	10.0	9.9	8.5	6.9	6.9	6.3	6.2	6.1	5.9	5.9	5.4	5.4
【区別】																		
北区 (n=171)	21.1	13.5	13.5	14.6	14.0	10.5	11.1	8.8	10.5	6.4	5.3	4.7	11.7	3.5	5.8	7.6	3.5	5.3
東区 (n=370)	16.8	8.6	19.5	14.1	17.0	9.2	9.2	12.4	8.1	5.4	6.2	7.0	5.9	6.8	7.8	3.0	5.9	6.5
中央区 (n=525)	16.6	23.4	16.0	17.9	14.5	9.5	6.9	9.1	9.0	4.8	8.2	7.8	4.8	6.7	3.2	9.0	5.3	3.8
江南区 (n=189)	20.6	14.3	14.3	13.2	13.2	9.5	11.1	10.1	6.9	6.3	5.8	4.8	3.2	3.7	5.8	4.8	4.8	7.4
秋葉区 (n=205)	22.0	21.5	15.1	11.7	13.7	12.2	11.2	8.8	13.7	10.7	7.8	7.3	6.8	5.9	5.4	7.3	6.3	5.4
南区 (n=110)	18.2	20.9	25.5	16.4	22.7	12.7	6.4	8.2	1.8	11.8	5.5	3.6	7.3	3.6	6.4	6.4	3.6	10.9
西区 (n=448)	16.7	12.3	13.4	20.1	15.2	10.7	14.3	11.6	9.4	6.0	8.0	6.0	7.4	7.4	7.1	3.6	5.1	4.7
西蒲区 (n=140)	12.9	18.6	13.6	11.4	15.7	11.4	7.1	5.7	2.9	14.3	5.0	5.0	3.6	7.1	7.9	7.9	7.9	3.6
【性別】																		
男 (n=921)	16.1	15.3	13.9	15.5	13.4	9.7	9.2	9.8	8.1	8.4	8.6	8.6	6.1	7.1	6.2	7.1	5.1	6.7
女 (n=1229)	18.9	17.1	17.6	16.4	16.8	10.9	10.5	10.2	8.8	5.9	5.8	4.6	6.1	5.5	5.8	5.1	5.6	4.4
【年齢別】																		
15～17歳 (n=61)	21.3	18.0	16.4	4.9	1.6	3.3	4.9	9.8	3.3	6.6	11.5	8.2	9.8	6.6	1.6	8.2	3.3	3.3
18～29歳 (n=161)	33.5	18.0	14.9	11.2	8.1	8.7	3.7	6.8	6.8	8.7	5.6	8.1	9.3	3.1	6.2	10.6	4.3	3.7
30～39歳 (n=230)	43.0	17.0	13.9	19.6	6.1	10.9	7.8	7.4	17.0	7.0	7.0	11.7	13.9	4.8	10.0	8.7	3.5	4.8
40～49歳 (n=321)	29.3	16.5	13.1	16.5	12.5	9.7	6.9	9.7	13.4	9.0	6.2	10.3	8.7	7.8	6.9	7.8	5.9	5.0
50～59歳 (n=403)	10.7	16.1	17.9	20.8	16.1	12.2	11.9	13.9	5.2	7.9	8.4	7.2	5.0	7.9	9.7	6.7	6.2	4.2
60～64歳 (n=212)	9.4	17.9	17.0	16.0	20.8	9.4	10.4	12.3	7.1	4.7	5.7	4.2	2.8	5.2	6.1	3.3	4.7	5.2
65～69歳 (n=185)	9.2	18.4	16.2	15.7	24.9	9.7	13.0	5.4	8.6	5.9	9.7	4.3	1.1	4.3	3.2	4.9	8.1	8.1
70～74歳 (n=222)	8.6	16.7	18.0	17.1	19.8	10.4	12.2	9.9	10.8	6.8	8.6	2.7	4.5	7.2	3.6	2.3	3.6	4.5
75歳以上 (n=364)	6.3	13.2	15.9	11.0	17.6	11.3	12.1	9.9	3.6	5.2	4.4	1.9	3.8	5.5	1.6	3.8	6.3	7.7

図 6-4 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」(地区別/性別/年齢別) 2/2

割合 (%)	ごみ処理・リサイクル	公共下水道の整備	スポーツの振興	自然環境の保護	文化・芸術の振興	市民協働のまちづくり	生涯学習	地球温暖化対策	農林水産業の振興	広報広聴活動	商工業・貿易の振興	市営住宅の整備	国際交流の振興	男女共同参画の推進	その他	わからない	無回答
全体 (n=2188)	4.2	4.1	3.8	3.7	3.4	3.3	3.1	2.4	2.1	1.8	1.3	1.3	1.0	0.9	3.5	6.8	8.9
【区別】																	
北区 (n=171)	3.5	2.9	2.3	5.3	2.3	3.5	2.9	3.5	4.1	1.2	1.8	2.3	0.6	0.6	5.3	8.2	9.4
東区 (n=370)	4.3	6.2	2.7	0.8	3.0	2.7	1.6	2.4	0.8	1.1	0.3	2.4	1.6	0.8	3.2	7.6	11.1
中央区 (n=525)	3.8	4.2	5.0	4.0	4.2	4.4	3.8	3.6	0.4	2.3	1.9	1.1	1.0	1.3	3.0	6.5	7.4
江南区 (n=189)	2.1	1.6	3.7	4.2	3.2	4.8	2.6	0.5	1.6	2.6	2.1	1.1	1.1	1.6	3.2	7.9	11.6
秋葉区 (n=205)	3.9	0.5	5.9	2.9	2.9	1.5	1.5	2.0	2.9	0.0	2.0	0.0	2.0	1.0	4.4	5.4	5.9
南区 (n=110)	4.5	7.3	0.0	0.0	1.8	2.7	2.7	1.8	9.1	0.9	1.8	2.7	0.0	0.0	2.7	4.5	9.1
西区 (n=448)	4.2	4.7	4.0	5.1	2.9	2.7	4.7	1.6	2.7	2.7	0.4	0.4	0.4	0.7	3.3	7.1	6.5
西蒲区 (n=140)	9.3	4.3	3.6	5.0	6.4	2.9	2.9	2.9	2.9	0.7	1.4	1.4	1.4	0.0	2.9	6.4	11.4
【性別】																	
男 (n=921)	5.2	4.7	6.3	4.7	3.4	3.0	3.6	2.6	2.5	2.2	2.1	1.4	1.5	0.4	3.8	5.4	7.1
女 (n=1229)	3.5	3.7	2.0	2.8	3.3	3.4	2.8	2.3	2.0	1.4	0.7	1.2	0.7	1.2	3.1	7.8	9.8
【年齢別】																	
15～17歳 (n=61)	1.6	4.9	11.5	4.9	9.8	1.6	4.9	1.6	3.3	3.3	4.9	0.0	1.6	1.6	3.3	19.7	0.0
18～29歳 (n=161)	8.1	1.2	3.1	2.5	5.0	3.7	0.6	0.6	0.6	1.9	1.2	0.0	0.6	1.9	0.6	9.9	3.1
30～39歳 (n=230)	3.0	1.3	4.8	3.0	1.3	1.3	1.7	2.6	3.0	0.4	1.7	0.9	0.0	0.9	3.5	3.9	2.6
40～49歳 (n=321)	4.4	3.1	4.4	2.2	4.0	1.9	1.2	1.6	0.9	1.6	1.6	0.9	0.3	0.3	2.5	8.1	2.2
50～59歳 (n=403)	5.5	6.2	2.7	1.7	3.5	2.2	2.2	2.2	2.7	1.0	1.5	1.7	1.0	0.7	3.0	6.9	4.2
60～64歳 (n=212)	3.3	3.3	4.2	3.8	1.4	2.8	3.3	4.7	1.9	3.3	0.9	1.4	0.9	1.4	6.6	10.8	6.6
65～69歳 (n=185)	3.8	4.3	3.8	6.5	2.7	4.3	5.9	2.2	2.7	1.6	1.6	2.2	2.2	1.6	2.2	5.4	10.3
70～74歳 (n=222)	3.2	5.4	3.6	6.8	5.0	5.9	5.0	3.2	2.7	1.8	0.9	2.3	2.7	1.4	4.1	3.6	13.1
75歳以上 (n=364)	3.6	5.2	2.7	3.8	3.0	4.9	4.7	2.5	2.2	2.2	0.3	1.1	0.8	0.0	4.4	4.4	24.2

Ⅲ 調査票様式

令和6年度 第51回市政世論調査

「新潟市政に関する世論調査」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対してのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。新潟市では、市民の皆さまの市政に対する意識・満足度などをお聞きし、市政の参考としていくために「市政世論調査」を実施しております。

この調査は、新潟市内にお住まいの15歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、お願いすることになりました。

お答えいただいた結果は、統計的な数値として集計する以外には使用せず、個人のお名前が出ることや調査対象者の名簿、個人を特定できる回答内容が外部に漏れることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、お答えいただきますようよろしくお願いいたします。

令和6年8月5日

新潟市長 なかはら やいち
中原 八一

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、あて名のご本人がご記入ください。
(無記名式ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は、案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. 回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください。
「その他」を選んだ場合には具体的な内容をご記入ください。
4. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
5. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

新潟市市民生活部 こうちょうそうだんか 広聴相談課 電話025-226-2094 (直通)

◎回答は令和6年8月27日(火)までをお願いします。

郵送の場合、切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

◎今回の調査は、新潟市が下記の業者に委託して実施しております。

《委託業者》 株式会社スピードリサーチ 新潟市東区小金町1丁目7-1

本アンケートは、インターネットでもご回答いただけます

次のアドレスまたは右のQRコードからアンケート画面へお入りください。

アドレス <https://question.jp/q/7330..>

最初に表示される入力欄に以下のIDを入力してお答えください。

※このIDは、重複回答を防ぐためのものでランダムに設定されています。
個人を特定するものではありません。



※インターネットからご回答いただく場合、本調査票の返信は不要です。

【ラムサール条約湿地自治体認証について】

現在、本市にある16の潟(湖沼)は、干拓や都市開発などが進む中で残された貴重な自然環境の一つです。市では、2024年4月、庁内にラムサール条約^{※1}都市推進プロジェクト・チームを設置し、国内初のラムサール条約湿地自治体認証^{※2}に基づく国際的な都市ブランド化などに向け取り組んでいます。そこであなたの考えをお聞きします。

※1 正式には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、新潟市では1996年に「佐潟」が登録されている。

※2 湿地の保全・再生、管理への地域関係者の参加、普及啓発、環境教育等に関する国際基準を満たす自治体に対して認証を行うもので、新潟市は鹿児島県出水市とともに2022年に国内で初となる認証を受けた。

問1 「ラムサール条約」という言葉やその内容を知っていましたか。(○は1つだけ)

- 1 言葉も内容も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、内容は知らなかった
- 3 言葉も内容も知らなかった(今回の調査で初めて知った)

問2 実際に訪れたことがある市内の潟(湖沼)はありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 福島潟(北区) | 2 内沼潟(北区) |
| 3 十二潟(北区) | 4 松浜の池(北区) |
| 5 じゅんさい池(東区) | 6 鳥屋野潟(中央区) |
| 7 清五郎潟(中央区) | 8 北山池(江南区) |
| 9 六郷ノ池(秋葉区) | 10 北上の池(秋葉区) |
| 11 佐潟(西区) | 12 御手洗潟(西区) |
| 13 ドンチ池(西区) | 14 金巻の池(西区) |
| 15 上堰潟(西蒲区) | 16 仁箇堤(西蒲区) |
| 17 ない | |

問3 問2で1から16をお答えになった方にお聞きします。
市内の潟（湖沼）を訪れた目的はどれですか。（〇はいくつでも）

- 1 散策(景観を眺めに)
- 2 花見
- 3 生き物観察
- 4 運動(ジョギングなど)
- 5 魚釣り
- 6 情報発信施設（ビュー福島潟など）
- 7 乗船体験(潟舟、ボート、カヌー)
- 8 学校の授業
- 9 自主学習
- 10 イベント参加
- 11 環境保全活動(清掃活動、外来種駆除活動など)
- 12 その他（)

問4 問2で17「ない」をお答えになった方にお聞きします。
市内の潟（湖沼）へ訪れたことがない理由はどれですか。（〇は1つだけ）

- 1 興味がない
- 2 訪れる機会がない
- 3 行って何ができるか分からない
- 4 行きたいが、場所が分からない
- 5 行きたいが、交通手段がない
- 6 その他（)

問5 市内の潟(湖沼)に訪れ、楽しむためには、どんな機能や場所があったら良いと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 飲食店やカフェ
- 2 物販
- 3 観光ガイド
- 4 ビューポイント
- 5 キャンプ場
- 6 公園や遊具
- 7 周遊できる遊歩道・自転車道
- 8 釣りや水遊び(カヌー含む)できる環境
- 9 野鳥などの自然観察施設
- 10 スポーツ関連設備(ジョギングコース、シャワー等)
- 11 多目的トイレ
- 12 その他 ()

【地球温暖化対策について】

新潟市では地球温暖化対策、脱炭素社会を実現するうえでの重点施策として、「太陽光発電の普及」、「ZEH^{ゼッチ}※1の普及」、「次世代自動車などの普及」を取り組みの三つの柱として推進しています。

そこでご家庭での取り組みについてお聞きします。

※1 住宅のエネルギー性能を表すグレード。窓・外壁を断熱性の良いものにする、省エネ型空調を導入する、太陽光発電設備を導入するといった対策が必要。

問6 あなたのご家庭では以下の取り組みを実施していますか。(〇はいくつでも)

- 1 太陽光発電設備の導入
- 2 住宅の断熱性能強化※2
- 3 次世代自動車など※3の導入
- 4 特に取り組んでいない

※2 住宅購入時に断熱性能のよい窓を選択した、外壁に断熱材を追加するリフォームをしたなど住宅自体の性能を上げるもの。窓に断熱シートを貼る、すだれを掛けるなどの取り組みは対象外。

※3 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車をいう。ハイブリッド車、クリーンディーゼル車は対象外。

問7 問6で1「太陽光発電設備の導入」をお答えになった方は回答不要です。 太陽光発電設備を導入していない理由として、もっともあてはまるものはなんですか。(〇は1つだけ)

- 1 太陽光発電設備について興味がないから
- 2 電気料金や供給体制に不満がないから
- 3 興味はあるが具体的なメリットがわからないから
- 4 興味はあるが相談先がわからないから
- 5 導入に必要な初期費用が高いから
- 6 検討した結果、デメリットが大きいから
- 7 その他 ()

問8 問6で2「住宅の断熱性能強化」をお答えになった方は回答不要です。
住宅の断熱性能強化に取り組んでいない理由として、もっともあてはまるものはなん
ですか。(○は1つだけ)

- 1 住宅断熱について興味がないから
- 2 家が暑い/寒いと感じていないから
- 3 興味はあるが具体的なメリットがわからないから
- 4 興味はあるが相談先がわからないから
- 5 取組みに必要となる初期費用が高いから
- 6 検討した結果、デメリットが大きいから
- 7 その他 ()

問9 問6で3「次世代自動車などの導入」をお答えになった方は回答不要です。
次世代自動車などを導入していない理由として、もっともあてはまるものはなん
ですか。(○は1つだけ)

- 1 次世代自動車などについて興味がないから
- 2 自動車を選ぶ際に環境性能を重視していないから
- 3 興味はあるが具体的なメリットがわからないから
- 4 興味はあるが相談先がわからないから
- 5 導入に必要となる初期費用が高いから
- 6 検討した結果、デメリットが大きいから
- 7 その他 ()

【食育について】

問10 食べることは「楽しい」ですか。(○は1つだけ)

- 1 楽しい
- 2 どちらかといえば楽しい
- 3 あまり楽しいとは思わない
- 4 楽しいとは思わない
- 5 わからない

問11 あなたは、1日に1回以上、誰か(家族・友人・知人等)と一緒に食事をしていきますか。(○は1つだけ)

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に3～4回程度
- 3 週に1～2回程度
- 4 ほとんどない

問12 これまで、あなたまたはあなたの家族の中で農林漁業体験^{※1}に参加したことがある人はいますか。(○は1つだけ)

※1 「農林漁業体験」の例

- ◆水田での田植え、栽培管理、稲刈り、はざがけなどの米に関する体験
- ◆畑での種まき・苗植え、栽培管理、収穫などの野菜に関する体験
- ◆樹園地での花粉付け、袋がけ、収穫などの果樹に関する体験
- ◆花の栽培・育種などの花に関する体験
- ◆乳しぼり、エサやり・ミルクやり、畜舎の管理などの酪農体験、その他の畜産体験
- ◆植林、下草刈り、枝打ち、除伐・間伐などの林業体験
- ◆釣り、底引き網などの漁業体験

- 1 いる
- 2 いない

問 13 あなたは、食品ロス^{※2}を減らし、食べ物を無駄にしないように、取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

※2 本来食べられるのに、捨てられてしまう食品のこと。

- 1 食材を買いすぎないようにしている
- 2 料理を作りすぎないようにしている
- 3 残さず食べるようにしている
- 4 冷凍保存を活用している
- 5 野菜の茎や皮も料理に使い、極力廃棄を減らすようにしている
- 6 賞味期限が過ぎてもすぐ捨てずに、食べられるか判断している
- 7 買い物の際、商品棚の手前にある商品や値引き商品などを積極的に選ぶ
- 8 その他 ()
- 9 特に取り組んでいない

問 14 あなたは食材を選ぶ際に、身近な場所(県内)でとれたものを選ぶようにしていますか。(○は1つだけ)

- 1 いつも選ぶようにしている
- 2 なるべく選ぶようにしている
- 3 ほとんど選ばない
- 4 全く選ばない
- 5 わからない

問 15 あなたは、食文化(郷土料理や行事食)を受け継いでいますか。(○は1つだけ)

- 1 受け継いでいる
- 2 受け継いでいない
- 3 わからない

【新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例（共生条例）について】

問16 あなたは「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例(共生条例)」を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 言葉も内容も知っている
- 2 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
- 3 言葉も内容も知らない

問17 問16で1「言葉も内容も知っている」、2「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」をお答えになった方にお聞きします。
共生条例を知ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 市報にいがた・区役所だより
- 2 パンフレット、チラシ
- 3 テレビ・ラジオ・新聞紙
- 4 新潟市ホームページ
- 5 インターネットの記事、SNS
- 6 会社や組織の研修会
- 7 その他 ()

問18 どういう状況が「障がいを理由とした差別」※1に当たるのか具体的にイメージできますか。(○は1つだけ)

- 1 できる
- 2 できない

※1 共生条例では、市・事業者に対して、障がいを理由とした差別（不利益な取り扱い・合理的配慮の不提供）を法的義務で禁止しています。
「不利益な取り扱い」とは、正当な理由がないのに、障がいがあるということで、障がいのある人を区別・排除・制限すること、障がいのない人と異なる取り扱いをすることをいいます。
「合理的配慮の不提供」とは、障がいのある人から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合や、意思の表明がなくても障がいのある人に何らかの配慮が必要なことを認識しうる場合に、その人の人権・意向を尊重して、社会的障壁を取り除く変更や調整をしないこと（過重な負担がある場合を除く）をいいます。
◆水田での田植え、栽培管理、稲刈り、はざがけなどの米に関する体験
◆畑での種まき・苗植え、栽培管理、収穫などの野菜に関する体験

問 22 問 21 で 2 「投票に行かないと思う」、3 「わからない」とお答えになった方にお聞きします。

投票に行かない、わからないと思うのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 1 選挙にあまり関心がないから
- 2 候補者の政策や人物像など、違いがよくわからないと思うから
- 3 適当な候補者や政党がないと思うから
- 4 私一人が投票してもしなくても選挙の結果に影響がないと思うから
- 5 自分のように政治のことがわからない者は投票しないほうが良いと思うから
- 6 投票所が遠いから
- 7 投票所に行くのが面倒だから
- 8 投票しても政治や暮らしは良くならないと思うから
- 9 仕事が忙しいから
- 10 その他 ()
- 11 わからない

問 23 最近の選挙では全国的に投票率が低下してきています。多くの方から投票してもらうには、どのような対策が有効だと思えますか。(〇は1つだけ)

- 1 選挙に関する PR を充実させる
- 2 政治や選挙についての学校教育を充実させる
- 3 投票所を増やす
- 4 駅やショッピングセンターなどでも投票ができるようにする
- 5 移動投票所が集会所などを巡回する
- 6 投票所が遠い人のために無料バスなどを運行する
- 7 法律が変わり、今よりもっと郵便投票ができるようになる
- 8 法律が変わり、インターネット投票ができるようになる
- 9 その他 ()
- 10 わからない

【市政全般と区政について】

問 24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

- ①「新潟市として良くなっているもの」
- ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」
- ③「区として良くなっているもの」
- ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」

を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、次のページの回答欄に番号（1～34）をご記入ください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 市・区の窓口対応 | 18 観光の振興 |
| 2 電子手続きの推進 | 19 まちなかの活性化 |
| 3 地域活動の振興 | 20 公共交通の充実 |
| 4 防災対策 | 21 計画的な市街地整備 |
| 5 防犯対策 | 22 公園の整備 |
| 6 子育て支援 | 23 道路の整備 |
| 7 高齢者福祉 | 24 公共下水道の整備 |
| 8 障がい者福祉 | 25 交通安全対策 |
| 9 保健・医療体制 | 26 学校教育 |
| 10 ごみ処理・リサイクル | 27 生涯学習 |
| 11 地球温暖化対策 | 28 市営住宅の整備 |
| 12 自然環境の保護 | 29 広報広聴活動 |
| 13 スポーツの振興 | 30 国際交流の振興 |
| 14 文化・芸術の振興 | 31 市民協働のまちづくり |
| 15 農林水産業の振興 | 32 男女共同参画の推進 |
| 16 商工業・貿易の振興 | 33 その他 |
| 17 雇用の場の拡大 | 34 わからない |

回答欄（1～34までの番号を記入してください）

① 新潟市として良くなっているもの	1～34までの番号を3つまで記入してください		
「33（その他）」とご回答された方は具体的に内容をお聞かせください			
② 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	1～34までの番号を3つまで記入してください		
「33（その他）」とご回答された方は具体的に内容をお聞かせください			
③ 区として良くなっているもの	1～34までの番号を3つまで記入してください		
「33（その他）」とご回答された方は具体的に内容をお聞かせください			
④ 区として今後もっと力を入れてほしいもの	1～34までの番号を3つまで記入してください		
「33（その他）」とご回答された方は具体的に内容をお聞かせください			

【ご自身のことについて】

調査結果を統計的に分析するために必要なことをお聞きします。

F 1 あなたのお住まいは何区ですか。

- 1 北区
- 2 東区
- 3 中央区
- 4 江南区
- 5 秋葉区
- 6 南区
- 7 西区
- 8 西蒲区

F 2 あなたの性別を教えてください。

- 1 男
- 2 女
- 3 その他

F 3 あなたの年齢を教えてください。

- 1 15～17歳
- 2 18～29歳
- 3 30～39歳
- 4 40～49歳
- 5 50～59歳
- 6 60～64歳
- 7 65～69歳
- 8 70～74歳
- 9 75歳以上

第 5 1 回 市政世論調査

(令和 6 年度)

発 行：令和 6 年 10 月

発行者：新潟市市民生活部広聴相談課

〒951-8550

新潟県新潟市中央区学校町通 1 番町 602 番地 1

電話：025-226-2094